

令和 4 年度
江南市地域福祉に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

令和 5 年 3 月
江 南 市
江南市社会福祉協議会

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の実施概要	2
3	報告書の見方	3
II	市民調査結果の総括	5
1	ご自身について	6
2	お住まいの地域の状況について	6
3	福祉の情報について	7
4	困りごとの相談について	7
5	地域活動・ボランティア活動について	7
6	地域防災について	8
7	コロナ禍における生活の変化について	8
8	江南市社会福祉協議会について	8
9	民生委員・児童委員について	9
10	近年の福祉課題について	9
11	地域福祉全般について	10
III	市民調査結果	11
1	ご自身について	12
2	お住まいの地域の状況について	18
3	福祉の情報について	29
4	困りごとの相談について	32
5	地域活動・ボランティア活動について	41
6	地域防災について	47
7	コロナ禍における生活の変化について	60
8	江南市社会福祉協議会について	62
9	民生委員・児童委員について	68
10	近年の福祉課題について	74
11	地域福祉全般について	87
IV	活動主体者調査結果	91
1	あなたについて	92
2	活動について	95
3	地域の付き合い、関わり方について	110

I 調査の概要

1 調査の目的

「江南市地域福祉計画」及び「江南市地域福祉活動計画」の策定に際し、地域の現状やニーズ、活動主体者の活動状況等を把握し、施策立案の検討材料とするため、以下の2種の調査を実施しました。

2 調査の実施概要

■調査に関する事項

区 分	内 容	
	(1)市民	(2)活動主体者
調査対象地域	江南市全域	
調査対象 [抽出方法]	市内在住の18歳以上の市民 [住民基本台帳より2,000人を無作為抽出]	民生委員・児童委員（主任児童委員） 区長・町総代（自治会代表者も含む） [調査対象者283人]
調査概要	福祉に対する考え、地域活動への参加状況などの実態や地域福祉に関するご意見等をお聞きしました。	地域で活動している民生委員・児童委員や区長・町総代を対象に、活動の状況や課題等のほか、地域福祉に関するご意見等をお聞きしました。
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収（WEB回答も可能）	
調査基準日	令和4年10月1日	
調査期間	令和4年10月17日(月)～11月4日(金)	

■配布・回収に関する事項

(単位/人、件)

区分	(1)市民	(2)活動主体者
配布数(A)	2,000	283
回収数(B)	878	223
紙面回答	771	197
WEB回答	107	26
回収率(B/A)	43.9%	78.8%

3 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果とクロス集計結果を記載しています。なお、クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数の合計と全体の回答者総数は合致しません。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

●「不明・無回答」について

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●「単数回答」「複数回答」「数量回答」について

図表のタイトルにある「単数回答」は、選択肢の中から1つだけを選ぶもの、「複数回答」は選択肢の中から2つ以上を選ぶもの、「数量回答」は数字を記入するものを表します。

●表について

表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**二番目に割合の高い項目**を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は、順位の表記を省略しています。さらに、クロス集計において性別、年齢別、小学校区別等の回答者(n)が回答者なし(0)の場合は、掲載を省略しています。

●前回調査との比較分析について

比較分析において使用したデータの調査名は次のとおりです。

■引用資料の概要

(単位/人、件)

報告書中の 表記	資料名	調査概要			
		調査対象	配布数	回収数	回収率
H28 調査	江南市地域福祉計画に関するアンケート調査【調査結果報告書】 (平成29年3月、江南市) ※平成28年8～9月調査	市民	2,000	984	49.2%
		活動主体者	281	201	71.5%

Ⅱ 市民調査結果の総括

1 ご自身について

(1) 回答者の基本属性や生活について

回答者の年齢構成は、50歳代以下と60歳代以上が概ね半々となっています。比較的高齢の回答者が多いこともあり、居住年数は20年を超えている割合が6割強と多くなっています。

家族構成は、3世代世帯が12.5%であり世帯規模の縮小がうかがえます。

2 お住まいの地域の状況について

(1) 「地域」とはどの程度の範囲だと思うか

市民が感じる「地域」の範囲は、全体では「町内会などの自治会」が最も高くなっています。30歳代以下の若い世代では「江南市全域」が3割前後となっている一方、「隣近所」が約1割程度みられます。また、年齢が上がるにつれて、「町内会などの自治会」と回答する人の割合が多くなる傾向がみられます。

(2) 近所付き合いの状況

近所付き合いの程度は、全体では「会えばあいさつをかわす程度」が最も高くなっています。年齢が上がるにつれて、「常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある」「困っているとき（病気、悩み、事故など）に、相談したり、助け合ったりする」といった、密な関係を築いている人が多くなる傾向にあります。一方で、50歳代は40歳代と比較して近所付き合いが希薄化している特徴がみられます。なお、回答に性別による大きな差はみられません。

(3) 地域との助け合いについて

自分自身や家族が困ったときに地域にしてほしい手助け、あるいは隣近所で困っている人がいた場合に自分ができると思う手助けについて聞いたところ、[手助けしてほしいこと][手助けできること]の双方で「非常時の手助け」が高い割合であがっています。一方で、[手助けしてほしいこと]では「地域の当番や役の免除」が、[手助けできること]では「安否確認の声掛けや見守り」が高い割合となっています。なお、[手助けしてほしいこと]に性別による大きな差はみられませんが、[手助けできること]は女性で「話し相手」が男性と比較して、男性で「ちょっとした修理や補修」が女性と比較して、それぞれ高くなっています。

(4) 地域のつながりが必要だと感じるとき

地域のつながりが必要だと感じるときは、「災害が起こったとき」が突出して高く、年齢、小学校区でもその傾向は変わりません。「地域で事件や事故が起こったとき（防犯活動を行うとき）」が続いており、安全・安心な地域づくりに向けた地域のつながりの強化が求められています。

3 福祉の情報について

(1) 福祉サービスの情報の入手状況

「自分に必要な福祉サービスの情報を入手できている」と感じている割合（「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」と回答した割合）は3割強となっています。一方、福祉サービスの情報が「ほとんど入手できていない」と回答した割合も約3割となっています。情報の入手先として多くあがっていた「市役所（窓口、広報、ホームページ）」以外の多様な情報の提供手段が必要となっています。

4 困りごとの相談について

(1) 日常生活の悩みや不安の状況

毎日の暮らしの中で、悩みや不安を感じている割合は全体で約半数となっています。悩みの内容としては、20歳代以下で「生活費など経済的問題」「仕事に関する事」が4割以上、30歳代で「自分や家族の健康に関する事」「育児や子育てなど、子どもに関する事」がそれぞれ4割以上、40歳代以上で「自分や家族の健康に関する事」が4割以上と年代ごとに差が出ています。また、50歳代及び70歳以上で「介護に関する事」がそれぞれ4割以上となっています。

(2) 悩みや不安の相談先について

生活上の悩みや不安を相談できる場所がない人が全体の4割弱となっています。相談できる場所がある人のうち、「家族・親戚」が約7割となっている一方で、市の相談窓口等の『公的機関』は1割強となっています。相談先に求めるものとしては、「行きやすい、身近な場所で相談できること」が約半数となっており、気軽に相談しやすいことが求められています。

5 地域活動・ボランティア活動について

(1) 地域活動等への参加状況

地域活動等への参加状況は全体の1割強となっています。活動内容では、H28調査と比較すると、「ボランティア活動」が高くなっている一方で、「公民館活動」が低くなっています。年齢別では、30歳代、40歳代では「子ども会やPTA活動」、50歳代以上では「自治会の活動」が高くなっているなど、年代によって差がでています。

活動内容は性別での差も出ており、「自治会の活動」では男性が、「子ども会やPTAの活動」では女性が、それぞれ最も高くなっています。

(2) 参加していない理由

活動していない理由は、全体では「仕事が忙しい」が高くなっています。年齢では70歳以上では、「体力的に参加するのが難しい」が最も高くなっています。女性では「子どもが大きくなり子どもに関

する活動（子ども会、PTAなど）がなくなった」が高く、また、年代別でも50歳代、60歳代で同様に高くなっており、子どもに関する地域活動を多くしている性別、年代の特徴が出ています。

6 地域防災について

(1) 防災に対する日頃からの取り組みや、災害などの緊急時の対応について

災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な方は、20歳代以下、70歳以上でそれぞれ2割を超えています。一方で、避難所への誘導などの手助けが必要な人が、隣近所に手助けしてほしいことを隣近所に事前に伝えている人は1割弱となっています。また、隣近所で手助けが必要な人を把握している人についても、1割強にとどまっていることから、日頃から手助けが必要な人の共有が必要です。

「災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人など支援が必要な人の避難等の手助けができるか」については、20歳代でも4割弱が「はい」と回答しており、特に地域のつながり、マンパワーが必要となる災害時、緊急時に、若い世代の力を活かしていく必要があります。

小学校区別でみると、藤里小学校区では防災訓練への参加率や手助けが必要な人を把握している人が高くなっています。

(2) 災害時に住民同士が協力し合えるために必要なこと

地震や火災等の災害時に住民同士が協力し合えるために必要なことについては、年齢、小学校区問わず「支援が必要な人を近所（地域）で把握しておく」が高くなっています。

7 コロナ禍における生活の変化について

(1) コロナ禍での困りごとについて

コロナ禍で困っていることについては、年齢、性別を問わず、「外出時の制限」が高くなっています。また、「交流機会の減少」についても高くなっており、外出や交流機会の減少による日常生活への影響が大きくなっていることがうかがえます。

8 江南市社会福祉協議会について

(1) 社会福祉協議会の認知度

社会福祉協議会の認知度は、「活動の内容も含めて知っている」割合が全体の1割で、年齢が上がるにつれて高くなっています。また、社会福祉協議会の活動で知っているものについては、「高齢者への支援」が高くなっています。

(2) 社会福祉協議会への期待

社会福祉協議会に期待することは、全体で「高齢者への支援」が最も高くなっています。30歳代以下

では「子育て家庭への支援」、40歳代以上では「高齢者への支援」が最も高くなっており、年齢により差がみられます。

9 民生委員・児童委員について

(1) 民生委員・児童委員の認知度

民生委員・児童委員の認知度は、「活動の内容も含めて知っている」割合が全体の約2割で、概ね年齢が上がるにつれて高くなっています。

民生委員・児童委員の活動内容で知っているものは、「地域住民の見守り」が高くなっています。H28調査と比較すると、「日常生活の悩みや心配事の相談」が低くなっています。

(2) 民生委員・児童委員への期待

民生委員・児童委員に期待することは、「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」が最も高くなっていますが、いずれの項目にも2割弱から4割の回答があり、民生委員・児童委員の役割に期待するところが大きいことがうかがえます。

10 近年の福祉課題について

(1) 支援が必要な対象について

特に支援が必要だと思う対象は「ひとり暮らし高齢者」が約6割と高くなっています。また、「ヤングケアラー」が3割となっており、近年の福祉課題として認識されていることがうかがえます。

支援の担い手として、住民や行政、民間企業等の役割分担として望ましいあり方については、「基本的には行政が行い、住民も積極的に関わるべき」「基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき」が高くなっており、行政主導ではあるものの、一定の住民参画の必要性についての認識がある現状がうかがえます。

(2) 再犯防止について

再犯防止法の認知度は、約2割となっています。刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるように支援することについての考えは、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」「地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ」が3割強と高く、支援の必要性についての意見がみられます。

(3) 成年後見制度について

成年後見制度の認知度は、2割強となっています。成年後見制度の利用の促進・充実を図るために必要なこととしては、「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」「制度が分かりやすい広報や周知活動による理解の浸透」が高くなっています。

(4) ひきこもりや生活困窮者への支援について

地域や身近なところにひきこもりと思われる方が「いる」割合は、1割強となっています。約半数は「わからない」となっており、地域で支援が必要な方に気づくことが少ないと考えられます。

ひきこもりの方を支援するために重要な施策として、「相談」や「就労支援」が高くなっています。

生活困窮者を支援するために重要な施策としては、「自立に向けた相談支援などの支援」「就労に向けた訓練・支援」が高くなっています。

11 地域福祉全般について

(1) 助け合い、支え合いの地域づくりに向けて力を入れるべきこと

地域として力を入れるべきことは、「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が高くなっています。H28 調査と比較すると、「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が低くなっています。また、地域防災についての設問で、災害時に支援が必要な人を把握している割合が低い結果となっていることから、災害対策を含めた地域のつながり意識を強化していく必要があります。

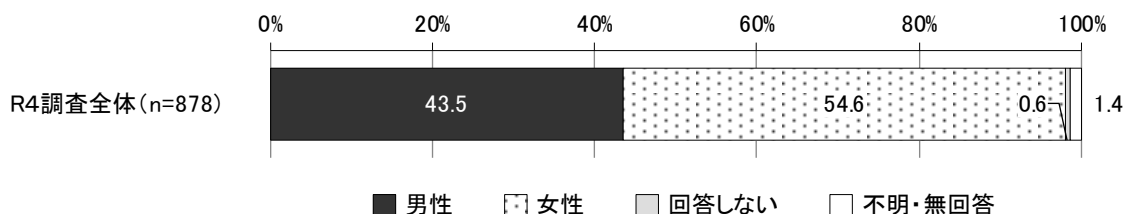
行政として力を入れるべきことは、「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が高くなっています。行政として公的な支援と、地域のつながりで解決できることの役割分担を図りながら、助け合い、支え合いの地域づくりを進めていく必要があります。

Ⅲ 市民調査結果

1 ご自身について

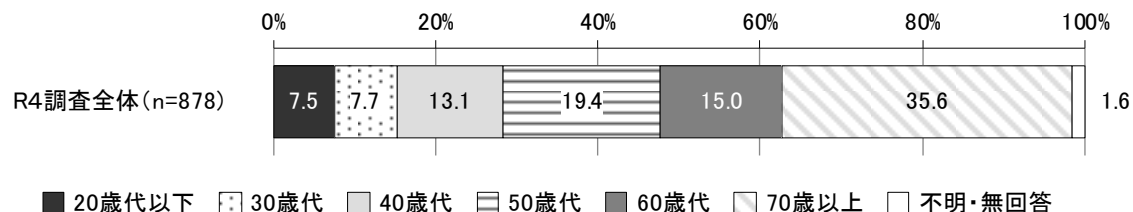
問1 性別（単数回答） ※戸籍上の区分とは別にご自身の主観による性別

性別は、全体で「男性」が43.5%、「女性」が54.6%、「回答しない」が0.6%となっています。



問2 年齢（令和4年10月1日時点）（数量回答）

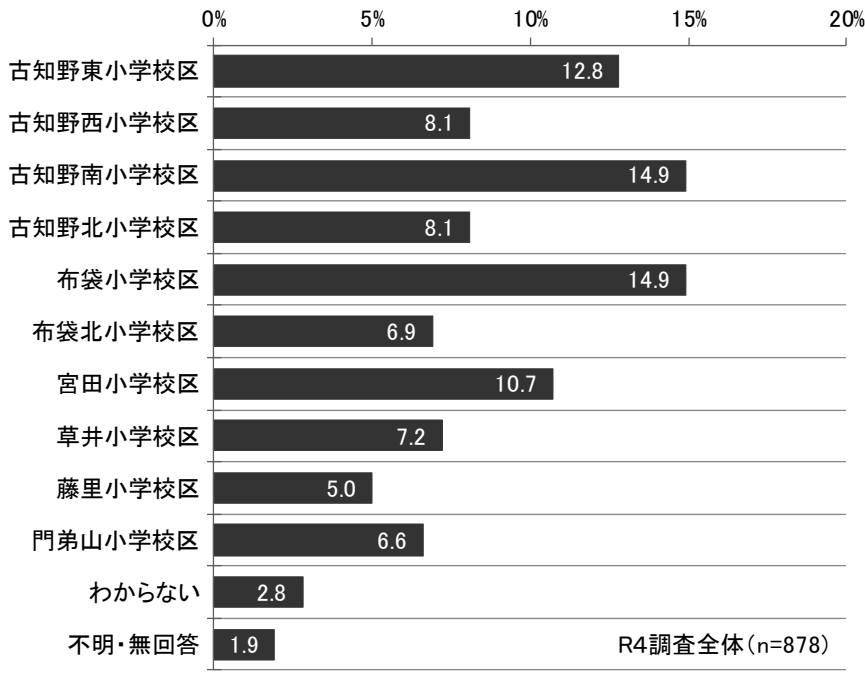
年齢は、全体で「70歳以上」が35.6%と最も高く、次いで「50歳代」が19.4%となっています。



※10歳代（18歳・19歳）の回答者が12名であったため、「20歳代以下」としてまとめました。以降、年齢別のクロス集計は10歳代と20歳代をまとめた区分「20歳代以下」と表記します。

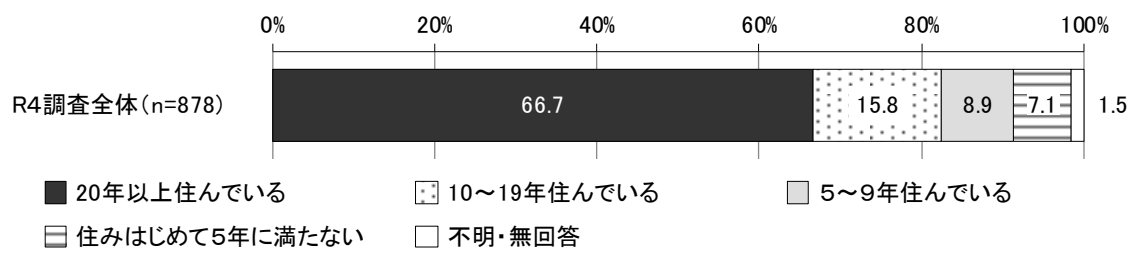
問3 現在住んでいる小学校区（単数回答）

居住地区は、全体で「古知野南小学校区」「布袋小学校区」がそれぞれ 14.9%と最も高く、次いで「古知野東小学校区」が 12.8%となっています。



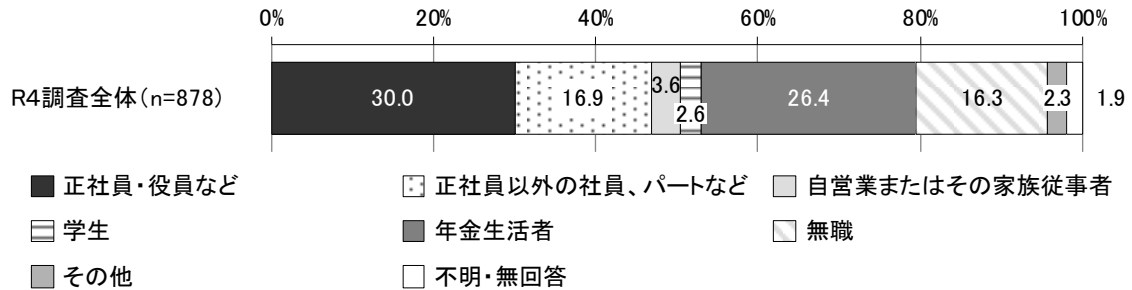
問4 あなたは現在の地区（問3で回答された地区）に何年住んでいますか。（単数回答）

居住年数は、全体で「20年以上住んでいる」が 66.7%と最も高く、次いで「10～19年住んでいる」が 15.8%となっています。



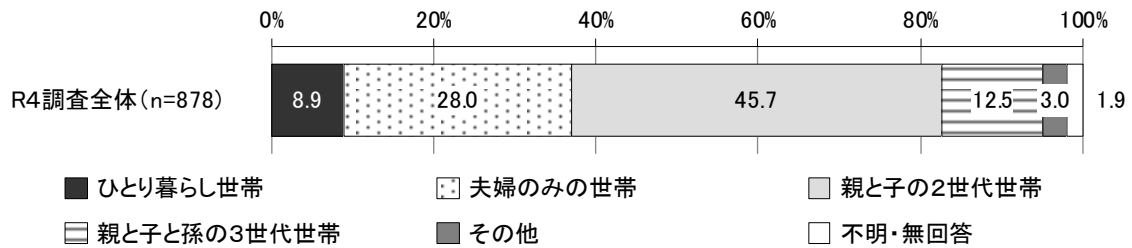
問5 あなたの主な職業は何ですか。(単数回答)

主な職業は、全体で「正社員・役員など」が30.0%と最も高く、次いで「年金生活者」が26.4%となっています。



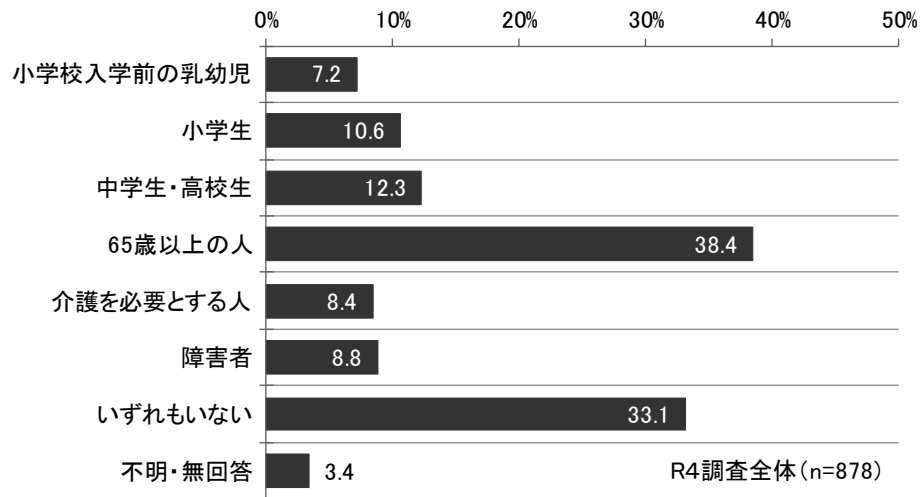
問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(単数回答)

家族構成は、全体で「親と子の2世代世帯」が45.7%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が28.0%となっています。



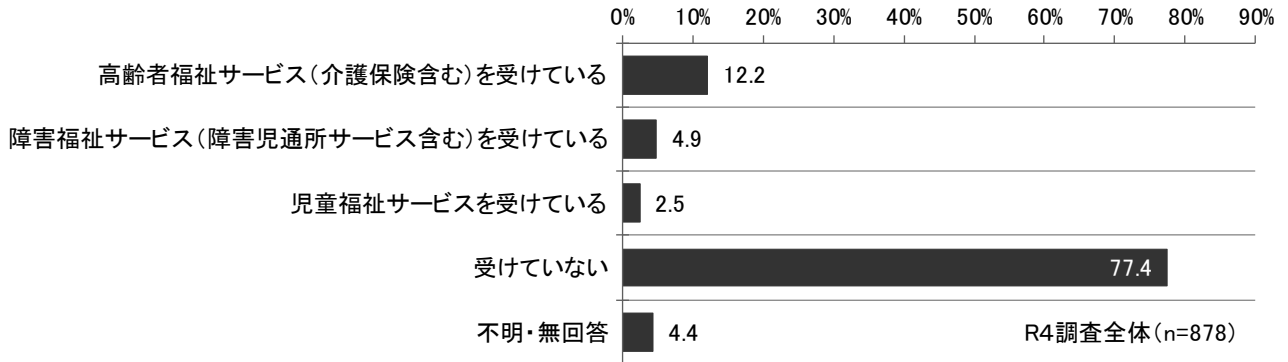
問7 あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。(複数回答)

自分自身や同居している家族の中に、全体で「65歳以上の人」が38.4%と最も高く、次いで「いずれもない」が33.1%となっています。



問8 あなた、またはあなたの家族は、福祉サービスを受けていますか。(複数回答)

自分自身、または家族が福祉サービスを受けているかは、全体で「受けていない」が77.4%と最も高く、次いで「高齢者福祉サービス(介護保険含む)を受けている」が12.2%となっています。



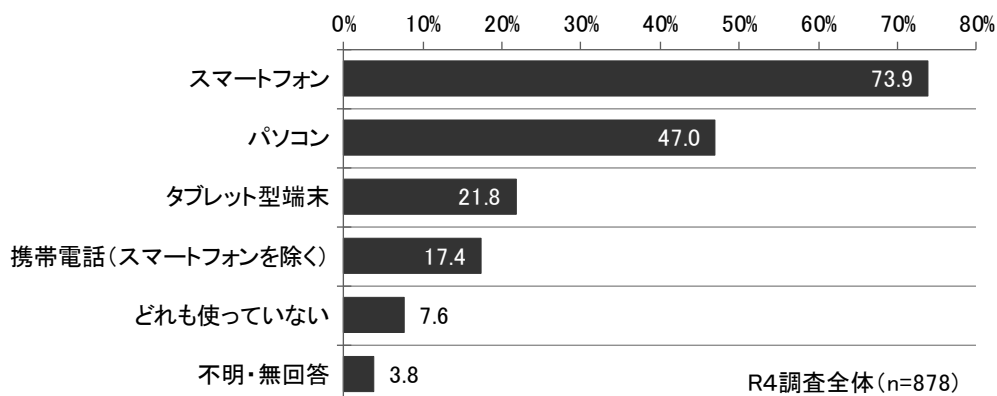
年齢別では、60歳代以下で「受けていない」が8割前後、70歳以上でも約7割となっています。

(単位: %)	n=	高齢者福祉サービス(介護保険含む)を受けている	障害福祉サービス(障害児通所サービス含む)を受けている	児童福祉サービスを受けている	受けていない	不明・無回答
年齢別						
20歳代以下	66	7.6	6.1	4.5	81.8	1.5
30歳代	68	4.4	7.4	8.8	79.4	1.5
40歳代	115	4.3	3.5	8.7	82.6	0.9
50歳代	170	8.2	3.5	0.0	84.1	4.7
60歳代	132	12.9	4.5	0.8	81.1	3.0
70歳以上	313	18.5	4.8	0.3	70.9	7.3

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

問9 あなたは、次のような機器を使っていますか。(複数回答)

使用している電子機器は、全体で「スマートフォン」が 73.9%と最も高く、次いで「パソコン」が 47.0%となっています。「どれも使っていない」は 7.6%となっています。



性別では、男性で「パソコン」が 61.0%と、女性と比べて 24.7 ポイント高くなっています。

年齢別では、「スマートフォン」の使用が 60 歳代以下で約 8 割を超えているものの、70 歳以上では 43.1%にとどまりますが、「携帯電話 (スマートフォンを除く)」の 33.9%を合わせると、77.0%になります。

(単位:%)	n=	スマートフォン	パソコン	タブレット型端末	携帯電話(スマートフォンを除く)	どれも使っていない	不明・無回答
性別							
男性	382	79.3	61.0	23.6	16.5	6.0	2.6
女性	479	70.1	36.3	20.3	17.5	9.2	4.4
年齢別							
20 歳代以下	66	97.0	68.2	37.9	3.0	0.0	1.5
30 歳代	68	94.1	63.2	41.2	5.9	2.9	1.5
40 歳代	115	95.7	67.8	40.9	7.0	1.7	0.0
50 歳代	170	90.0	58.8	24.7	10.0	1.8	3.5
60 歳代	132	87.1	53.0	21.2	9.1	2.3	2.3
70 歳以上	313	43.1	22.7	6.4	33.9	17.6	6.7

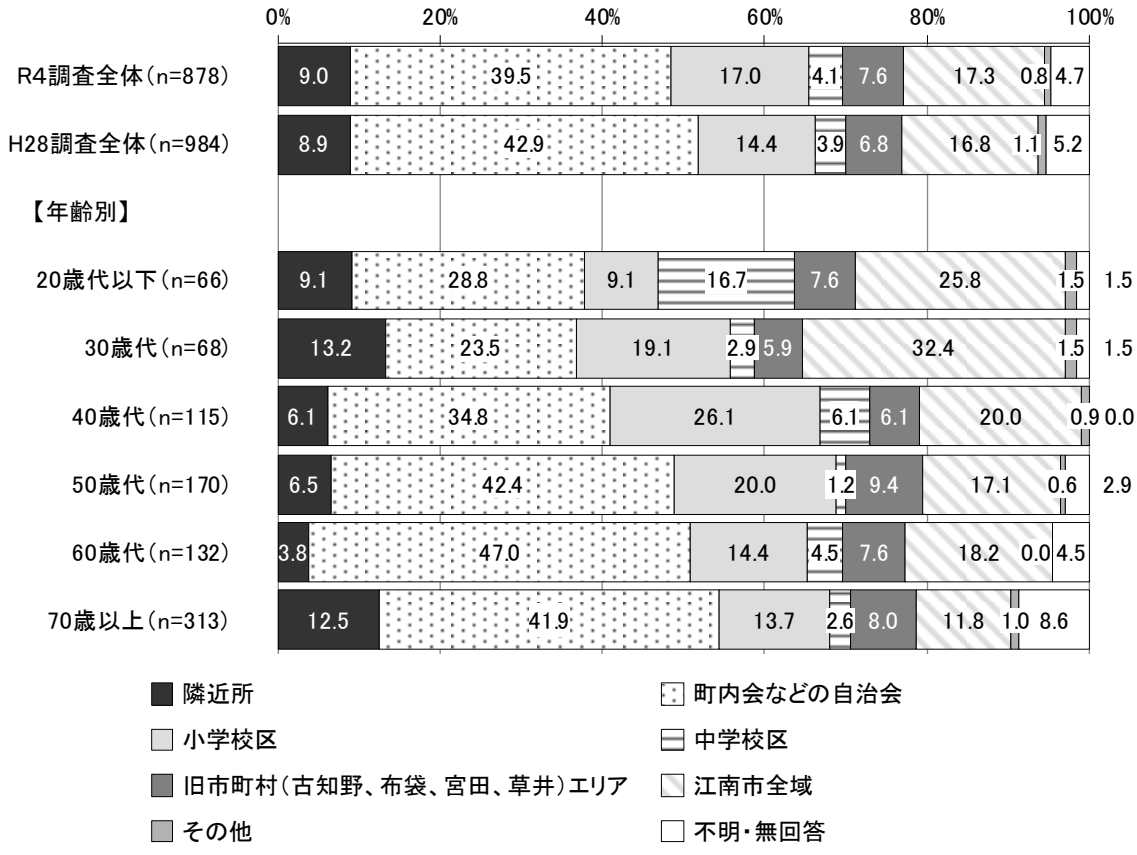
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

2 お住まいの地域の状況について

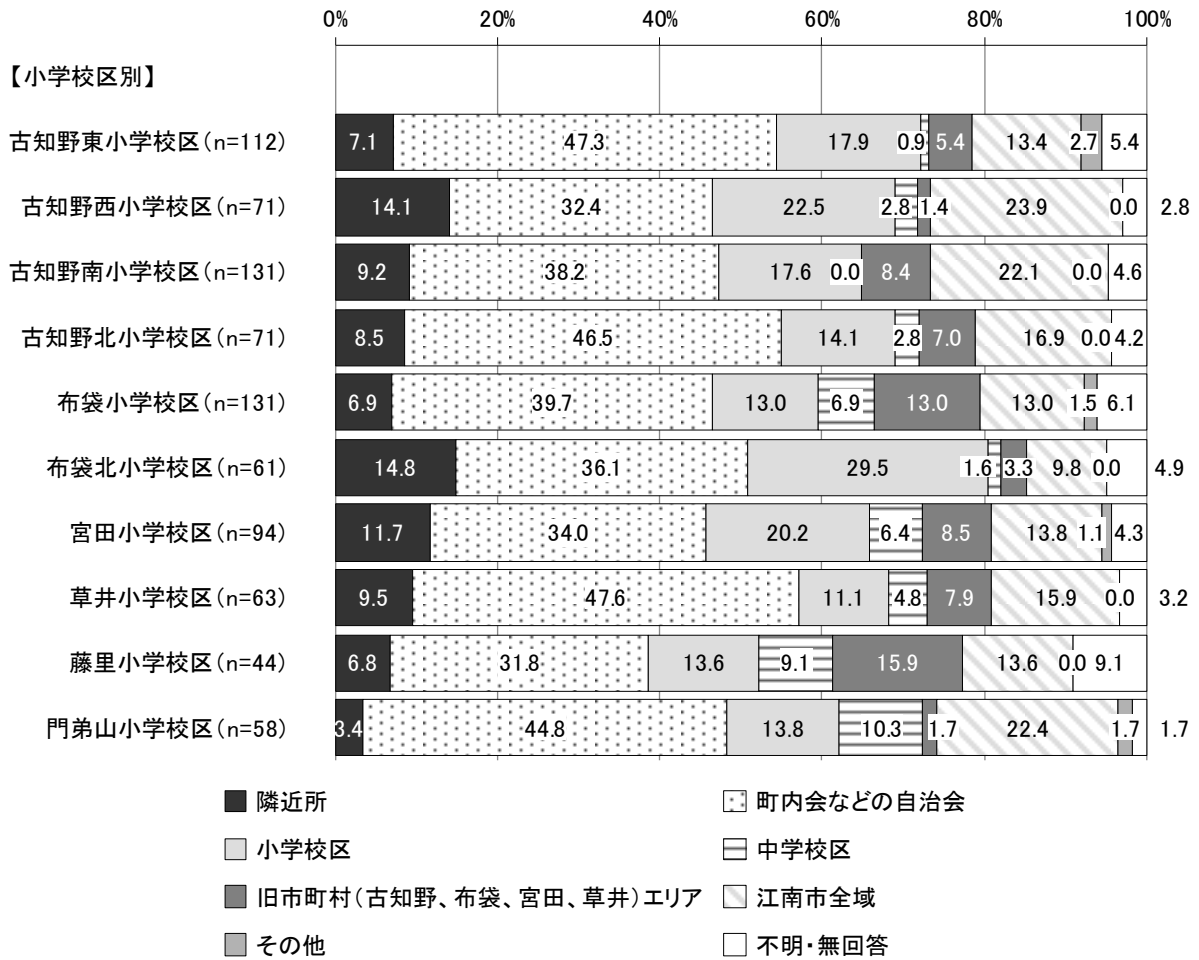
問10 あなたは、『地域』とはどの程度の範囲のことだと思いますか。(単数回答)

回答者が思う『地域』の範囲は、R4調査全体で「町内会などの自治会」が39.5%と最も高く、次いで「江南市全域」が17.3%となっています。H28調査全体と比較すると、10ポイント以上の大差はみられません。

年齢別では、30歳代で「江南市全域」が、その他の年代では「町内会などの自治会」が、それぞれ最も高くなっています。



小学校区別では、いずれの小学校区でも「町内会などの自治会」が最も高く、草井、古知野東、古知野北及び門弟山の各小学校区においては4割を超えています。

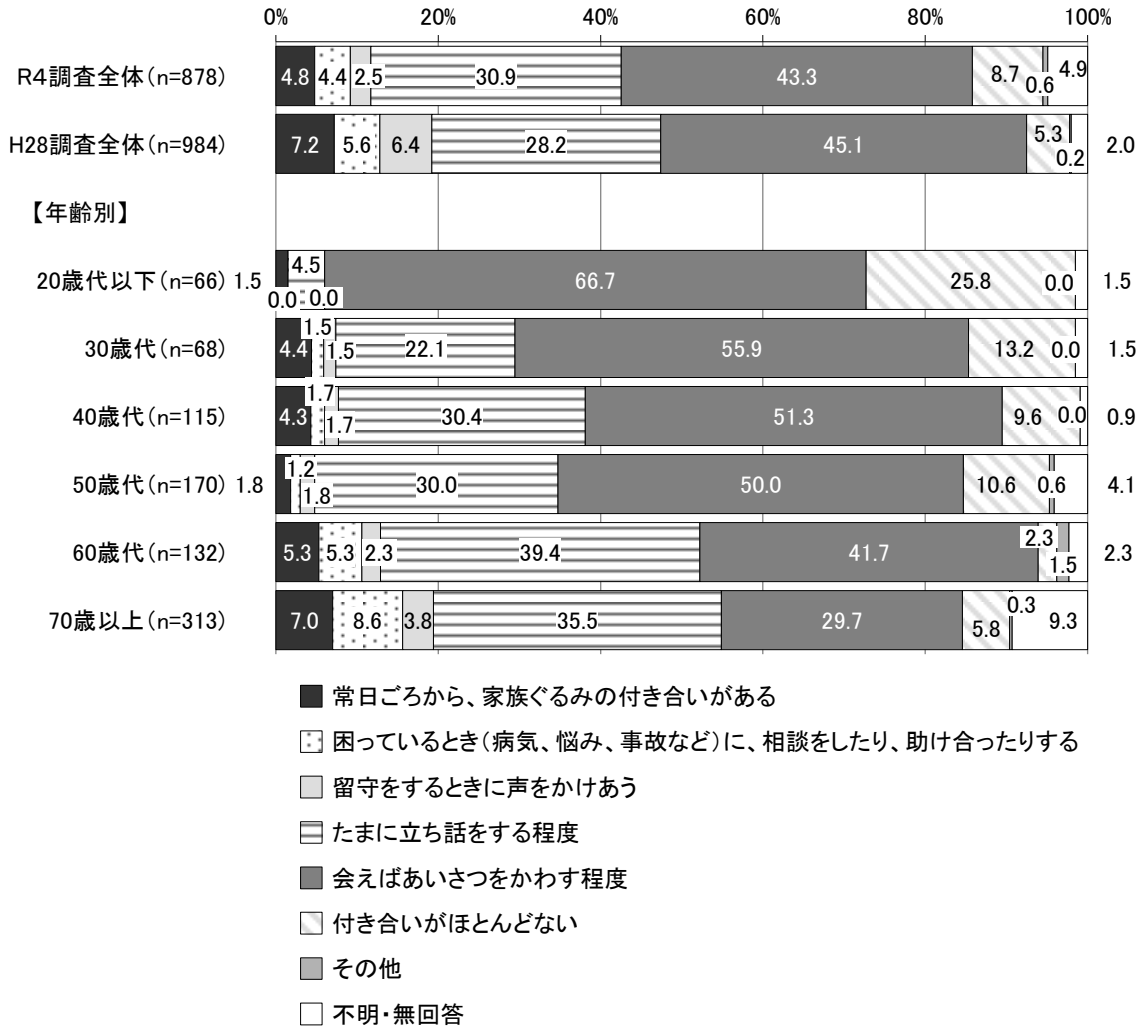


問11 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。
(単数回答)

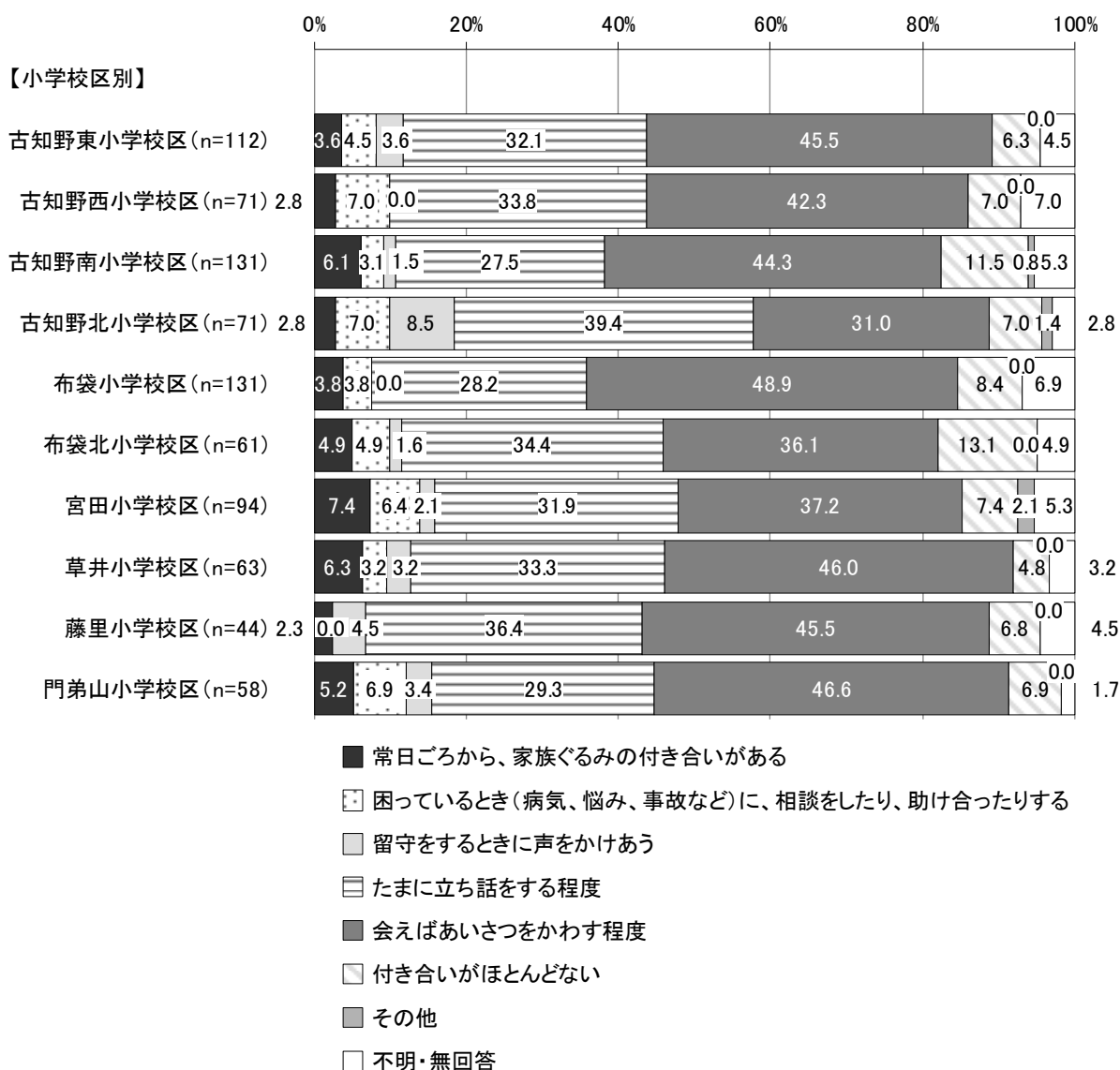
ふだん隣近所の人とどの程度の付き合いをしているかは、R4調査全体で「会えばあいさつをかわす程度」が43.3%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」が30.9%となっています。H28調査全体と比較すると、10ポイント以上の大差はみられません。

年齢別では、70歳以上で「たまに立ち話をする程度」が、その他の年代では「会えばあいさつをかわす程度」が、それぞれ最も高くなっています。なお、20歳代以下では、「会えばあいさつをかわす程度」に次いで、「付き合いがほとんどない」が高くなっています。

また、回答に性別による大きな差はみられません。

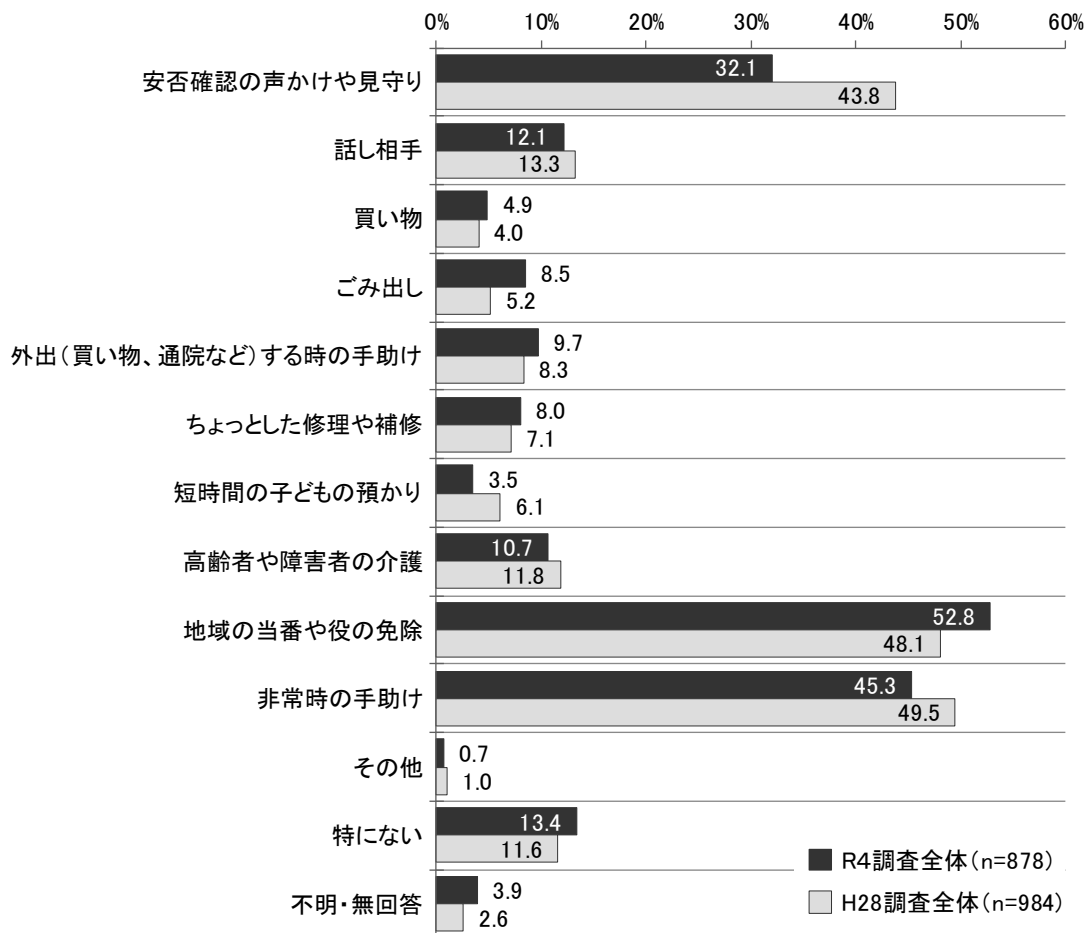


小学校区別では、古知野北小学校区で「たまに立ち話をする程度」が、その他の小学校区では「会えばあいさつをかわす程度」が、それぞれ最も高くなっています。なお、古知野北小学校区で「留守をするときに声をかけあう」が8.5%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



問 12 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで困ったとき、地域の人にどのような手助けをしてほしいですか。(複数回答)

回答者自身や家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで困ったとき、地域の人に手助けしてほしいことは、R4 調査全体で「地域の当番や役の免除」が 52.8%と最も高く、次いで「非常時の手助け」が 45.3%となっています。H28 調査全体と比較すると、「安否確認の声かけや見守り」が 11.7 ポイント低くなっています。



性別では、10 ポイント以上の大差はみられません。

年齢別では、いずれの年代でも「地域の当番や役の免除」が最も高く、特に 50 歳代で 61.8%と高くなっています。

小学校区別では、草井及び藤里の各小学校区で「地域の当番や役の免除」または「非常時の手助け」が上位のほか、「安否確認の声かけや見守り」が高くなっています。

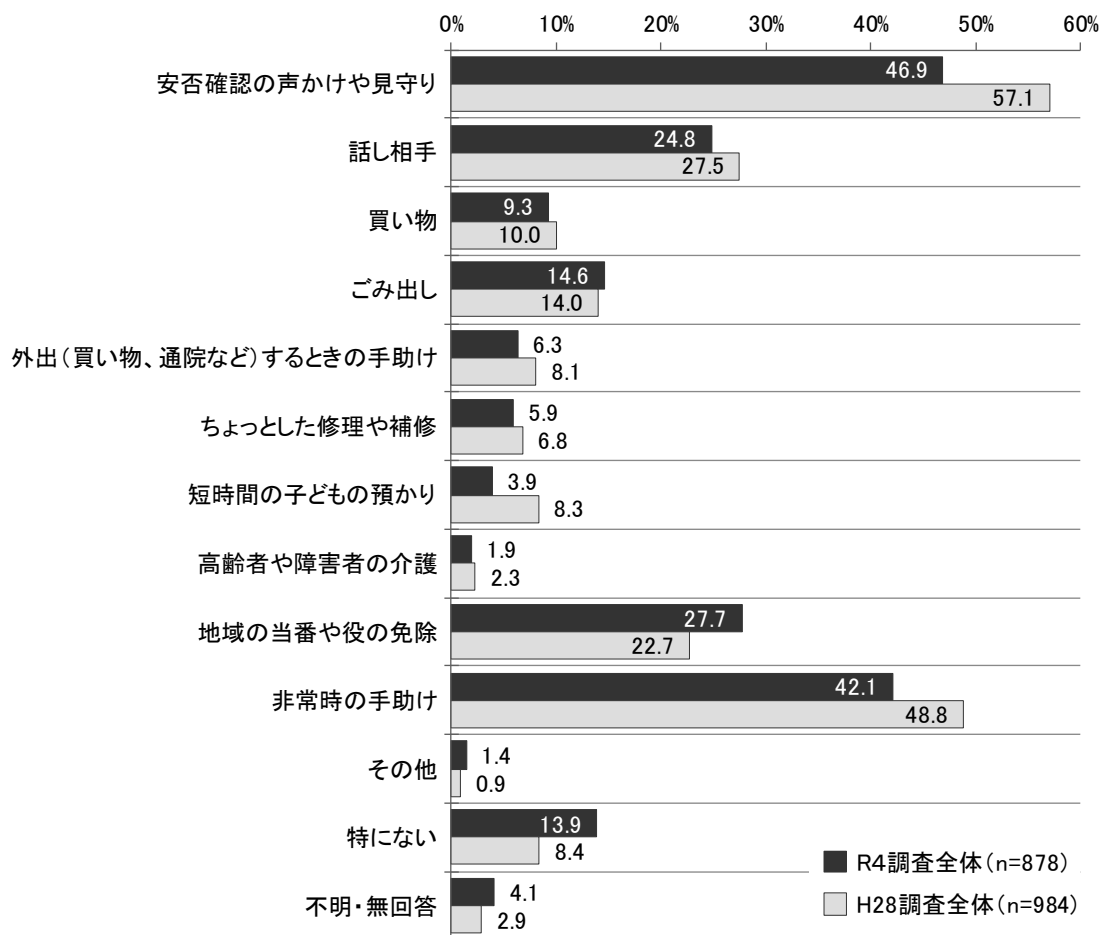
(単位: %)	n=	見守り 安否確認の 声かけや	話し相手	買い物	ごみ出し	外出(買い物、 通院など) する時の 手助け	ちよっとした 修理や補 修	短時間の 子どもの預 かり	高齢者や 障害者の 介護	地域の当 番や役の 免除	非常時の 手助け	その他
性別												
男性	382	32.7	13.1	3.9	7.9	8.6	8.1	2.4	13.9	51.0	42.1	0.8
女性	479	32.6	11.5	5.6	9.0	10.9	8.1	4.4	8.1	54.5	47.8	0.4
年齢別												
20歳代以下	66	36.4	13.6	3.0	0.0	1.5	0.0	10.6	4.5	45.5	39.4	0.0
30歳代	68	33.8	25.0	7.4	8.8	8.8	2.9	14.7	7.4	52.9	44.1	1.5
40歳代	115	31.3	8.7	0.9	5.2	7.8	6.1	3.5	12.2	59.1	48.7	0.9
50歳代	170	35.9	14.7	3.5	7.6	10.0	7.1	3.5	12.9	61.8	54.7	0.0
60歳代	132	36.4	12.9	4.5	9.8	11.4	9.8	1.5	12.9	53.8	47.7	0.8
70歳以上	313	28.1	8.3	7.0	11.2	11.5	11.5	0.3	10.2	47.6	39.9	0.6
小学校区別												
古知野東	112	25.9	15.2	7.1	8.0	8.0	13.4	5.4	13.4	53.6	40.2	0.9
古知野西	71	32.4	11.3	4.2	5.6	12.7	4.2	1.4	9.9	54.9	45.1	0.0
古知野南	131	33.6	14.5	6.9	8.4	8.4	6.9	3.8	7.6	59.5	44.3	0.8
古知野北	71	29.6	8.5	0.0	12.7	9.9	5.6	4.2	11.3	53.5	49.3	0.0
布袋	131	26.7	9.9	3.8	7.6	11.5	9.2	2.3	11.5	50.4	51.9	0.0
布袋北	61	27.9	6.6	8.2	9.8	8.2	3.3	4.9	11.5	54.1	34.4	0.0
宮田	94	38.3	13.8	4.3	8.5	6.4	11.7	6.4	11.7	53.2	45.7	2.1
草井	63	49.2	12.7	3.2	6.3	15.9	4.8	1.6	11.1	63.5	47.6	0.0
藤里	44	34.1	13.6	6.8	13.6	18.2	4.5	0.0	13.6	25.0	45.5	0.0
門弟山	58	32.8	15.5	3.4	5.2	3.4	6.9	0.0	3.4	55.2	48.3	0.0

(単位: %)	n=	特 に ない	不 明 ・ 無 回 答
性別			
男性	382	16.2	3.1
女性	479	11.1	4.2
年齢別			
20歳代以下	66	27.3	3.0
30歳代	68	8.8	1.5
40歳代	115	13.0	0.0
50歳代	170	8.8	3.5
60歳代	132	11.4	2.3
70歳以上	313	14.4	6.7
小学校区別			
古知野東	112	10.7	3.6
古知野西	71	18.3	2.8
古知野南	131	13.7	3.1
古知野北	71	12.7	5.6
布袋	131	11.5	6.1
布袋北	61	18.0	4.9
宮田	94	10.6	3.2
草井	63	6.3	3.2
藤里	44	15.9	4.5
門弟山	58	15.5	1.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 13 隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があったら、あなたはどのような手助けができると思いますか。(複数回答)

隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があったら、手助けができることは、R4 調査全体で「安否確認の声かけや見守り」が 46.9%と最も高く、次いで「非常時の手助け」が 42.1%となっています。H28 調査全体と比較すると、「安否確認の声かけや見守り」が 10.2 ポイント低くなっています。



※R4 調査の選択肢「地域の当番や役の免除」は、H28 調査では「地域の当番や役の引き受け、手助け」でした。

性別では、男女ともに「安否確認の声かけや見守り」「非常時の手助け」が上位となっています。なお、女性で「話し相手」が男性と比べて 10.8 ポイント、男性で「ちょっとした修理や補修」が女性と比べて 11.0 ポイント、それぞれ高くなっています。

年齢別では、30 歳代及び 60 歳代以上で「安否確認の声かけや見守り」が、20 歳代以下、40 歳代及び 50 歳代で「非常時の手助け」が、それぞれ最も高くなっています。なお、60 歳代以下では、「地域の当番や役の免除」は 3 割前後となっています。

小学校区別では、布袋小学校区で「非常時の手助け」が、その他の小学校区では「安否確認の声かけや見守り」が、それぞれ最も高くなっています。なお、草井小学校区で「地域の当番や役の免除」が 41.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

(単位: %)	n=	見守り 安否確認の 声かけや	話し相手	買い物	ごみ出し	外出(買い物、 通院など) する時の 手助け	ちよっとした 修理や補 修	短時間の 子どもの預 かり	高齢者や 障害者の 介 護	地域の当 番や役の 免 除	非常時の 手助け	その他
性別												
男性	382	45.8	19.1	7.1	12.8	5.5	12.0	1.8	2.6	29.3	47.1	0.8
女性	479	48.6	29.9	11.3	16.1	6.9	1.0	5.4	1.5	26.7	38.6	1.7
年齢別												
20歳代以下	66	40.9	25.8	9.1	6.1	10.6	3.0	3.0	0.0	25.8	48.5	0.0
30歳代	68	50.0	26.5	8.8	16.2	7.4	5.9	10.3	1.5	32.4	48.5	1.5
40歳代	115	45.2	25.2	12.2	7.0	7.8	2.6	4.3	0.9	27.8	50.4	0.9
50歳代	170	48.8	20.0	6.5	15.9	5.3	10.6	5.3	1.2	33.5	52.9	1.2
60歳代	132	56.8	21.2	12.9	15.2	4.5	7.6	3.8	3.0	31.8	39.4	1.5
70歳以上	313	43.8	28.4	8.6	18.2	5.8	4.5	1.9	2.9	22.4	32.9	1.6
小学校区別												
古知野東	112	49.1	29.5	7.1	17.0	4.5	3.6	5.4	4.5	31.3	41.1	0.9
古知野西	71	49.3	26.8	9.9	8.5	5.6	2.8	0.0	2.8	31.0	46.5	1.4
古知野南	131	50.4	19.8	13.7	13.0	5.3	8.4	6.9	0.8	31.3	47.3	0.8
古知野北	71	46.5	16.9	7.0	18.3	2.8	5.6	4.2	1.4	32.4	33.8	1.4
布袋	131	38.2	26.0	6.9	14.5	7.6	4.6	1.5	2.3	24.4	44.3	1.5
布袋北	61	41.0	19.7	11.5	16.4	11.5	6.6	8.2	0.0	19.7	37.7	0.0
宮田	94	45.7	29.8	13.8	18.1	9.6	9.6	4.3	0.0	19.1	36.2	2.1
草井	63	58.7	28.6	9.5	14.3	12.7	6.3	1.6	3.2	41.3	50.8	0.0
藤里	44	40.9	22.7	6.8	11.4	0.0	6.8	2.3	0.0	11.4	38.6	2.3
門弟山	58	63.8	31.0	5.2	10.3	1.7	5.2	3.4	0.0	34.5	44.8	0.0

(単位: %)	n=	特 に ない	不 明 ・ 無 回 答
性別			
男性	382	15.2	2.9
女性	479	12.3	4.8
年齢別			
20歳代以下	66	18.2	3.0
30歳代	68	11.8	1.5
40歳代	115	12.2	0.0
50歳代	170	10.6	3.5
60歳代	132	8.3	2.3
70歳以上	313	17.3	7.3
小学校区別			
古知野東	112	10.7	3.6
古知野西	71	15.5	4.2
古知野南	131	10.7	3.8
古知野北	71	16.9	2.8
布袋	131	19.1	6.9
布袋北	61	14.8	4.9
宮田	94	13.8	4.3
草井	63	7.9	3.2
藤里	44	15.9	4.5
門弟山	58	12.1	1.7

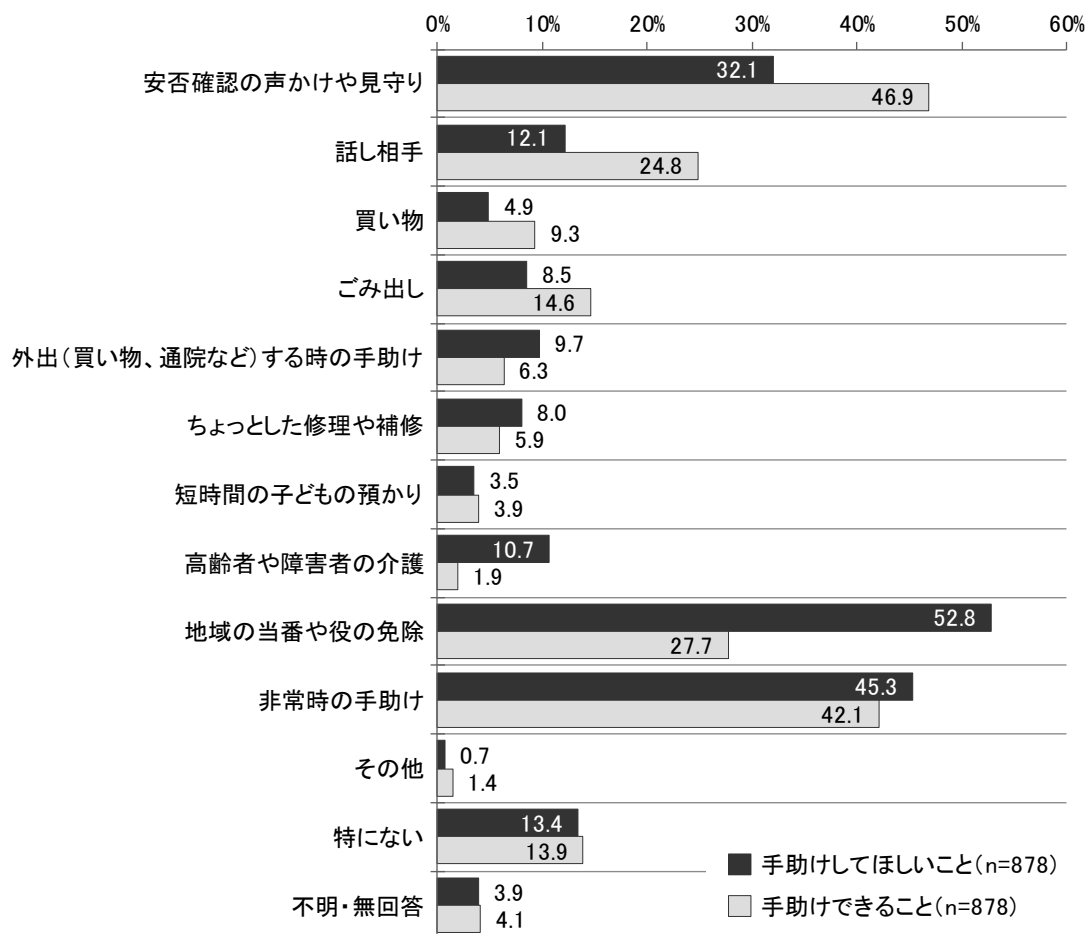
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 12 地域の人に手助けをしてほしいこと（複数回答）

問 13 困っている家庭があったら手助けができること（複数回答）

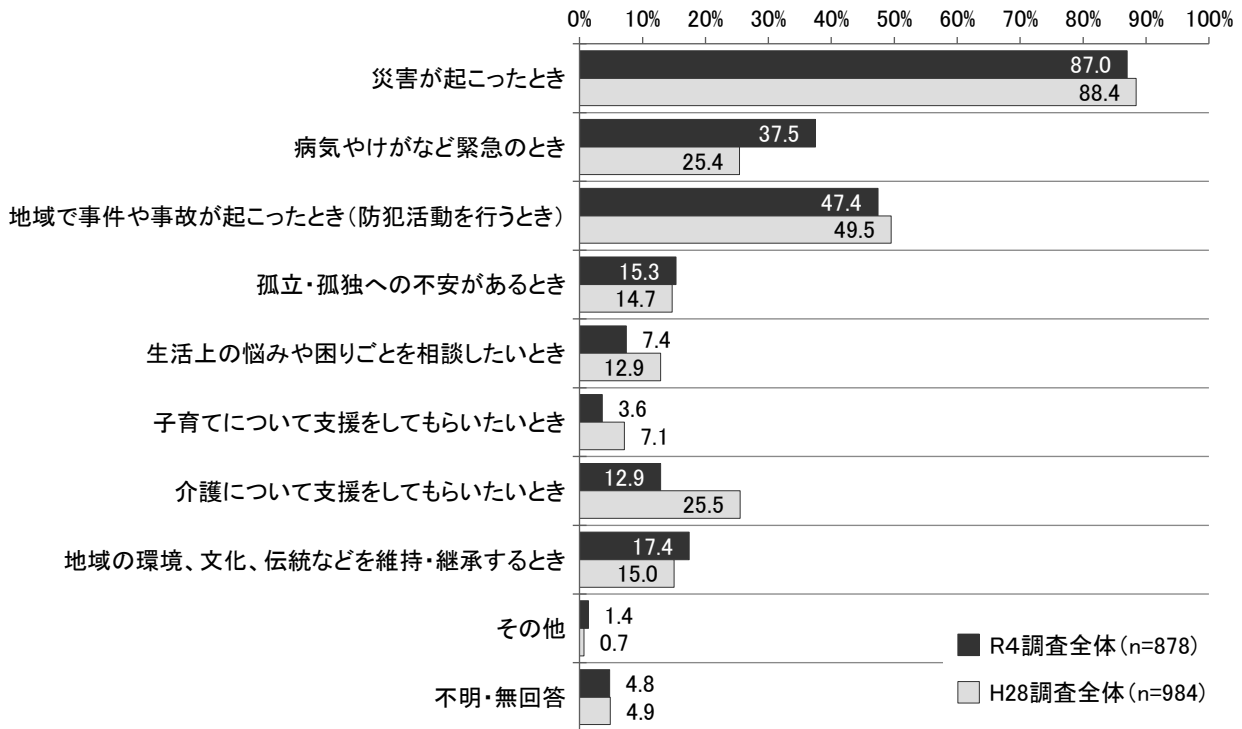
の比較

「手助けしてほしいこと」と「手助けできること」を比較すると、「安否確認の声かけや見守り」「話し相手」は「手助けできること」が10ポイント以上高く、「地域の当番や役の免除」は「手助けしてほしいこと」が25.1ポイント、それぞれ高くなっています。



問 14 地域のつながりが必要と感じるのはどのようなときですか。(複数回答)

地域のつながりが必要と感じるときは、R4調査全体で「災害が起こったとき」が87.0%と最も高く、次いで「地域で事件や事故が起こったとき(防犯活動を行うとき)」が47.4%となっています。H28調査全体と比較すると、「病気やけがなど緊急のとき」が12.1ポイント高くなっている一方で、「介護について支援をしてもらいたいとき」は12.6ポイント低くなっています。



性別では、10ポイント以上の大差はみられないものの、男性で「地域の環境、文化、伝統などを維持・継承するとき」が22.0%と、女性と比べて7.8ポイント高くなっています。

年齢別では、いずれの年代でも「災害が起こったとき」が最も高く、次いで60歳代以下で「地域で事件や事故が起こったとき（防犯活動を行うとき）」が、70歳以上で「病気やけがなど緊急のとき」となっています。なお、「病気やけがなど緊急のとき」は30歳代及び70歳以上でそれぞれ約4割と高くなっています。

小学校区別では、いずれの小学校区でも「災害が起こったとき」「地域で事件や事故が起こったとき（防犯活動を行うとき）」「病気やけがなど緊急のとき」が上位となっています。

(単位:%)	n=	災害が起こったとき	病気やけがなど緊急のとき	地域で事件や事故が起こったとき(防犯活動を行うとき)	孤立・孤独への不安があるとき	生活上の悩みや困りごとを相談したいとき	子育てについて支援をしてもらいたいとき	介護について支援をしてもらいたいとき	地域の環境、文化、伝統などを維持・継承するとき	その他	不明・無回答
性別											
男性	382	87.2	38.5	45.5	12.8	6.3	3.4	12.3	22.0	1.6	3.7
女性	479	87.3	36.3	48.6	17.1	8.1	3.8	13.4	14.2	1.0	5.4
年齢別											
20歳代以下	66	92.4	24.2	43.9	10.6	7.6	13.6	7.6	22.7	1.5	4.5
30歳代	68	82.4	42.6	54.4	20.6	7.4	11.8	5.9	25.0	5.9	1.5
40歳代	115	87.8	31.3	54.8	13.9	10.4	4.3	3.5	20.9	2.6	0.9
50歳代	170	89.4	30.0	50.0	21.2	6.5	2.4	13.5	15.9	0.0	4.7
60歳代	132	90.9	33.3	43.9	15.9	9.1	3.0	15.9	21.2	0.8	2.3
70歳以上	313	84.0	47.0	43.5	11.8	6.1	0.3	17.6	12.8	0.6	8.0
小学校区別											
古知野東	112	85.7	35.7	46.4	16.1	4.5	4.5	17.0	16.1	1.8	4.5
古知野西	71	90.1	36.6	42.3	11.3	12.7	4.2	18.3	9.9	2.8	4.2
古知野南	131	87.8	42.7	43.5	15.3	6.9	4.6	8.4	22.9	0.8	4.6
古知野北	71	85.9	35.2	54.9	16.9	16.9	2.8	16.9	11.3	2.8	4.2
布袋	131	84.7	35.9	51.1	15.3	4.6	3.1	11.5	22.1	0.8	7.6
布袋北	61	88.5	36.1	44.3	13.1	3.3	3.3	11.5	13.1	1.6	4.9
宮田	94	81.9	40.4	46.8	14.9	5.3	4.3	10.6	23.4	1.1	3.2
草井	63	92.1	36.5	54.0	12.7	7.9	3.2	9.5	20.6	0.0	3.2
藤里	44	90.9	31.8	36.4	18.2	6.8	0.0	20.5	11.4	0.0	6.8
門弟山	58	94.8	36.2	53.4	19.0	6.9	3.4	8.6	13.8	0.0	1.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

3 福祉の情報について

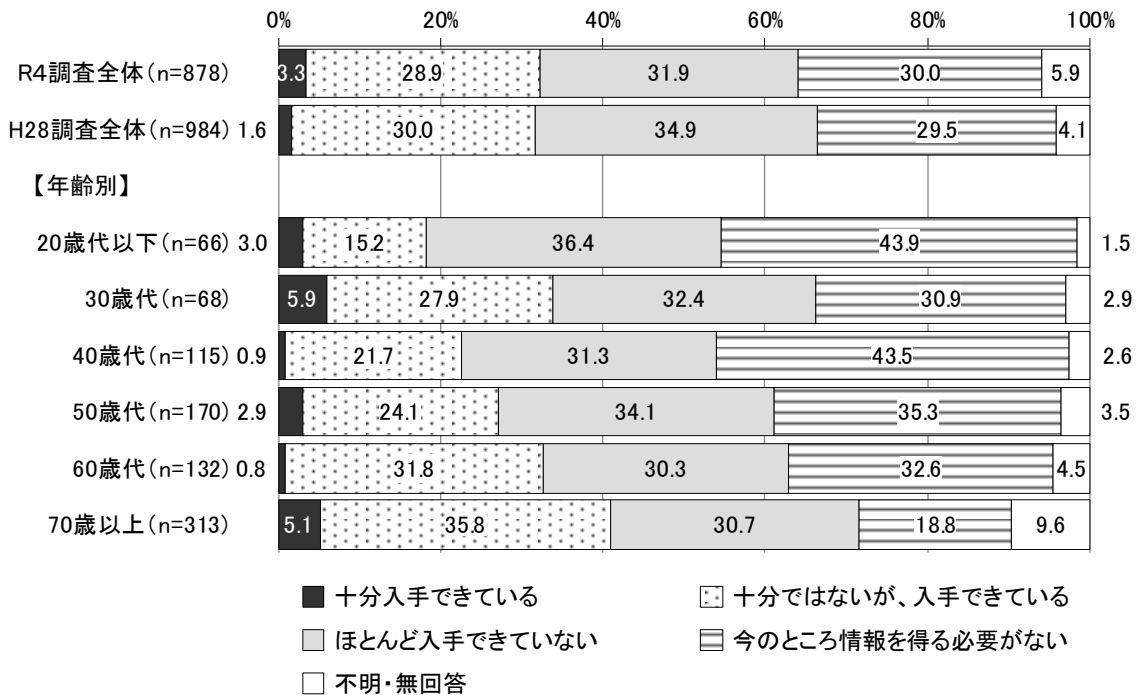
問 15 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『入手できている』 … 「十分入手できている」と「十分ではないが、入手できている」を合算

自分に必要な「福祉サービス」の情報を入手できているかは、R4 調査全体で「ほとんど入手できていない」が 31.9%と最も高く、次いで「今のところ情報を得る必要がない」が 30.0%となっています。なお、『入手できている』32.2%のうち、「十分入手できている」は 3.3%にとどまっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられません。

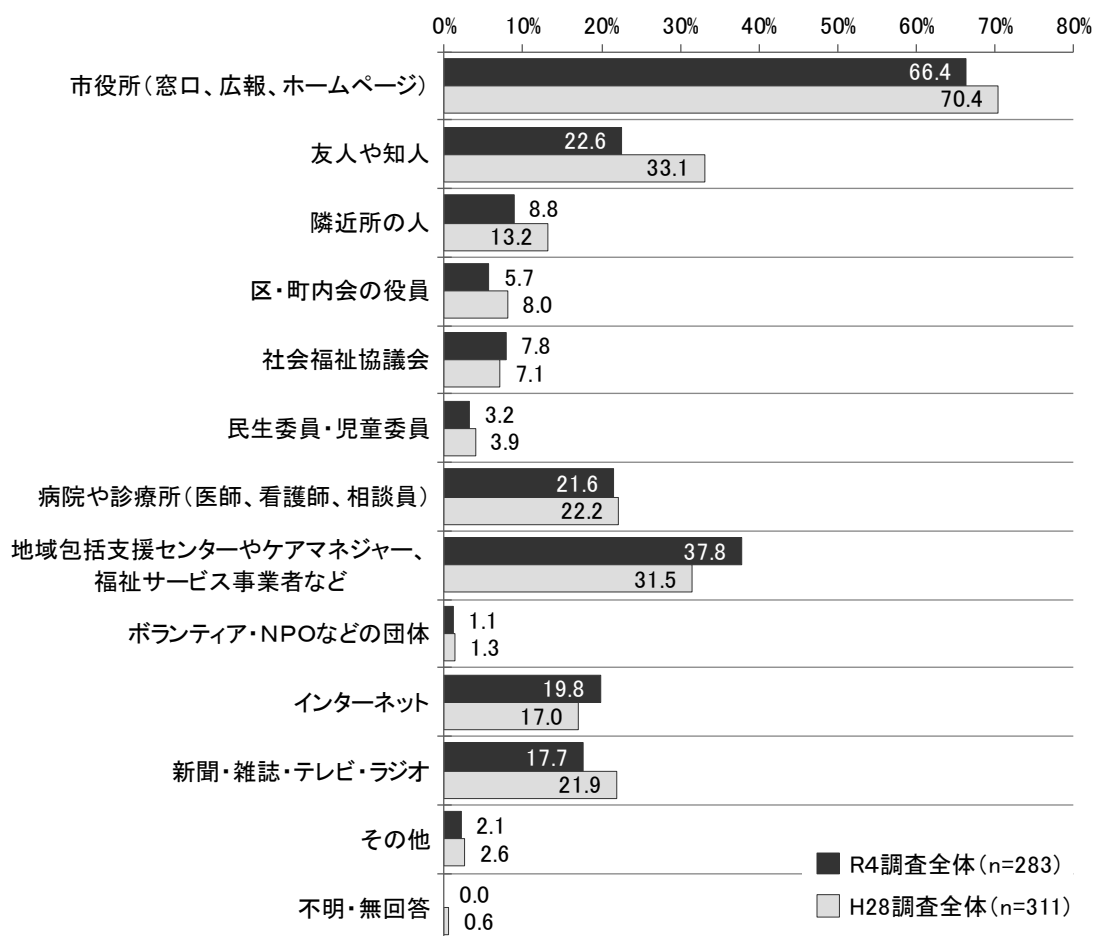
年齢別では、『入手できている』は 70 歳以上で 40.9%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、「十分入手できている」はいずれの年代でも 1 割未満となっています。



問15で「1. 十分入手できている」または「2. 十分ではないが、入手できている」と回答した方のみ

問15-1 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(複数回答)

「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手しているかは、R4調査全体で「市役所（窓口、広報、ホームページ）」が66.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センターやケアマネジャー、福祉サービス事業者など」が37.8%となっています。H28調査全体と比較すると、「友人や知人」が10.5ポイント低くなっています。



※R4調査の選択肢「地域包括支援センターやケアマネジャー、福祉サービス事業者など」は、H28調査では「福祉施設や福祉サービス事業者、ケアマネージャーなど」でした。

年齢別では、20歳代以下で「インターネット」が、30歳代以上で「市役所（窓口、広報、ホームページ）」が、それぞれ最も高くなっています。なお、「市役所（窓口、広報、ホームページ）」は、40歳代及び50歳代でそれぞれ約8割と高くなっています。

(単位：%)	n=	市役所（窓口、広報、ホームページ）	友人や知人	隣近所の人	区・町内会の役員	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	病院や診療所（医師、看護師、相談員）	地域包括支援センターやケアマネジャー、福祉サービス事業者など	ボランティア・NPOなどの団体	インターネット	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
20歳代以下	12	41.7	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	58.3	16.7
30歳代	23	69.6	21.7	4.3	0.0	4.3	0.0	13.0	17.4	0.0	43.5	4.3
40歳代	26	80.8	19.2	0.0	0.0	7.7	3.8	19.2	26.9	0.0	19.2	3.8
50歳代	46	80.4	26.1	4.3	0.0	8.7	0.0	28.3	37.0	0.0	21.7	10.9
60歳代	43	60.5	16.3	4.7	7.0	7.0	2.3	16.3	41.9	2.3	30.2	18.6
70歳以上	128	62.5	22.7	15.6	10.2	9.4	5.5	25.0	44.5	1.6	7.8	25.8

(単位：%)	n=	その他	不明・無回答
20歳代以下	12	8.3	0.0
30歳代	23	4.3	0.0
40歳代	26	7.7	0.0
50歳代	46	2.2	0.0
60歳代	43	0.0	0.0
70歳以上	128	0.8	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

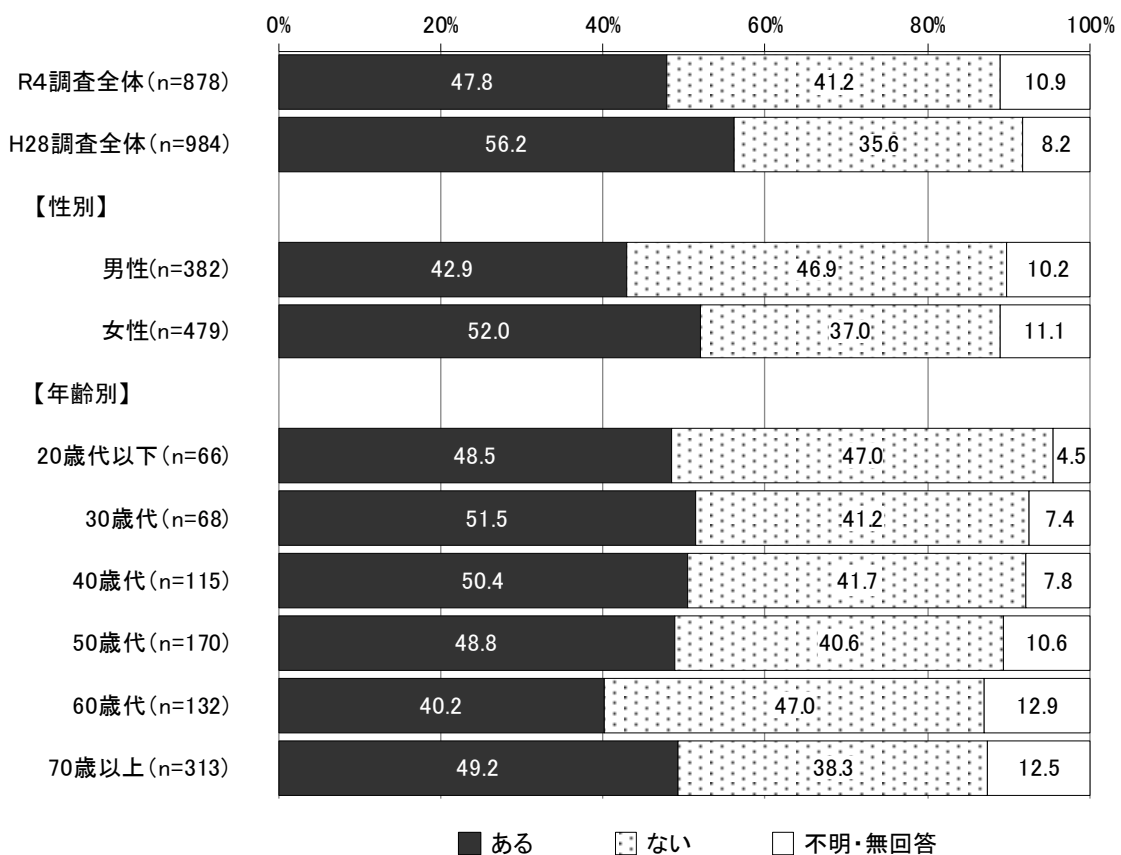
4 困りごとの相談について

問 16 あなたは、毎日の暮らしの中で、悩みや不安を感じることはありますか。
(単数回答)

毎日の暮らしの中で、悩みや不安を感じることの有無は、R4 調査全体で「ある」が 47.8%、「ない」が 41.2%となっています。H28 調査全体と比較すると、「ある」が 8.4 ポイント低くなっています。

性別では、「ある」が女性で 52.0%と、男性と比べて 9.1 ポイント高くなっています。

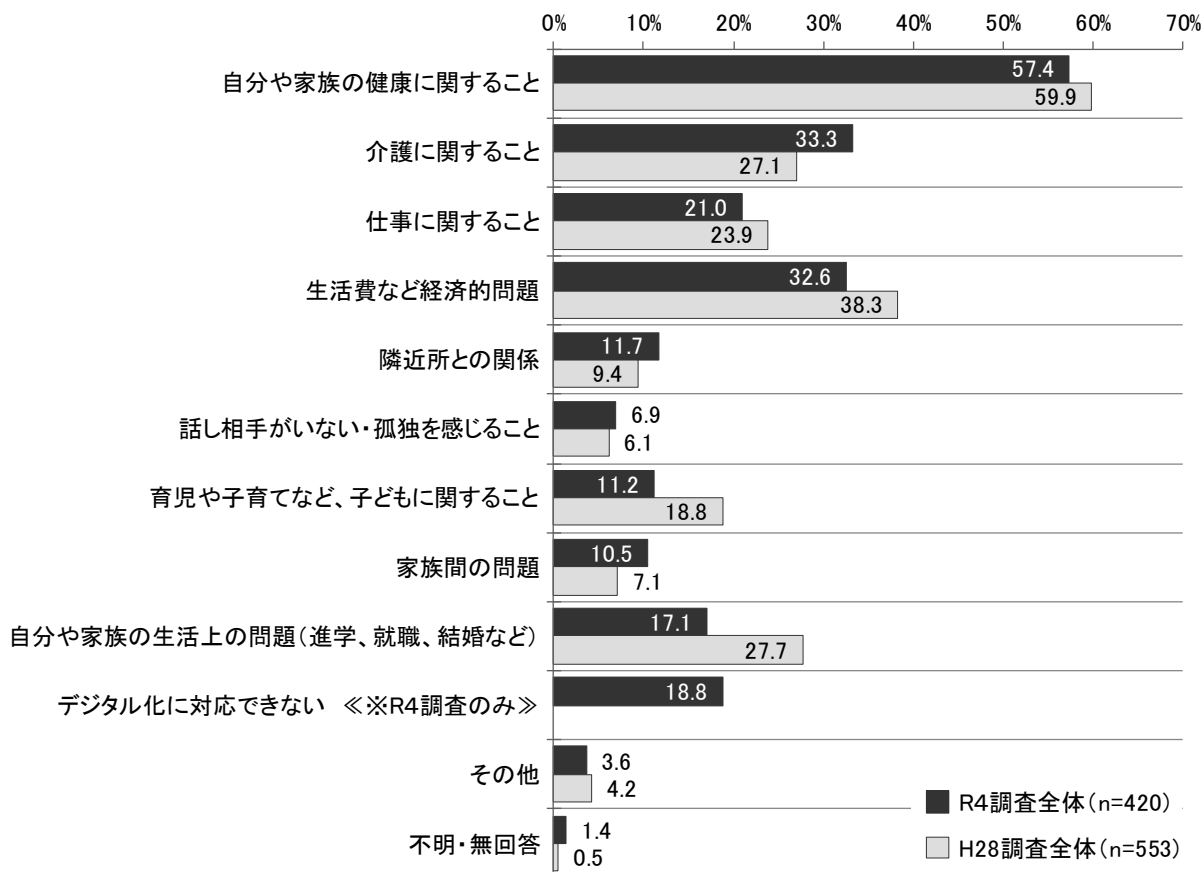
年齢別では、「ある」が 60 歳代を除いて 5 割前後となっています。



問16で「1. ある」と回答した方のみ

問16-1 どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(複数回答)

どのようなことに悩みや不安を感じているかは、R4調査全体で「自分や家族の健康に関すること」が57.4%と最も高く、次いで「介護に関すること」が33.3%となっています。H28調査全体と比較すると、「自分や家族の生活上の問題（進学、就職、結婚など）」が10.6ポイント低くなっています。



性別では、男性で「介護に関すること」「仕事に関すること」が、女性と比べてそれぞれ11.1ポイント高くなっています。

年齢別では、20歳代以下で「生活費など経済的問題」が、30歳代で「自分や家族の健康に関すること」「育児や子育てなど、子どもに関すること」が、40歳代以上で「自分や家族の健康に関すること」が、それぞれ最も高くなっています。なお、20歳代以下で「生活費など経済的問題」とともに「仕事に関すること」が4割以上と、他の年代と比べて高くなっています。さらに、50歳代及び70歳以上で「介護に関すること」がそれぞれ4割以上と、他の年代と比べて高くなっています。

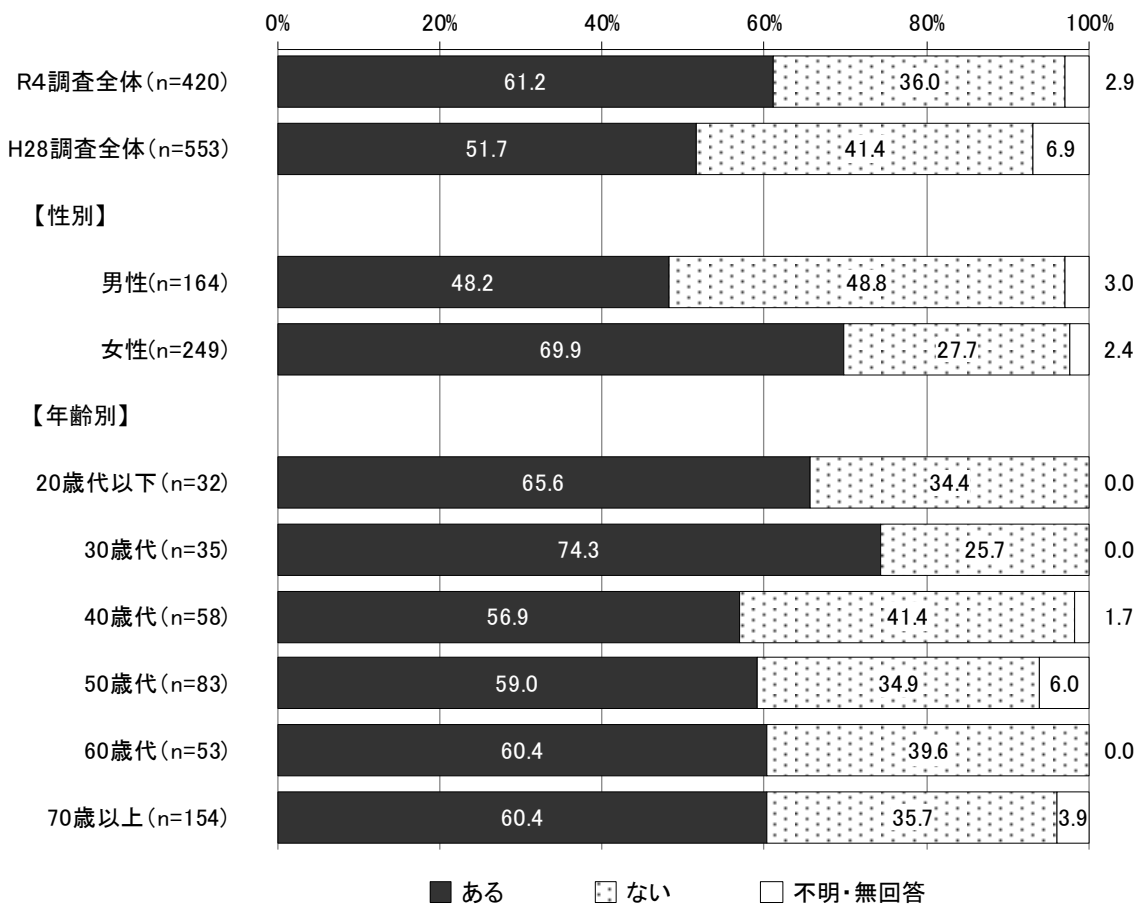
(単位:%)	n=	自分や家族の健康に関する事	介護に関する事	仕事に関する事	生活費など経済的問題	隣近所との関係	話し相手がない・孤独を感じる事	育児や子育てなど、子どもに関する事	家族間の問題	自分や家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	デジタル化に対応できない	その他	不明・無回答
性別													
男性	164	61.6	39.6	28.0	32.9	11.6	8.5	8.5	11.6	12.2	18.9	4.9	1.2
女性	249	55.4	28.5	16.9	31.7	11.6	6.0	12.9	9.6	20.5	18.5	2.8	1.6
年齢別													
20歳代以下	32	37.5	12.5	40.6	56.3	9.4	0.0	28.1	9.4	31.3	0.0	3.1	0.0
30歳代	35	42.9	14.3	37.1	28.6	11.4	5.7	42.9	14.3	28.6	2.9	11.4	0.0
40歳代	58	44.8	17.2	34.5	31.0	10.3	3.4	31.0	6.9	39.7	6.9	5.2	1.7
50歳代	83	60.2	45.8	36.1	32.5	9.6	8.4	2.4	16.9	19.3	14.5	3.6	0.0
60歳代	53	71.7	28.3	13.2	30.2	11.3	3.8	3.8	15.1	9.4	18.9	1.9	0.0
70歳以上	154	63.0	42.2	3.2	29.2	14.3	10.4	0.0	6.5	4.5	33.1	1.9	3.2

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

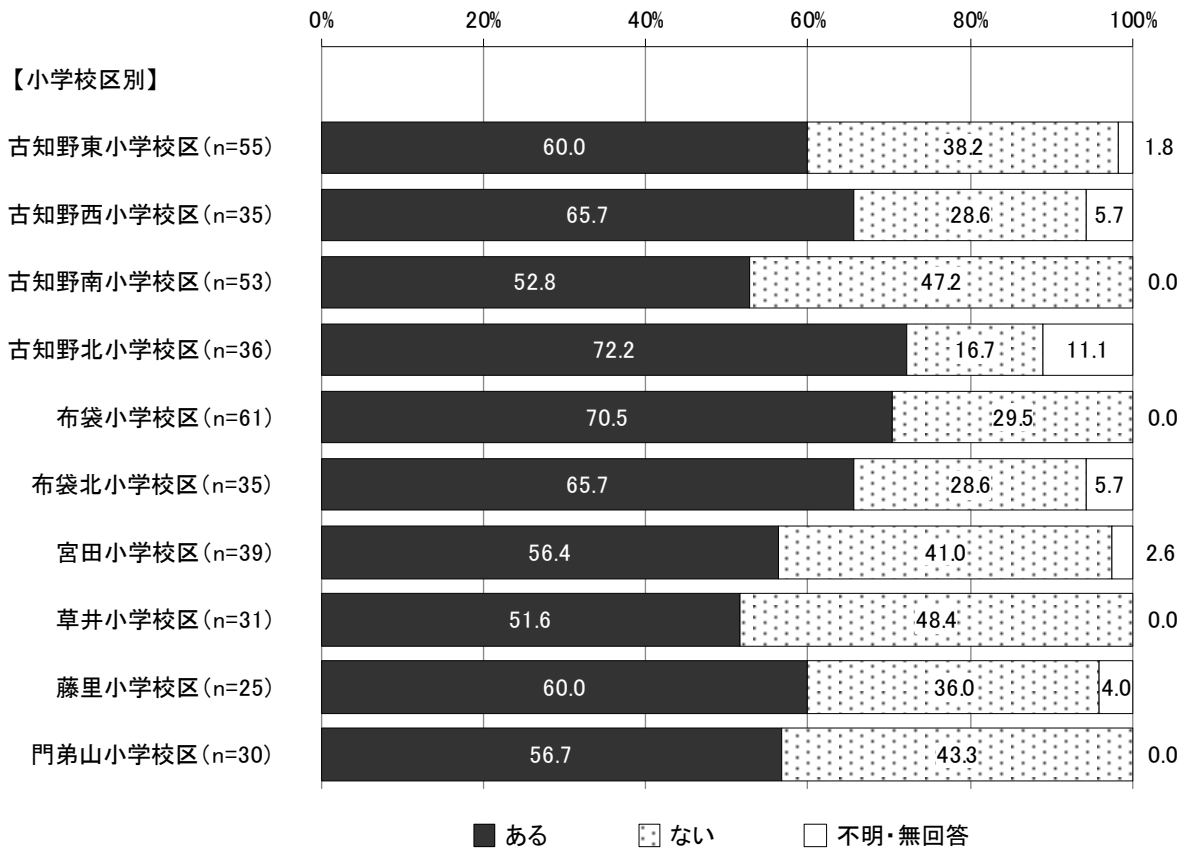
問16で「1. ある」と回答した方のみ

問16-2 あなたは、生活上の悩みや不安を、相談できる場所がありますか。
(単数回答)

生活上の悩みや不安を相談できる場所の有無は、R4調査全体で「ある」が61.2%、「ない」が36.0%となっています。H28調査全体と比較すると、「ある」が9.5ポイント高くなっています。性別では、「ある」が男性で48.2%と、女性と比べて21.7ポイント低くなっています。年齢別では、「ある」が30歳代で74.3%と、他の年代と比べて高くなっています。



小学校区別では、「ある」が草井、古知野南、宮田及び門弟山の各小学校区で5割台と、他の小学校区と比べて低くなっています。



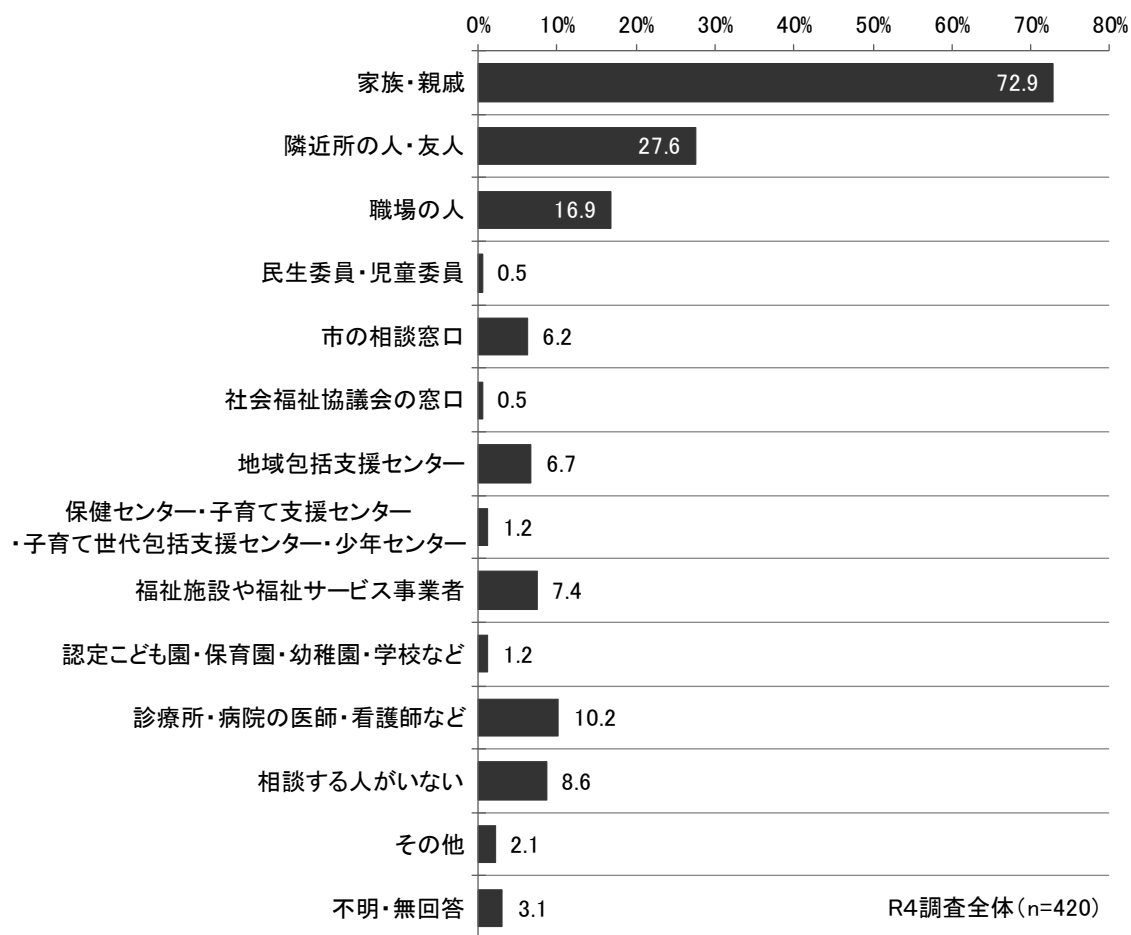
問16で「1. ある」と回答した方のみ

問16-3 あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談していますか。（複数回答）

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『公的機関』…「市の相談窓口」と「社会福祉協議会の窓口」と「地域包括支援センター」と「保健センター・子育て支援センター・子育て世代包括支援センター・少年センター」を合算

生活上の悩みや不安の主な相談先は、R4調査全体で「家族・親戚」が72.9%と最も高く、次いで「隣近所の人・友人」が27.6%となっています。なお、『公的機関』への相談は14.6%となっています。



性別では、「家族・親戚」が男性で66.5%と、女性と比べて10.6ポイント低くなっています。また、「相談する人がいない」が男性で14.6%と、女性と比べて9.8ポイント高くなっています。『公的機関』への相談は、男性16.4%、女性12.8%となっています。

年齢別では、いずれの年代でも「家族・親戚」が最も高く、「相談する人がいない」は40歳代及び60歳代でそれぞれ1割を超えています。『公的機関』への相談は、50歳代及び70歳以上でそれぞれ約2割となっています。

小学校区別では、「家族・親戚」が古知野北及び布袋の各小学校区でそれぞれ8割を超えて高く、「相談する人がいない」が門弟山小学校区で16.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

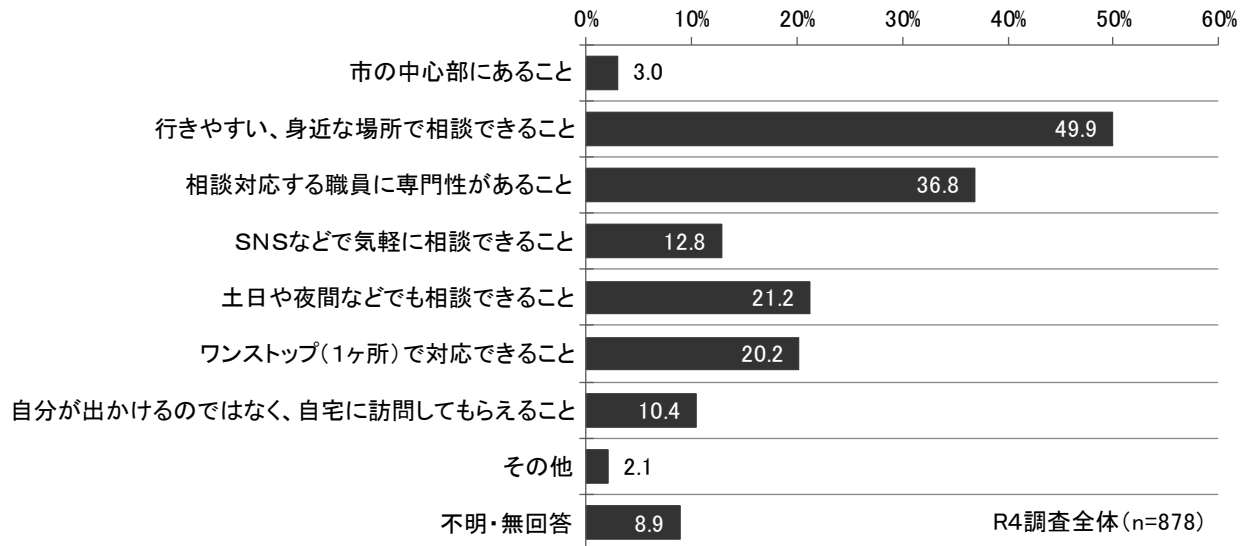
(単位: %)	n=	家族・親戚	隣近所の人・友人	職場の人	民生委員・児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会の窓口	地域包括支援センター	保健センター・子育て支援センター・子育て世代包括支援センター・少年センター	福祉施設や福祉サービス業者	認定こども園・保育園・幼稚園・学校など	診療所・病院の医師・看護師など
性別												
男性	164	66.5	23.2	18.3	0.6	7.3	1.2	6.1	1.8	4.3	0.6	11.0
女性	249	77.1	30.5	16.1	0.4	5.2	0.0	6.8	0.8	8.8	1.6	9.2
年齢別												
20歳代以下	32	75.0	37.5	25.0	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	3.1	0.0	3.1
30歳代	35	85.7	34.3	31.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	8.6	8.6	2.9
40歳代	58	72.4	25.9	34.5	0.0	3.4	1.7	0.0	1.7	5.2	1.7	3.4
50歳代	83	72.3	26.5	28.9	0.0	10.8	1.2	6.0	0.0	12.0	1.2	8.4
60歳代	53	75.5	24.5	11.3	0.0	3.8	0.0	5.7	1.9	5.7	0.0	11.3
70歳以上	154	68.8	26.6	1.3	1.3	7.1	0.0	12.3	0.0	6.5	0.0	16.2
小学校区別												
古知野東	55	67.3	34.5	12.7	0.0	1.8	0.0	7.3	1.8	1.8	0.0	5.5
古知野西	35	77.1	20.0	14.3	0.0	5.7	0.0	11.4	0.0	5.7	2.9	14.3
古知野南	53	66.0	18.9	22.6	0.0	5.7	1.9	5.7	3.8	5.7	0.0	11.3
古知野北	36	80.6	33.3	13.9	0.0	19.4	0.0	11.1	0.0	13.9	2.8	16.7
布袋	61	85.2	32.8	26.2	0.0	3.3	0.0	3.3	1.6	9.8	3.3	13.1
布袋北	35	77.1	34.3	25.7	5.7	5.7	2.9	5.7	0.0	2.9	2.9	11.4
宮田	39	76.9	28.2	15.4	0.0	5.1	0.0	10.3	0.0	7.7	0.0	5.1
草井	31	67.7	25.8	12.9	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	16.1	0.0	9.7
藤里	25	60.0	28.0	4.0	0.0	12.0	0.0	16.0	0.0	12.0	0.0	12.0
門弟山	30	66.7	26.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7

(単位: %)	n=	相談する人がいない	その他	不明・無回答
性別				
男性	164	14.6	1.8	1.8
女性	249	4.8	2.4	4.0
年齢別				
20歳代以下	32	6.3	6.3	0.0
30歳代	35	2.9	0.0	0.0
40歳代	58	15.5	0.0	1.7
50歳代	83	9.6	1.2	2.4
60歳代	53	11.3	0.0	1.9
70歳以上	154	6.5	3.9	5.8
小学校区別				
古知野東	55	12.7	5.5	3.6
古知野西	35	8.6	2.9	5.7
古知野南	53	5.7	0.0	1.9
古知野北	36	5.6	2.8	5.6
布袋	61	6.6	0.0	4.9
布袋北	35	8.6	0.0	2.9
宮田	39	2.6	5.1	0.0
草井	31	9.7	0.0	3.2
藤里	25	12.0	0.0	0.0
門弟山	30	16.7	3.3	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 17 あなたが、生活上の悩みや不安を相談する場合、相談先に求めるものは何ですか。
(複数回答)

生活上の悩みや不安を相談する場合、相談先に求めるものは、R4 調査全体で「行きやすい、身近な場所で相談できること」が 49.9%と最も高く、次いで「相談対応する職員に専門性があること」が 36.8%となっています。



性別では、男女ともに「行きやすい、身近な場所で相談できること」「相談対応する職員に専門性があること」が上位となっていますが、いずれも10ポイントを超える大差はみられません。

年齢別では、30歳代及び40歳代で「相談対応する職員に専門性があること」が、その他の年代では「行きやすい、身近な場所で相談できること」が、それぞれ最も高くなっています。なお、40歳代以下で「SNSなどで気軽に相談できること」が2割以上となっており、20歳代以下では39.4%と高くなっています。また、70歳以上では「自分が出かけるのではなく、自宅に訪問してもらえること」が18.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別では、10小学校区のうち7小学校区で「行きやすい、身近な場所で相談できること」が5割を超えています。草井小学校区では、「ワンストップ（1ヶ所）で対応できること」が33.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

(単位:%)	n=	市の中心部にあること	行きやすい、身近な場所で相談できること	相談対応する職員に専門性があること	SNSなどで気軽に相談できること	土日や夜間などでも相談できること	ワンストップ（1ヶ所）で対応できること	自分が出かけるのではなく、自宅に訪問してもらえること	その他	不明・無回答
性別										
男性	382	3.1	50.8	35.6	12.3	23.8	20.2	9.2	2.9	9.2
女性	479	2.9	49.9	37.8	13.2	19.2	20.9	11.1	1.5	7.9
年齢別										
20歳代以下	66	0.0	57.6	28.8	39.4	30.3	15.2	4.5	0.0	1.5
30歳代	68	1.5	44.1	47.1	22.1	35.3	16.2	0.0	7.4	4.4
40歳代	115	0.9	39.1	50.4	20.9	28.7	25.2	2.6	3.5	2.6
50歳代	170	1.8	44.7	37.6	18.8	30.0	24.1	5.9	1.2	7.1
60歳代	132	4.5	56.8	44.7	6.8	21.2	18.2	10.6	1.5	6.8
70歳以上	313	4.8	54.3	28.1	1.9	8.6	19.8	18.8	1.6	14.4
小学校区別										
古知野東	112	1.8	51.8	38.4	12.5	21.4	25.0	8.0	3.6	11.6
古知野西	71	1.4	54.9	35.2	12.7	22.5	19.7	15.5	4.2	1.4
古知野南	131	4.6	50.4	37.4	13.0	19.1	16.0	9.2	3.1	8.4
古知野北	71	1.4	38.0	31.0	15.5	21.1	9.9	14.1	4.2	21.1
布袋	131	6.1	48.9	40.5	16.0	19.8	20.6	6.9	0.0	7.6
布袋北	61	3.3	45.9	41.0	8.2	21.3	23.0	11.5	0.0	8.2
宮田	94	0.0	58.5	31.9	10.6	23.4	17.0	12.8	1.1	6.4
草井	63	3.2	50.8	44.4	17.5	17.5	33.3	6.3	0.0	6.3
藤里	44	2.3	56.8	29.5	2.3	27.3	20.5	18.2	4.5	2.3
門弟山	58	3.4	53.4	39.7	15.5	19.0	24.1	8.6	0.0	3.4

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

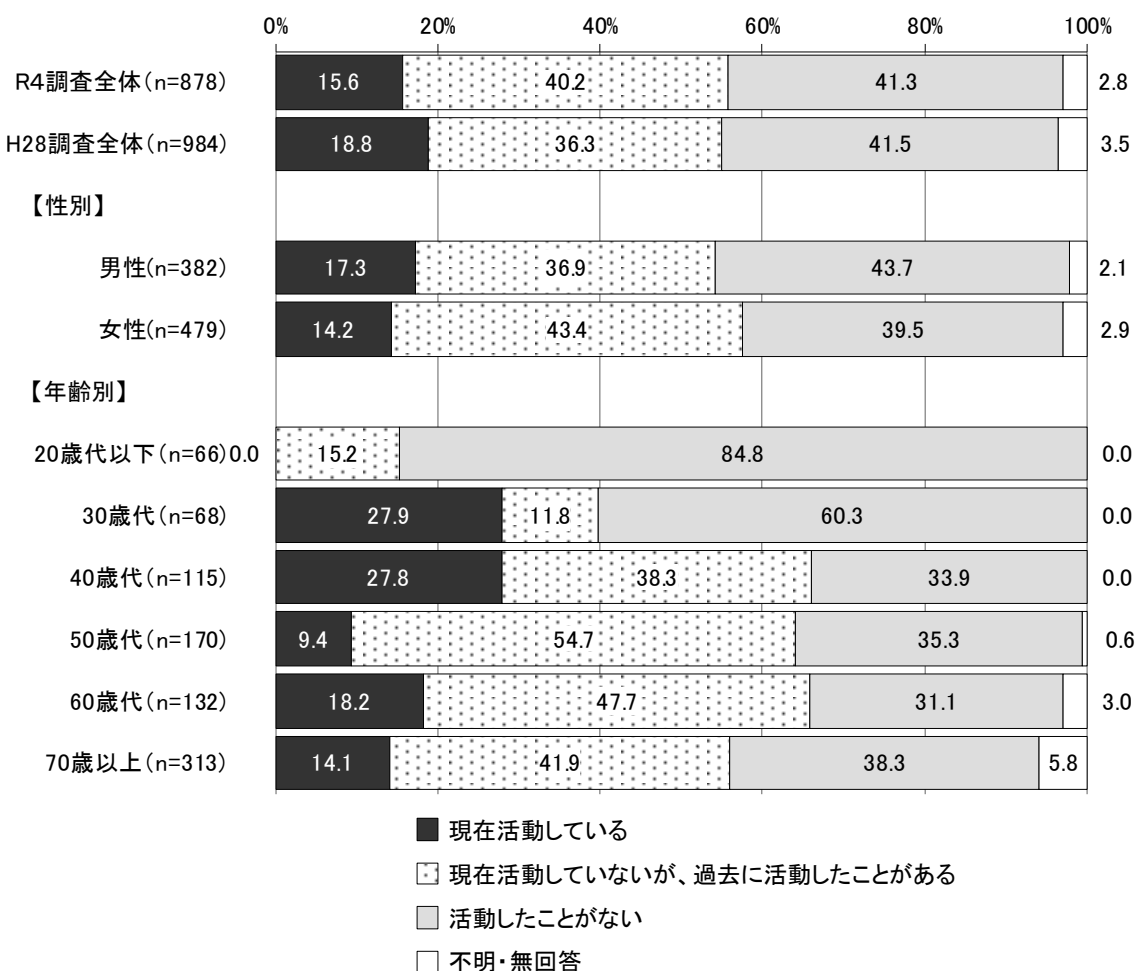
5 地域活動・ボランティア活動について

問 18 あなたは、現在、自治会や子ども会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしていますか。(単数回答)

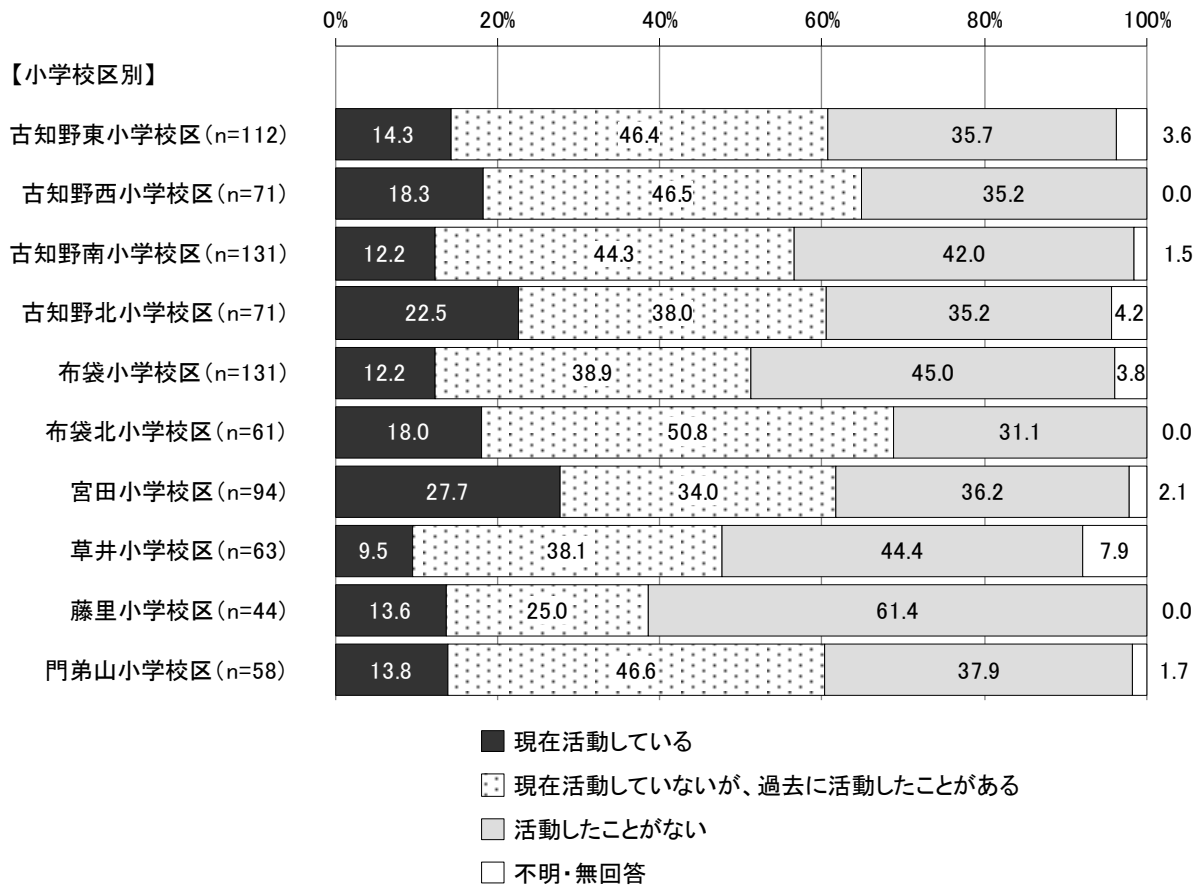
現在、自治会や子ども会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしているかは、R4調査全体で「現在活動している」が15.6%、「現在活動していないが、過去に活動したことがある」が40.2%、「活動したことがない」が41.3%となっています。H28調査全体と比較すると、10ポイントを超える大差はみられません。

性別では、女性で「現在活動していないが、過去に活動したことがある」が43.4%、男性で「活動したことがない」が43.7%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別では、「現在活動している」が30歳代及び40歳代でそれぞれ27.9%、27.8%と、他の年代と比べて高くなっている一方で、20歳代以下では0%となっています。



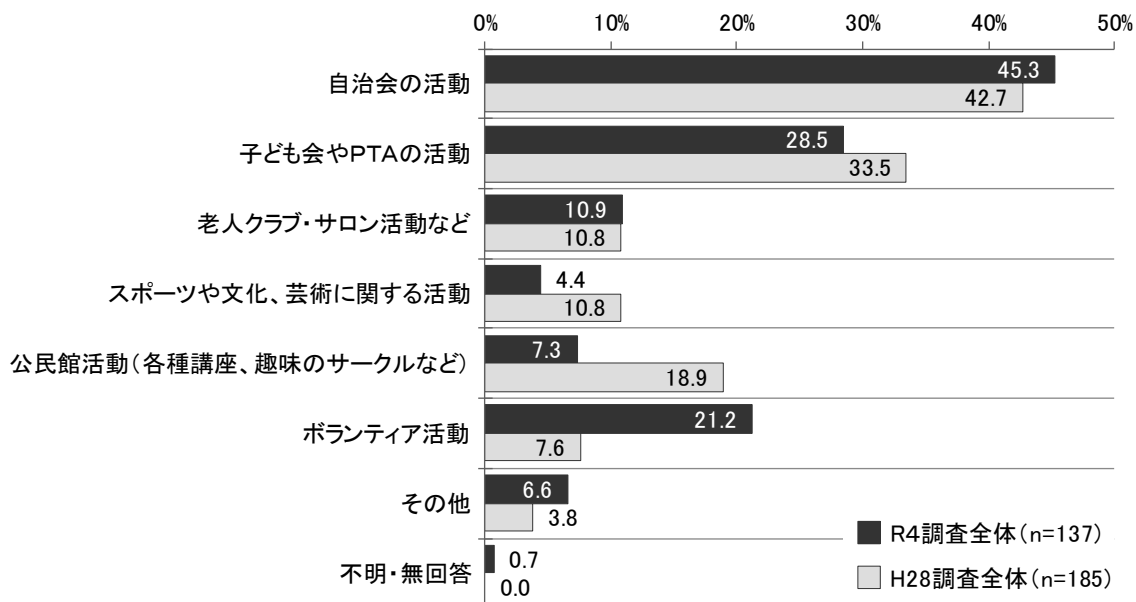
小学校区別では、「現在活動している」が宮田小学校区で 27.7%と、他の小学校区と比べて高くなっている一方で、藤里小学校区では「活動したことがない」が 61.4%と高くなっています。



問18で「1. 現在活動している」と回答した方のみ

問18-1 現在どんな活動をしていますか。(複数回答)

現在活動している地域活動等は、R4調査全体で「自治会の活動」が45.3%と最も高く、次いで「子ども会やPTAの活動」が28.5%となっています。H28調査全体と比較すると、「ボランティア活動」が13.6ポイント高くなっている一方で、「公民館活動（各種講座、趣味のサークルなど）」は11.6ポイント低くなっています。



※R4調査の選択肢「老人クラブ・サロン活動など」は、H28調査では「老人クラブの活動」でした。

性別では、「自治会の活動」が男性で 59.1%と女性と比べて 26.7 ポイント、「ボランティア活動」が男性で 30.3%と女性と比べて 17.1 ポイント、「子ども会やPTAの活動」が女性で 44.1%と男性と比べて 30.5 ポイント、それぞれ高くなっています。

年齢別では、30 歳代及び 40 歳代で「子ども会やPTAの活動」が、50 歳代以上で「自治会の活動」が、それぞれ最も高くなっています。40 歳代では、「ボランティア活動」が 0%となっています。

小学校区別では、古知野北小学校区で「ボランティア活動」が 37.5%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

(単位: %)	n=	自治会の活動	子ども会やPTAの活動	老人クラブ・サロン活動など	スポーツや文化、芸術に関する活動	公民館活動(各種講座、趣味のサークルなど)	ボランティア活動	その他	不明・無回答
性別									
男性	66	59.1	13.6	7.6	6.1	6.1	30.3	7.6	1.5
女性	68	32.4	44.1	14.7	2.9	7.4	13.2	4.4	0.0
年齢別									
30 歳代	19	21.1	68.4	0.0	5.3	5.3	26.3	5.3	0.0
40 歳代	32	43.8	65.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50 歳代	16	50.0	18.8	0.0	12.5	0.0	18.8	12.5	0.0
60 歳代	24	75.0	4.2	0.0	4.2	4.2	20.8	8.3	0.0
70 歳以上	44	38.6	2.3	34.1	4.5	18.2	36.4	6.8	2.3
小学校区別									
古知野東	16	43.8	31.3	12.5	0.0	18.8	12.5	0.0	6.3
古知野西	13	61.5	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0
古知野南	16	37.5	37.5	18.8	18.8	6.3	18.8	0.0	0.0
古知野北	16	25.0	31.3	6.3	0.0	6.3	37.5	12.5	0.0
布袋	16	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	6.3	0.0
布袋北	11	18.2	45.5	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0
宮田	26	57.7	11.5	15.4	7.7	11.5	26.9	7.7	0.0
草井	6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
藤里	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
門弟山	8	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0

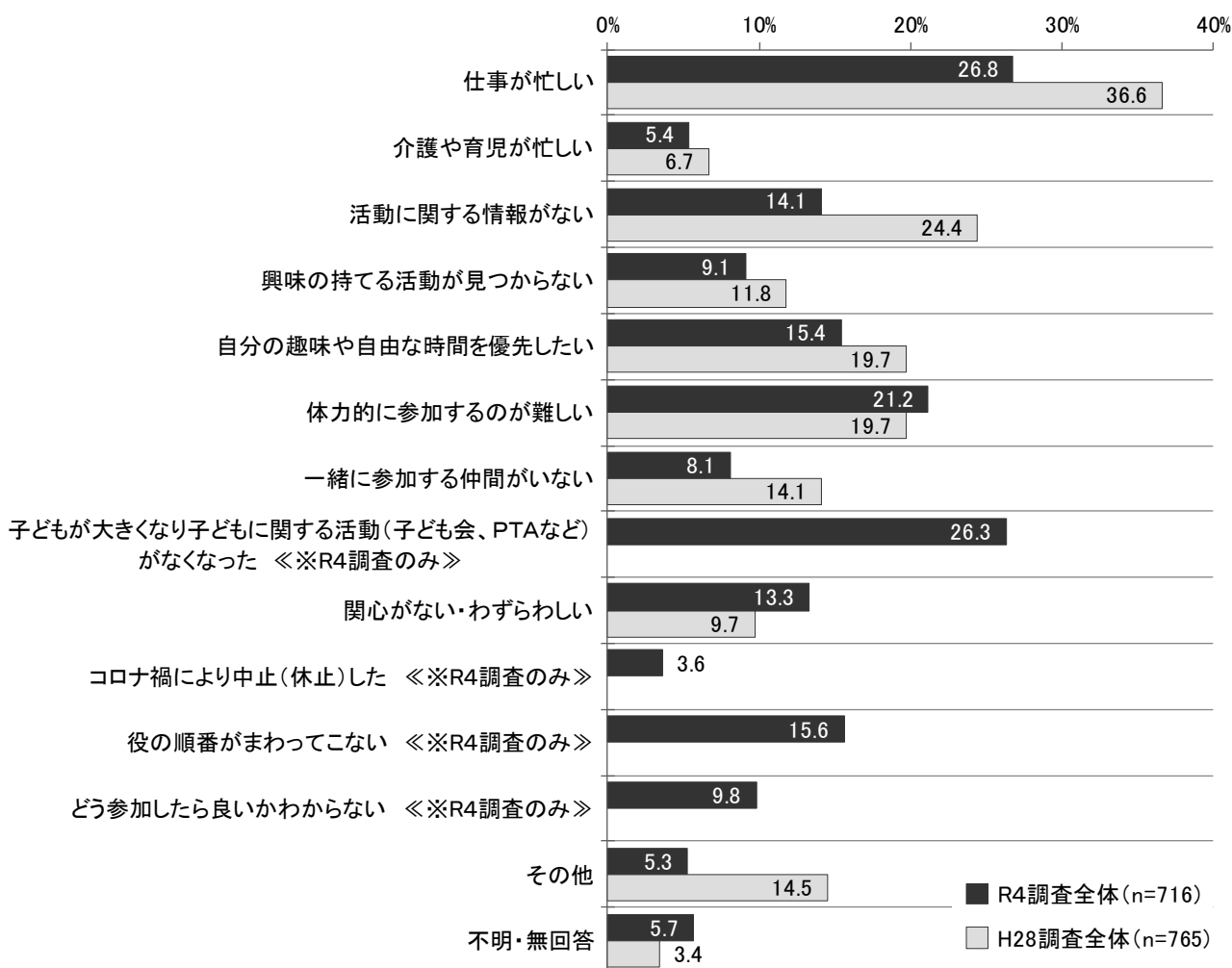
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第 1 位と第 2 位に網かけをしています。なお、回答者(n)が 10 未満の場合は、順位の表記を省略しています。

※年齢別の「20 歳代以下」については回答者なしであったため、掲載を省略しています。

問18で「2. 現在活動していないが、過去に活動したことがある」または「3. 活動したことがない」と回答した方のみ

問18-2 現在活動していない理由は何ですか。(複数回答)

現在活動していない理由は、R4調査全体で「仕事が忙しい」が26.8%と最も高く、次いで「子どもが大きくなり子どもに関する活動(子ども会、PTAなど)がなくなった」が26.3%となっています。H28調査全体と比較すると、「活動に関する情報がない」が10.3ポイント低くなっています。



※R4調査の選択肢「関心がない・わずらわしい」は、H28調査では「わずらわしい」でした。

性別では、男性で「仕事が忙しい」が31.8%、女性で「子どもが大きくなり子どもに関する活動(子ども会、PTAなど)がなくなった」が37.0%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別では、30歳代以下で「活動に関する情報がない」がそれぞれ約3割、「どう参加したら良いかわからない」がそれぞれ約2割と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別では、古知野西、宮田及び布袋北の各小学校区で「体力的に参加するのが難しい」がそれぞれ約3割と、他の小学校区と比べて高くなっています。

(単位: %)	n=	仕事が忙しい	介護や育児が忙しい	活動に関する情報がない	興味の持てる活動が見つからない	自分の趣味や自由な時間を優先したい	体力的に参加するのが難しい	一緒に参加する仲間がいない	子どもが大きくなり子どもに関する活動(子ども会、PTAなど)がなくなった	関心がない・わずらわしい	コロナ禍により中止(休止)した	役の順番がまわってこない
性別												
男性	308	31.8	3.9	14.9	8.8	15.9	20.1	8.4	13.0	15.9	4.9	19.2
女性	397	22.7	6.5	13.9	9.3	14.9	22.2	7.6	37.0	11.1	2.8	13.4
年齢別												
20歳代以下	66	39.4	3.0	31.8	13.6	22.7	3.0	15.2	0.0	22.7	4.5	9.1
30歳代	49	49.0	12.2	34.7	14.3	32.7	6.1	10.2	2.0	22.4	2.0	18.4
40歳代	83	37.3	8.4	12.0	6.0	14.5	7.2	2.4	25.3	21.7	3.6	32.5
50歳代	153	44.4	2.6	13.1	8.5	11.8	6.5	7.8	48.4	12.4	2.6	20.3
60歳代	104	23.1	3.8	9.6	7.7	14.4	10.6	7.7	40.4	11.5	2.9	23.1
70歳以上	251	6.0	6.0	9.2	8.8	13.5	47.0	8.0	19.5	7.6	4.8	6.0
小学校区別												
古知野東	92	27.2	4.3	17.4	6.5	12.0	21.7	9.8	31.5	9.8	4.3	19.6
古知野西	58	19.0	1.7	13.8	10.3	10.3	29.3	8.6	34.5	6.9	3.4	10.3
古知野南	113	30.1	4.4	12.4	8.8	15.0	15.9	6.2	25.7	17.7	1.8	23.9
古知野北	52	23.1	3.8	11.5	11.5	15.4	19.2	0.0	28.8	7.7	5.8	5.8
布袋	110	23.6	8.2	14.5	10.9	17.3	19.1	8.2	23.6	9.1	3.6	15.5
布袋北	50	24.0	8.0	8.0	4.0	12.0	26.0	4.0	36.0	16.0	8.0	22.0
宮田	66	22.7	9.1	12.1	4.5	15.2	28.8	7.6	21.2	9.1	6.1	7.6
草井	52	26.9	1.9	19.2	11.5	23.1	15.4	9.6	25.0	13.5	0.0	21.2
藤里	38	18.4	7.9	13.2	10.5	18.4	18.4	7.9	18.4	18.4	2.6	10.5
門弟山	49	42.9	4.1	16.3	10.2	10.2	22.4	12.2	28.6	24.5	4.1	20.4

(単位: %)	n=	い か わ か ら な い	ど う 参 加 し た ら 良 い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別					
男性	308	11.0	4.9	6.5	
女性	397	9.1	5.8	4.8	
年齢別					
20歳代以下	66	22.7	12.1	3.0	
30歳代	49	22.4	10.2	6.1	
40歳代	83	3.6	2.4	2.4	
50歳代	153	7.8	2.6	1.3	
60歳代	104	6.7	1.9	4.8	
70歳以上	251	8.8	6.8	9.2	
小学校区別					
古知野東	92	16.3	1.1	6.5	
古知野西	58	12.1	5.2	5.2	
古知野南	113	7.1	6.2	3.5	
古知野北	52	7.7	5.8	9.6	
布袋	110	13.6	7.3	2.7	
布袋北	50	2.0	4.0	4.0	
宮田	66	7.6	6.1	10.6	
草井	52	9.6	5.8	5.8	
藤里	38	0.0	7.9	10.5	
門弟山	49	8.2	4.1	2.0	

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

6 地域防災について

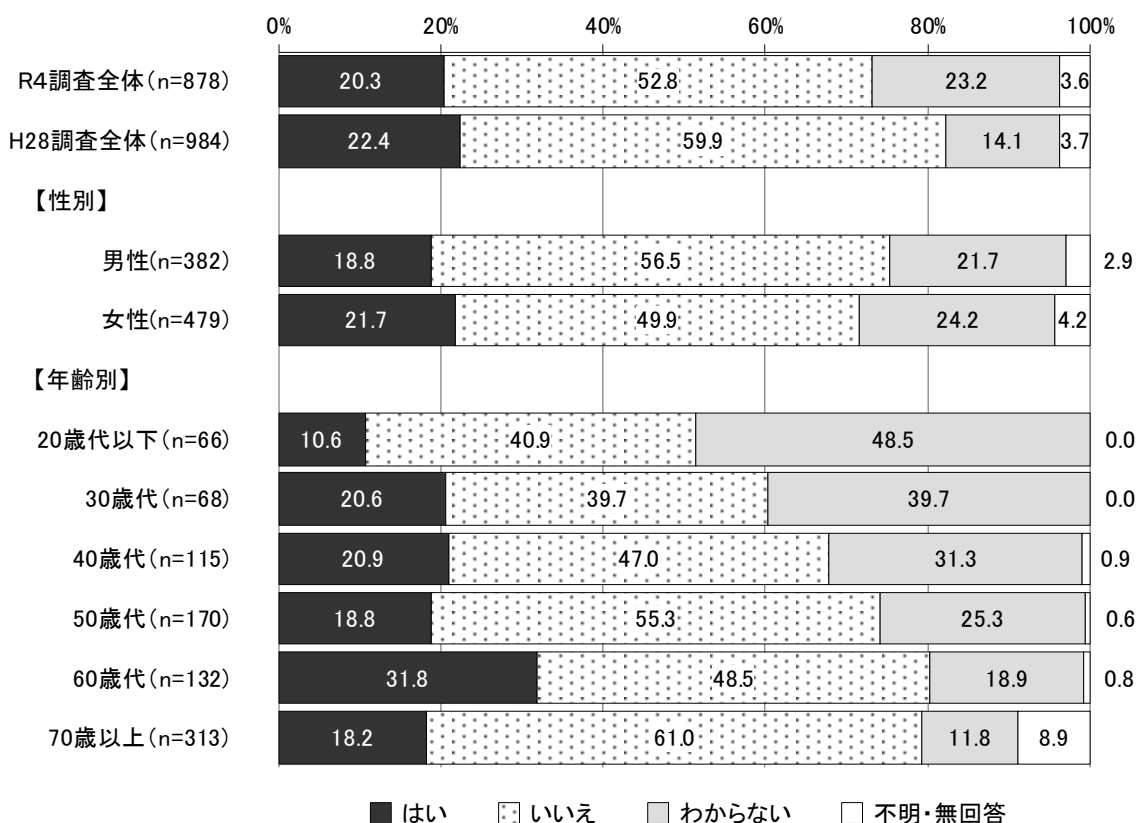
問 19 防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか。(単数回答)

問 19① 地域の自主防災組織（町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に入っていますか

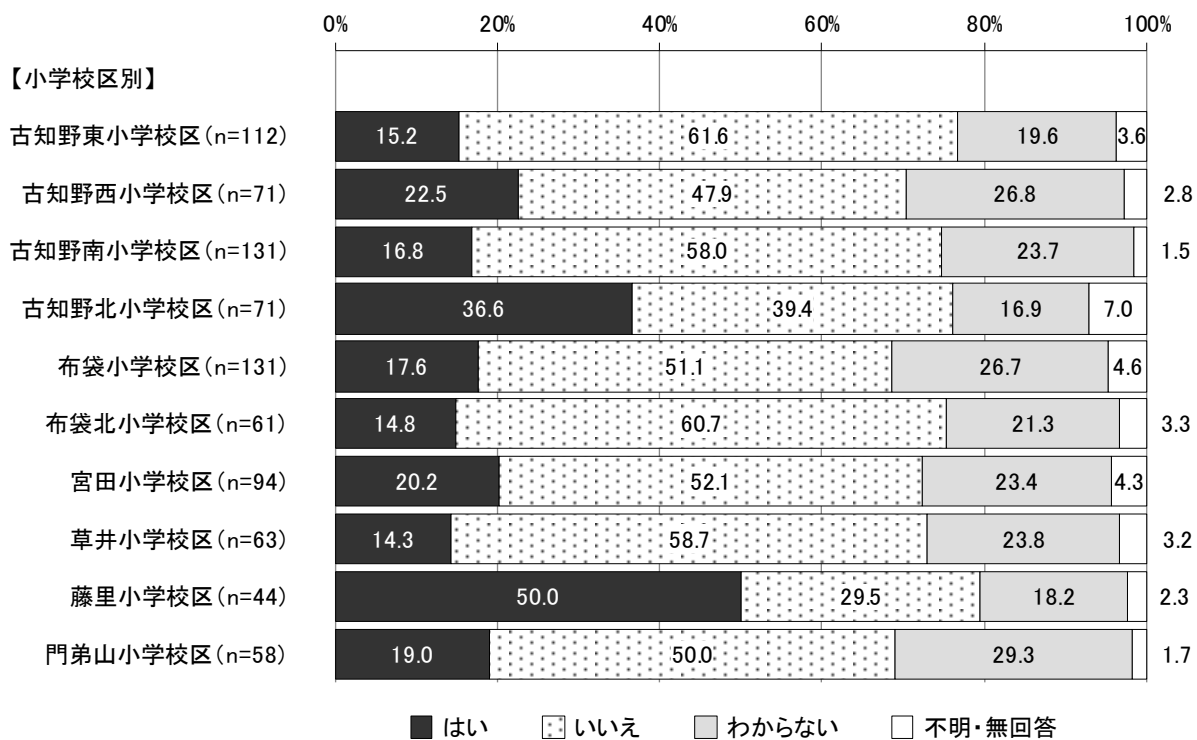
地域の自主防災組織（町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に入っているかは、R4 調査全体で「はい」が 20.3%、「いいえ」が 52.8%、「わからない」が 23.2%となっています。H28 調査全体と比較すると、「いいえ」が 7.1 ポイント低くなっています。

性別では、「はい」が男性で 18.8%、女性で 21.7%となっています。

年齢別では、「はい」が 60 歳代で 31.8%と、他の年代と比べて高くなっています。



小学校区別では、「はい」が藤里小学校区で50.0%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

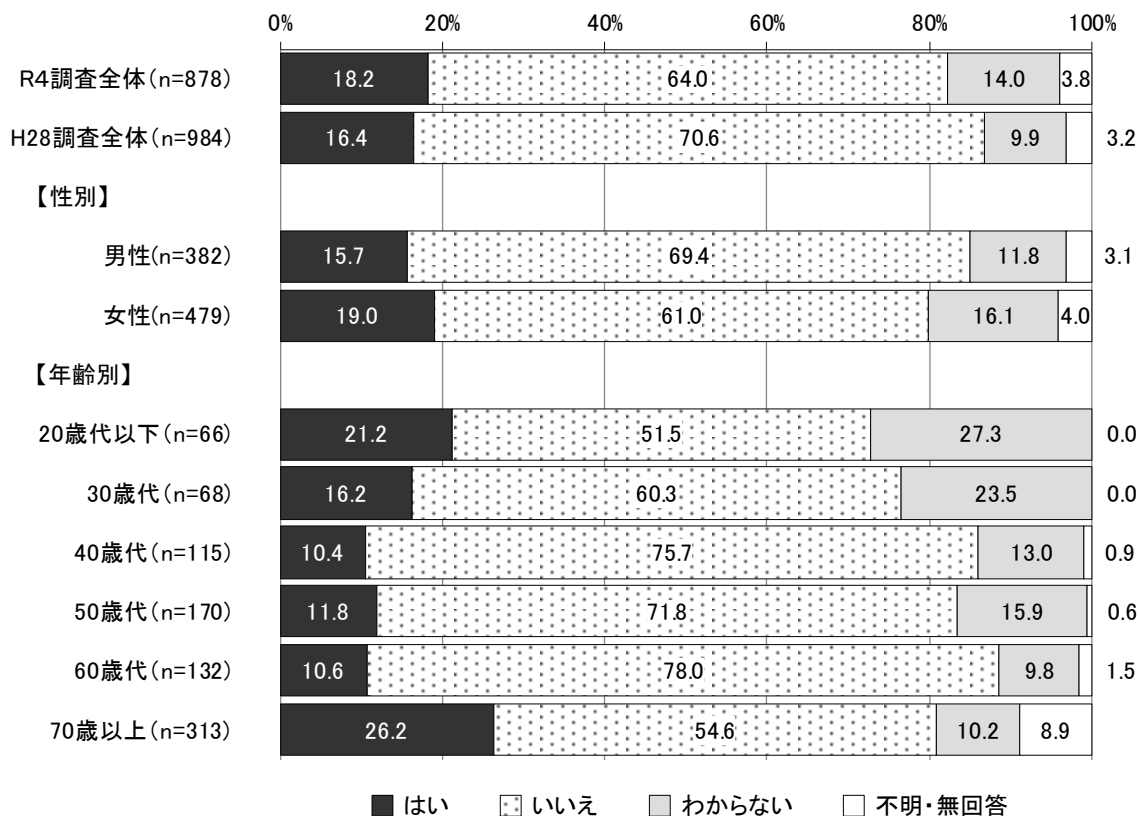


問 19② 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか

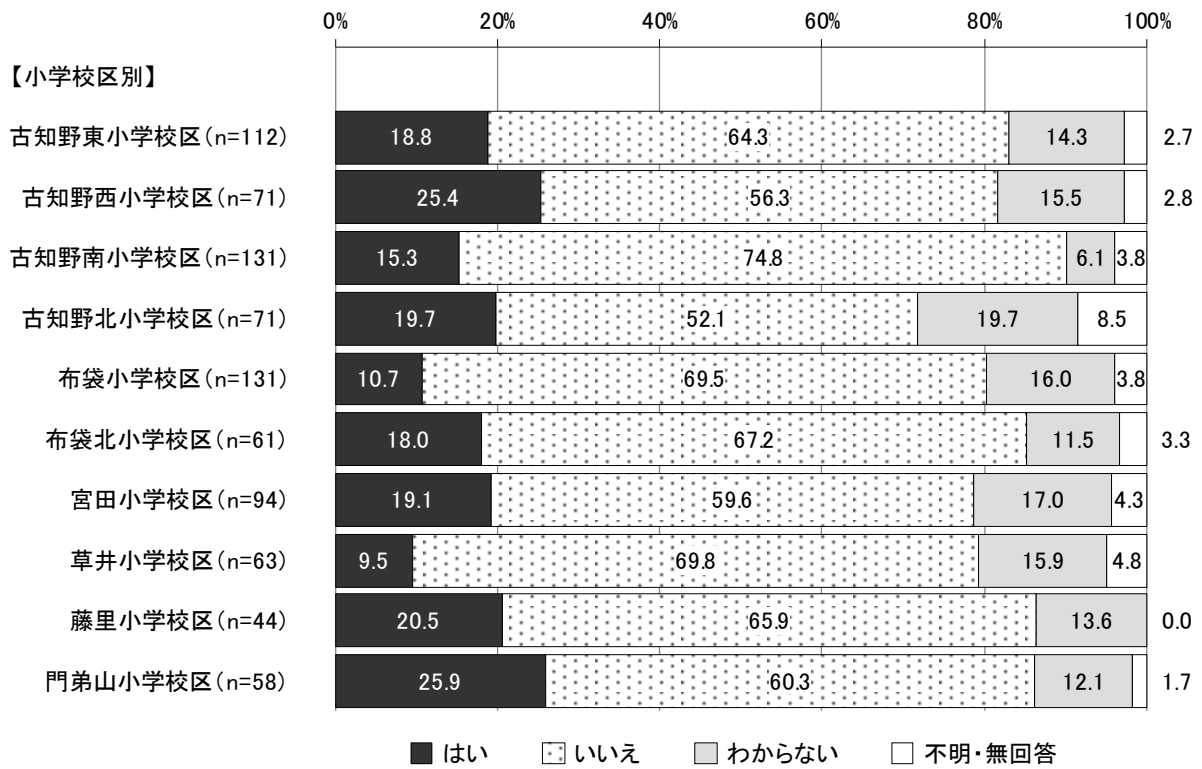
災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要は、R4 調査全体で「はい」が 18.2%、「いいえ」が 64.0%、「わからない」が 14.0%となっています。H28 調査全体と比較すると、「いいえ」が 6.6 ポイント低くなっています。

性別では、「はい」が男性で 15.7%、女性で 19.0%となっています。

年齢別では、「はい」が 20 歳代以下及び 70 歳以上でそれぞれ 2 割を超えており、他の年代と比べて高くなっています。



小学校区別では、「はい」が門弟山、古知野西及び藤里の各小学校区で2割を超えています。

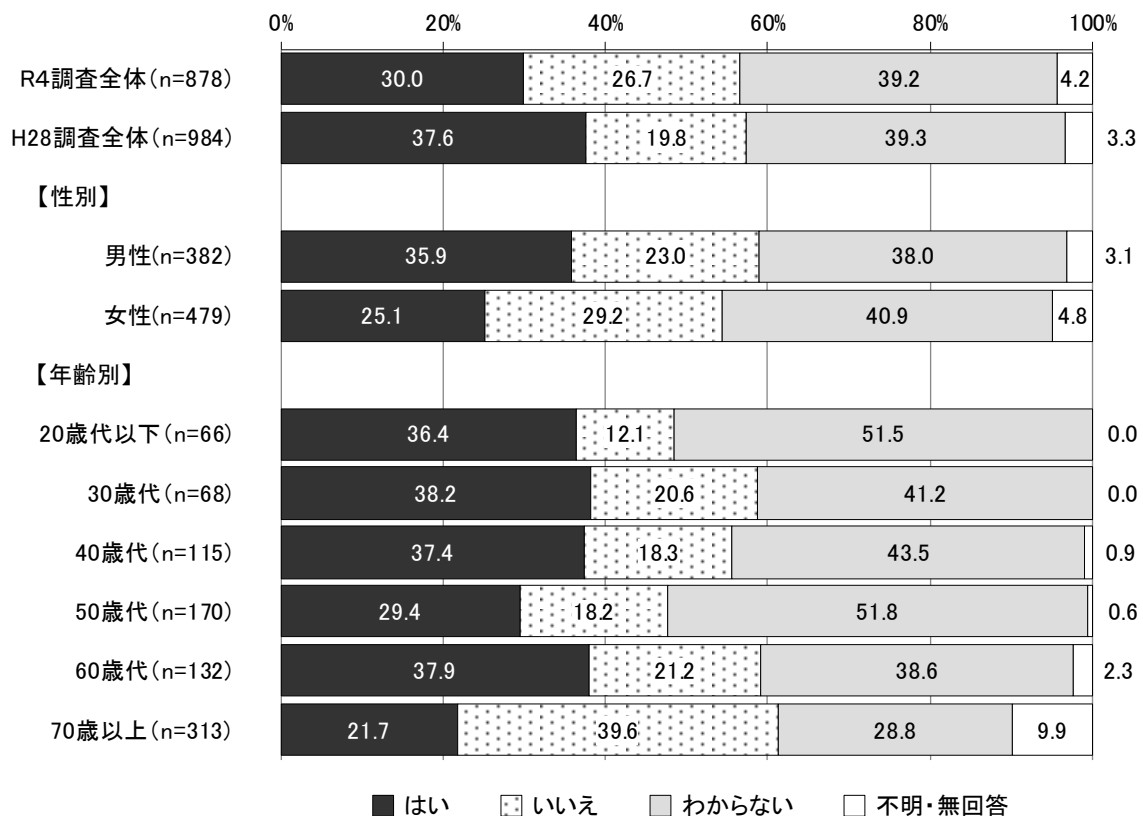


問 19③ 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害者など支援が必要な人の避難などの手助けができますか

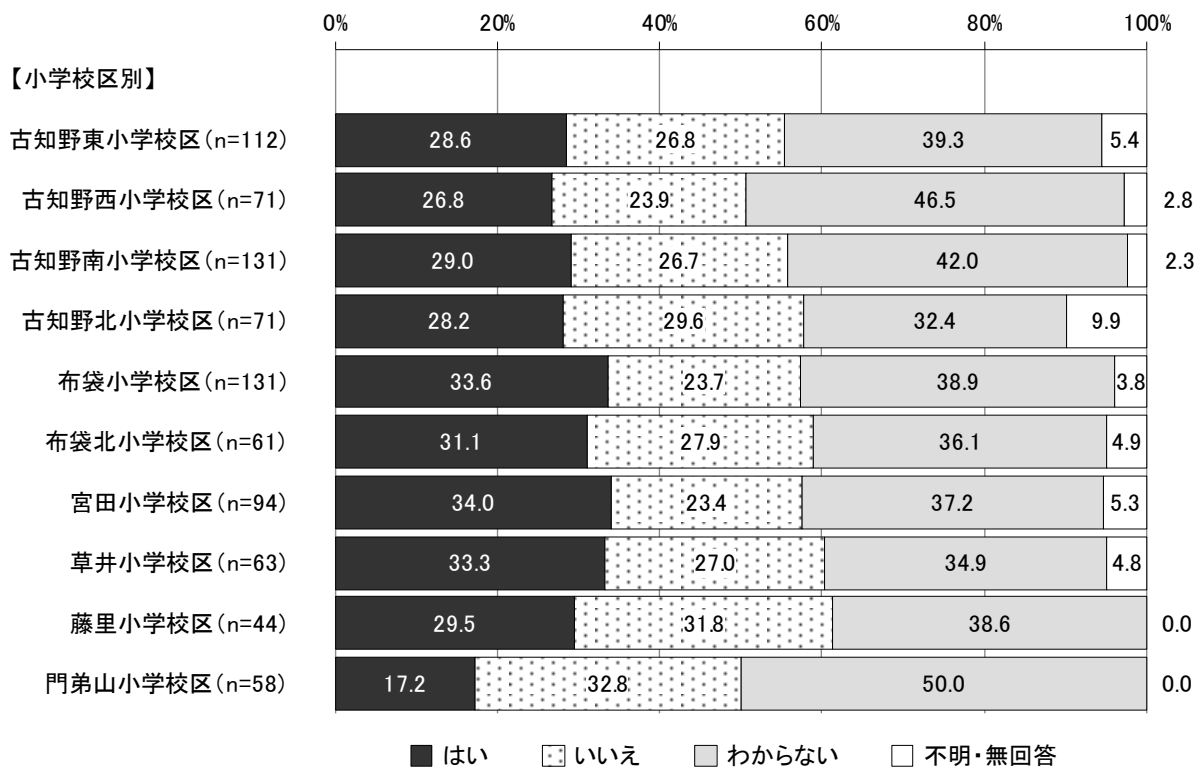
災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害者など支援が必要な人の避難などの手助けができるかは、R4調査全体で「はい」が30.0%、「いいえ」が26.7%、「わからない」が39.2%となっています。H28調査全体と比較すると、「はい」が7.6ポイント低くなっています。

性別では、「はい」が男性で35.9%と、女性と比べて10.8ポイント高くなっています。

年齢別では、「はい」が50歳代及び70歳以上を除いて、それぞれ約4割となっています。



小学校区別では、「はい」が門弟山小学校区で17.2%と、他の小学校区と比べて低くなっています。

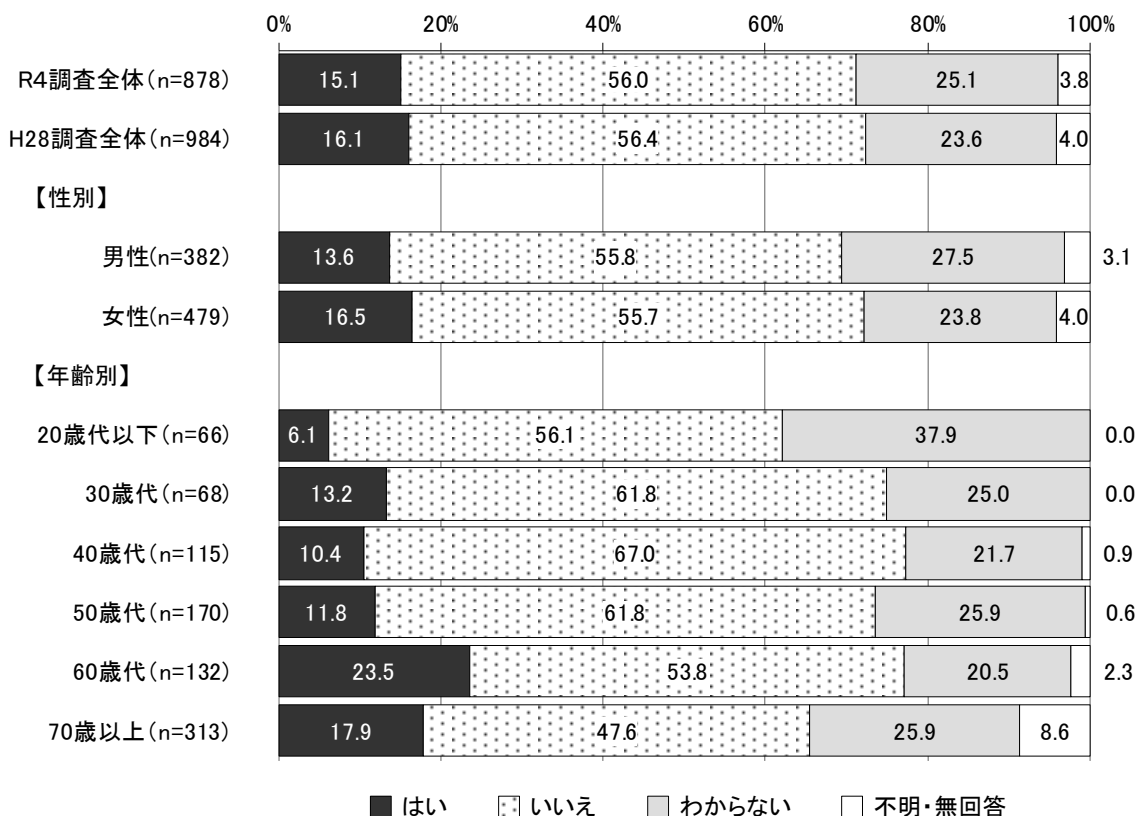


問 19④ 災害などの緊急時に、隣近所で手助けが必要な方を把握していますか

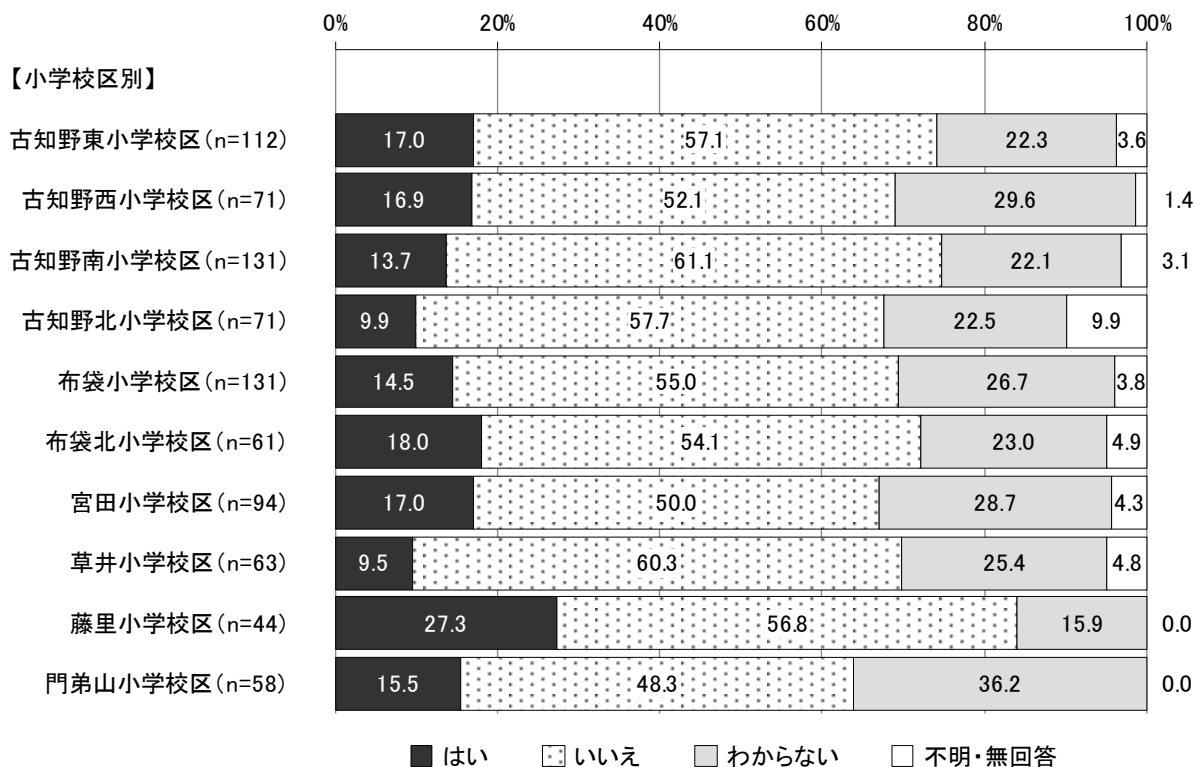
災害などの緊急時に、隣近所で手助けが必要な方を把握しているかは、R4 調査全体で「はい」が 15.1%、「いいえ」が 56.0%、「わからない」が 25.1%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられず、「はい」はいずれも 2 割未満となっています。

性別では、「はい」が男性で 13.6%、女性で 16.5%となっています。

年齢別では、「はい」が 60 歳代で 23.5%と、他の年代と比べて高くなっています。



小学校区別では、「はい」が藤里小学校区で27.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

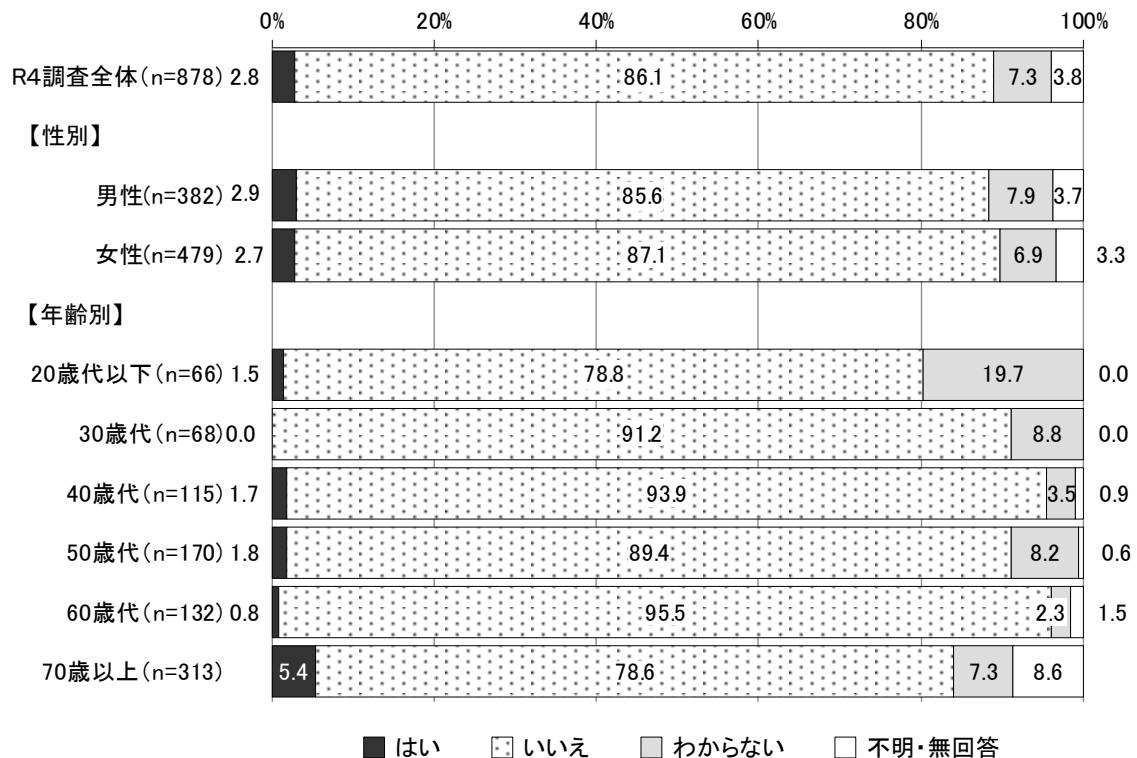


問 19⑤ 災害などの緊急時に、隣近所に手助けしてほしいことを隣近所に事前に伝えてい
ますか

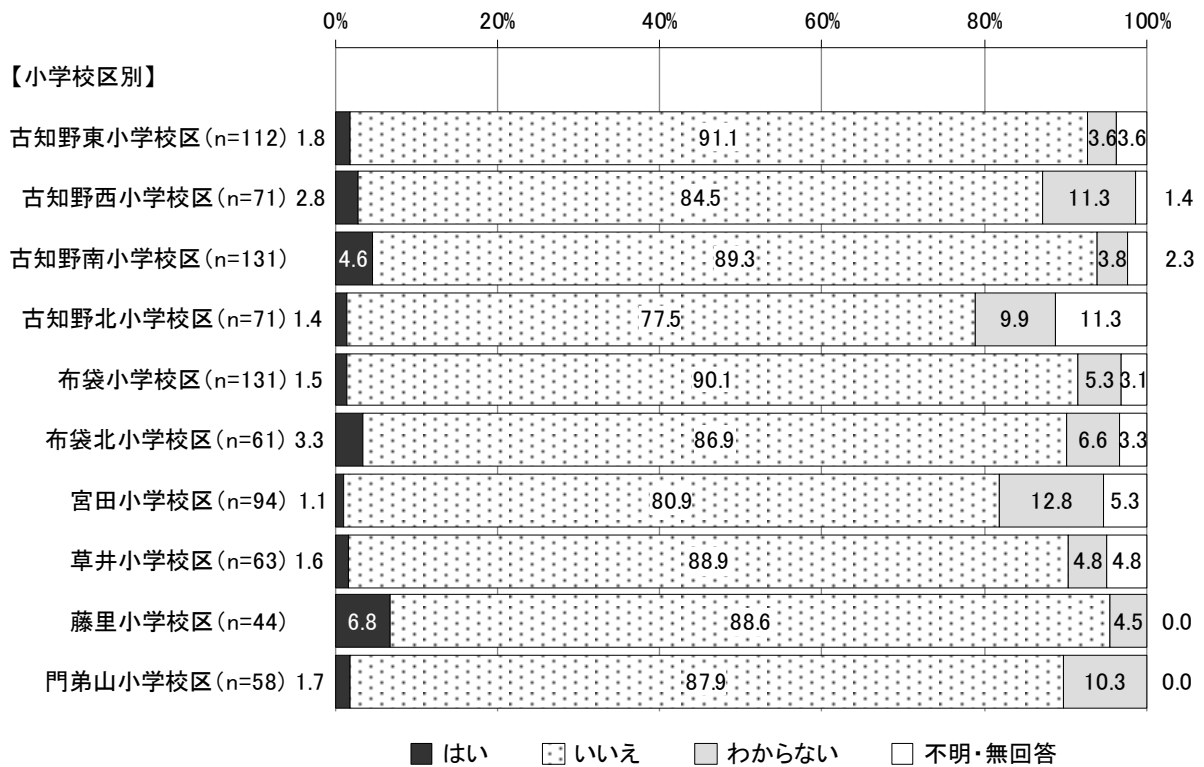
災害などの緊急時に、隣近所に手助けしてほしいことを隣近所に事前に伝えているかは、R4調査全
体で「はい」が2.8%、「いいえ」が86.1%、「わからない」が7.3%となっています。

性別では、「はい」が男性で2.9%、女性で2.7%となっています。

年齢別では、「はい」が70歳以上で5.4%、60歳代以下では0～数%にとどまっています。



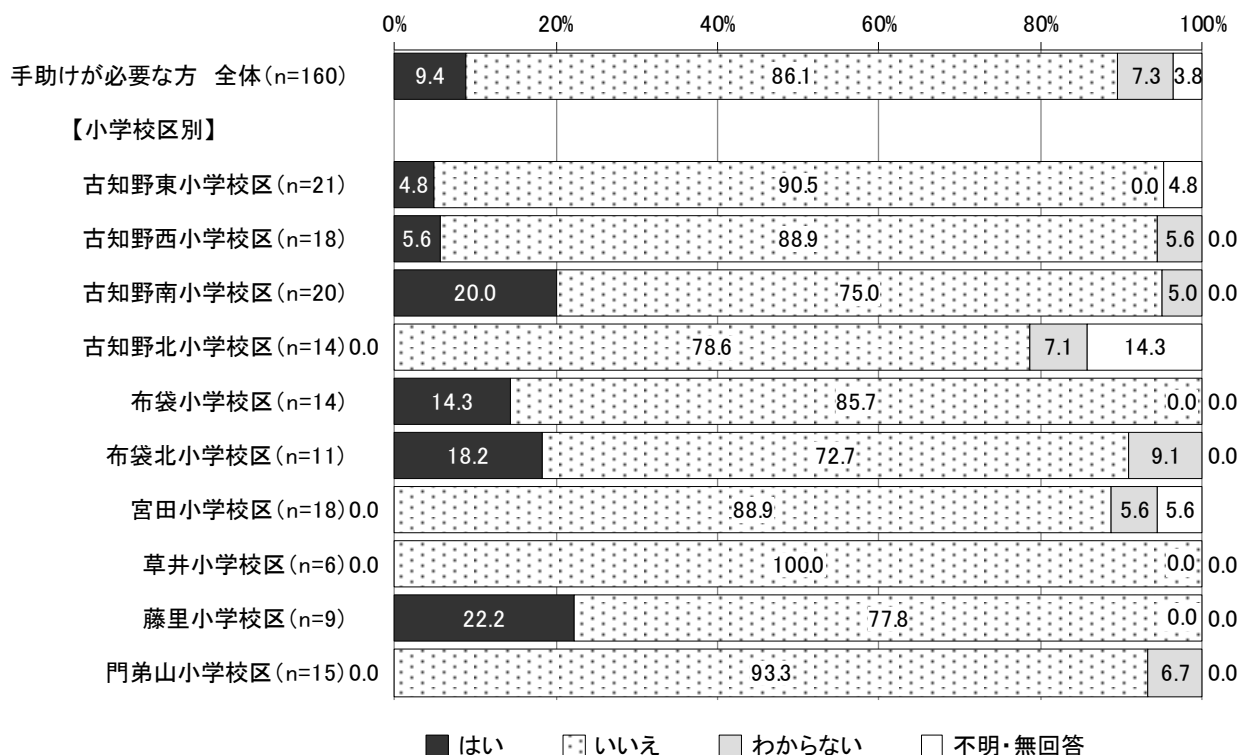
小学校区別では、「はい」はいずれの小学校区でも1割以下であり、最も高い藤里小学校区においても6.8%にとどまっています。



問 19② 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な方（単数回答）
 問 19⑤ 隣近所に手助けしてほしいことを隣近所に事前に伝えている方（単数回答）
 のクロス

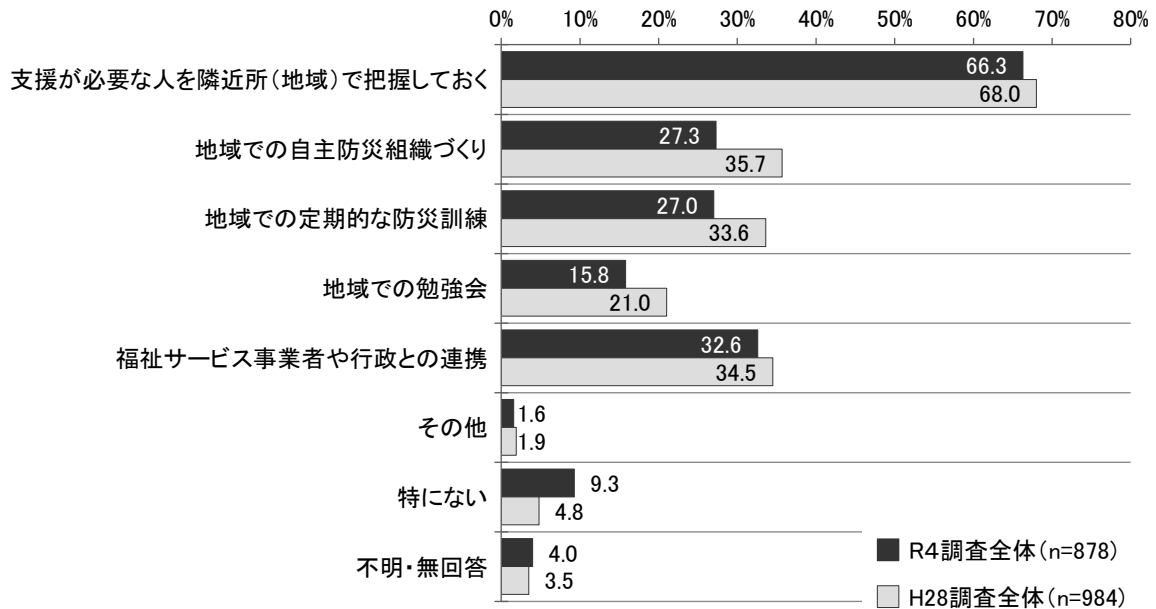
災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な方が、隣近所に手助けしてほしいことを隣近所に事前に伝えている方は、R4 調査全体で「はい」が 9.4%、「いいえ」が 86.1%、「わからない」が 7.3%、「不明・無回答」が 7.3%となっています。

小学校区別では、手助けが必要な方が手助けをしてほしいことを事前に伝えている割合は、古知野南、布袋北及び藤里の各小学校区で約 2 割となっています。なお、古知野北、宮田、草井及び門弟山の各小学校区は 0%となっています。



問 20 地震や火災などの災害時に住民同士が協力し合えるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

地震や火災などの災害時に住民同士が協力し合えるために必要だと思うことは、R4 調査全体で「支援が必要な人を隣近所（地域）で把握しておく」が 66.3%と最も高く、次いで「福祉サービス事業者や行政との連携」が 32.6%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられません。



性別では、「支援が必要な人を隣近所（地域）で把握しておく」が女性で70.8%と、男性と比べて9.5ポイント高くなっています。

年齢別では、30歳代及び40歳代で「地域での定期的な防災訓練」がそれぞれ約4割と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別では、藤里及び門弟山の各小学校区で「支援が必要な人を隣近所（地域）で把握しておく」が7割以上と、他の小学校区と比べて高くなっています。

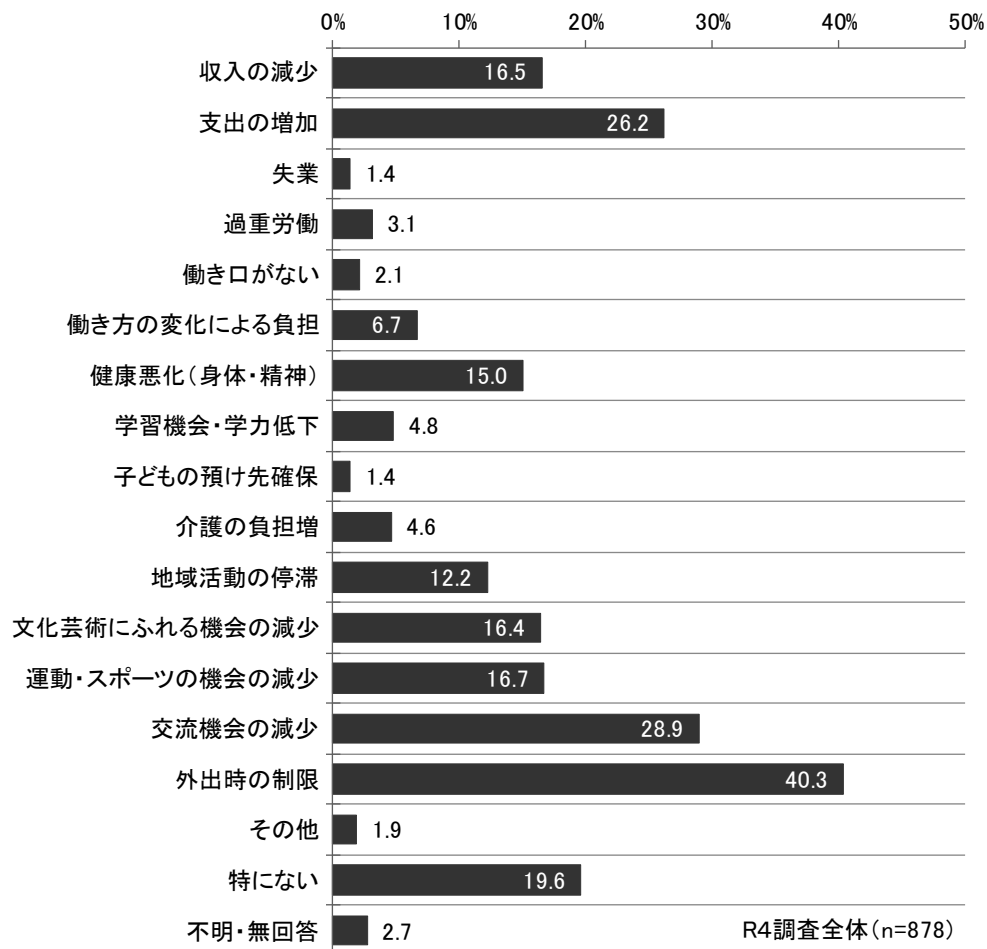
(単位:%)	n=	支援が必要な人を隣近所(地域)で把握しておく	地域での自主防災組織づくり	地域での定期的な防災訓練	地域での勉強会	福祉サービス事業者や行政との連携	その他	特になし	不明・無回答
性別									
男性	382	61.3	27.2	28.8	17.3	32.2	1.0	12.3	4.2
女性	479	70.8	27.8	25.9	15.2	33.0	1.7	7.3	3.5
年齢別									
20歳代以下	66	72.7	33.3	22.7	9.1	45.5	0.0	7.6	0.0
30歳代	68	67.6	29.4	38.2	11.8	29.4	4.4	10.3	0.0
40歳代	115	57.4	23.5	38.3	8.7	27.8	1.7	11.3	0.9
50歳代	170	68.8	30.0	20.6	12.9	35.3	1.8	8.2	2.9
60歳代	132	72.0	26.5	31.1	22.0	38.6	0.8	6.1	2.3
70歳以上	313	65.2	26.5	23.3	20.1	28.8	1.3	11.2	7.7
小学校区別									
古知野東	112	67.9	29.5	25.9	15.2	31.3	1.8	7.1	6.3
古知野西	71	67.6	35.2	36.6	15.5	32.4	1.4	8.5	1.4
古知野南	131	69.5	26.0	22.1	17.6	38.2	0.0	9.9	0.0
古知野北	71	64.8	19.7	23.9	15.5	29.6	2.8	9.9	9.9
布袋	131	65.6	29.8	29.8	19.1	30.5	1.5	8.4	5.3
布袋北	61	67.2	24.6	29.5	11.5	29.5	1.6	16.4	3.3
宮田	94	67.0	29.8	27.7	17.0	27.7	2.1	6.4	3.2
草井	63	55.6	28.6	28.6	15.9	31.7	1.6	9.5	7.9
藤里	44	77.3	22.7	34.1	20.5	36.4	2.3	4.5	0.0
門弟山	58	72.4	24.1	20.7	15.5	34.5	0.0	15.5	1.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

7 コロナ禍における生活の変化について

問 21 コロナ禍で、あなたが困っていることは何ですか。(複数回答)

コロナ禍で困っていることは、R4調査全体で「外出時の制限」が40.3%と最も高く、次いで「交流機会の減少」が28.9%となっています。



性別では、男女ともに「外出時の制限」「交流機会の減少」が上位となっています。

年齢別では、30歳代で「外出時の制限」が58.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別では、宮田小学校区で「地域活動の停滞」が20.2%、「交流機会の減少」が41.5%と、それぞれ他の小学校区と比べて高くなっています。

(単位: %)	n=	収入の減少	支出の増加	失業	過重労働	働き口がない	働き方の変化による負担	健康悪化(身体・精神)	学習機会・学力低下	先確保	子どもの預け	介護の負担増	地域活動の停滞
性別													
男性	382	18.1	23.8	1.6	4.7	2.6	5.8	14.4	4.5	0.8	3.9	13.9	
女性	479	15.2	28.4	1.3	1.9	1.3	7.5	15.4	5.0	1.7	5.2	10.9	
年齢別													
20歳代以下	66	21.2	36.4	3.0	6.1	6.1	12.1	12.1	9.1	4.5	1.5	7.6	
30歳代	68	16.2	27.9	1.5	8.8	4.4	16.2	10.3	10.3	5.9	4.4	11.8	
40歳代	115	16.5	27.0	0.0	5.2	0.9	11.3	13.0	14.8	2.6	2.6	11.3	
50歳代	170	23.5	25.3	2.9	4.7	2.4	8.2	10.0	3.5	0.0	3.5	4.7	
60歳代	132	20.5	37.9	2.3	1.5	0.8	4.5	13.6	1.5	0.8	6.1	15.9	
70歳以上	313	9.6	19.2	0.3	0.3	1.0	1.9	20.1	1.0	0.0	6.1	16.3	
小学校区別													
古知野東	112	14.3	25.0	3.6	3.6	0.9	8.9	17.9	5.4	0.0	7.1	13.4	
古知野西	71	14.1	25.4	0.0	1.4	1.4	7.0	16.9	2.8	1.4	2.8	11.3	
古知野南	131	19.1	27.5	0.0	1.5	0.8	9.2	9.2	4.6	1.5	3.8	13.7	
古知野北	71	11.3	25.4	0.0	4.2	1.4	4.2	14.1	2.8	4.2	5.6	11.3	
布袋	131	12.2	20.6	2.3	3.1	1.5	7.6	15.3	3.1	0.8	3.8	9.2	
布袋北	61	18.0	27.9	0.0	3.3	3.3	3.3	9.8	4.9	1.6	3.3	14.8	
宮田	94	21.3	33.0	1.1	2.1	3.2	3.2	14.9	8.5	0.0	6.4	20.2	
草井	63	19.0	22.2	1.6	9.5	1.6	9.5	19.0	11.1	1.6	1.6	12.7	
藤里	44	25.0	34.1	2.3	2.3	2.3	2.3	13.6	0.0	0.0	9.1	6.8	
門弟山	58	15.5	25.9	3.4	1.7	3.4	8.6	19.0	3.4	1.7	3.4	8.6	

(単位: %)	n=	文化芸術にふれる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	交流機会の減少	外出時の制限	その他	特にない	不明・無回答
性別								
男性	382	14.4	20.4	29.1	37.4	2.1	18.6	2.6
女性	479	18.6	14.2	29.6	43.2	1.7	19.8	2.7
年齢別								
20歳代以下	66	15.2	24.2	28.8	48.5	6.1	16.7	0.0
30歳代	68	11.8	22.1	36.8	58.8	5.9	14.7	1.5
40歳代	115	14.8	22.6	30.4	43.5	0.9	18.3	0.9
50歳代	170	16.5	17.1	24.7	34.7	1.8	22.4	0.6
60歳代	132	18.2	12.1	25.8	41.7	0.0	17.4	1.5
70歳以上	313	18.2	14.1	31.3	36.4	1.3	21.1	5.8
小学校区別								
古知野東	112	17.0	18.8	29.5	42.9	1.8	20.5	3.6
古知野西	71	11.3	16.9	32.4	35.2	1.4	15.5	1.4
古知野南	131	22.9	17.6	32.8	44.3	2.3	16.0	0.8
古知野北	71	19.7	14.1	29.6	45.1	0.0	21.1	5.6
布袋	131	17.6	11.5	28.2	39.7	1.5	23.7	3.1
布袋北	61	14.8	24.6	24.6	44.3	1.6	18.0	1.6
宮田	94	21.3	19.1	41.5	36.2	4.3	17.0	3.2
草井	63	12.7	20.6	28.6	41.3	0.0	15.9	6.3
藤里	44	9.1	11.4	20.5	38.6	0.0	25.0	0.0
門弟山	58	15.5	15.5	20.7	39.7	1.7	20.7	0.0

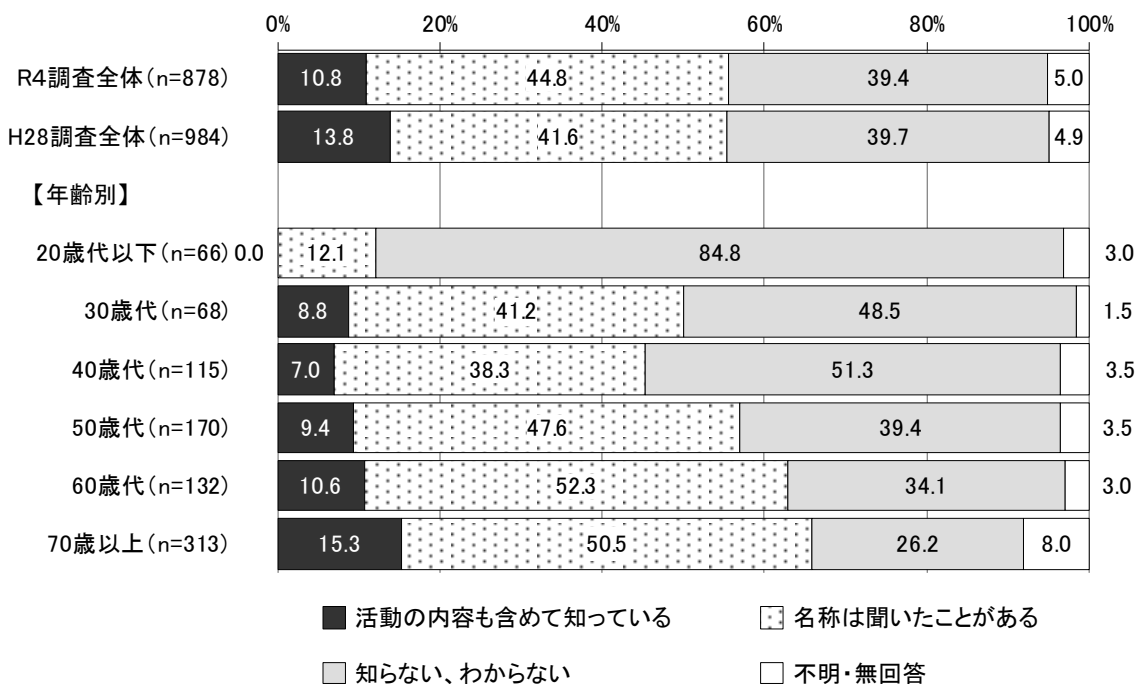
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

8 江南市社会福祉協議会について

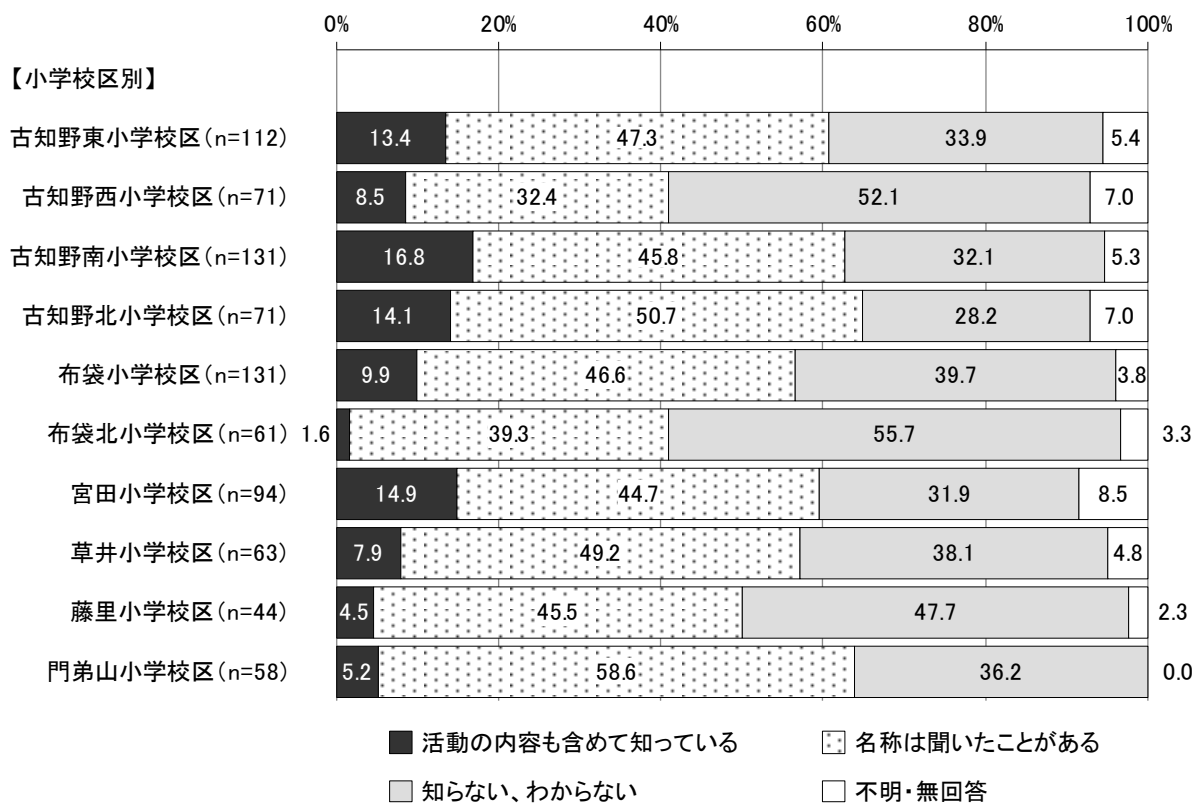
問 22 あなたは、江南市社会福祉協議会を知っていますか。(単数回答)

江南市社会福祉協議会の認知度は、R4 調査全体で「活動の内容も含めて知っている」が 10.8%、「名称は聞いたことがある」が 44.8%、「知らない、わからない」が 39.4%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられず、「はい」はいずれも約 1 割となっています。

年齢別では、「活動の内容も含めて知っている」が 20 歳代以下で 0%であり、他の年代においては 1 割前後にとどまっています。



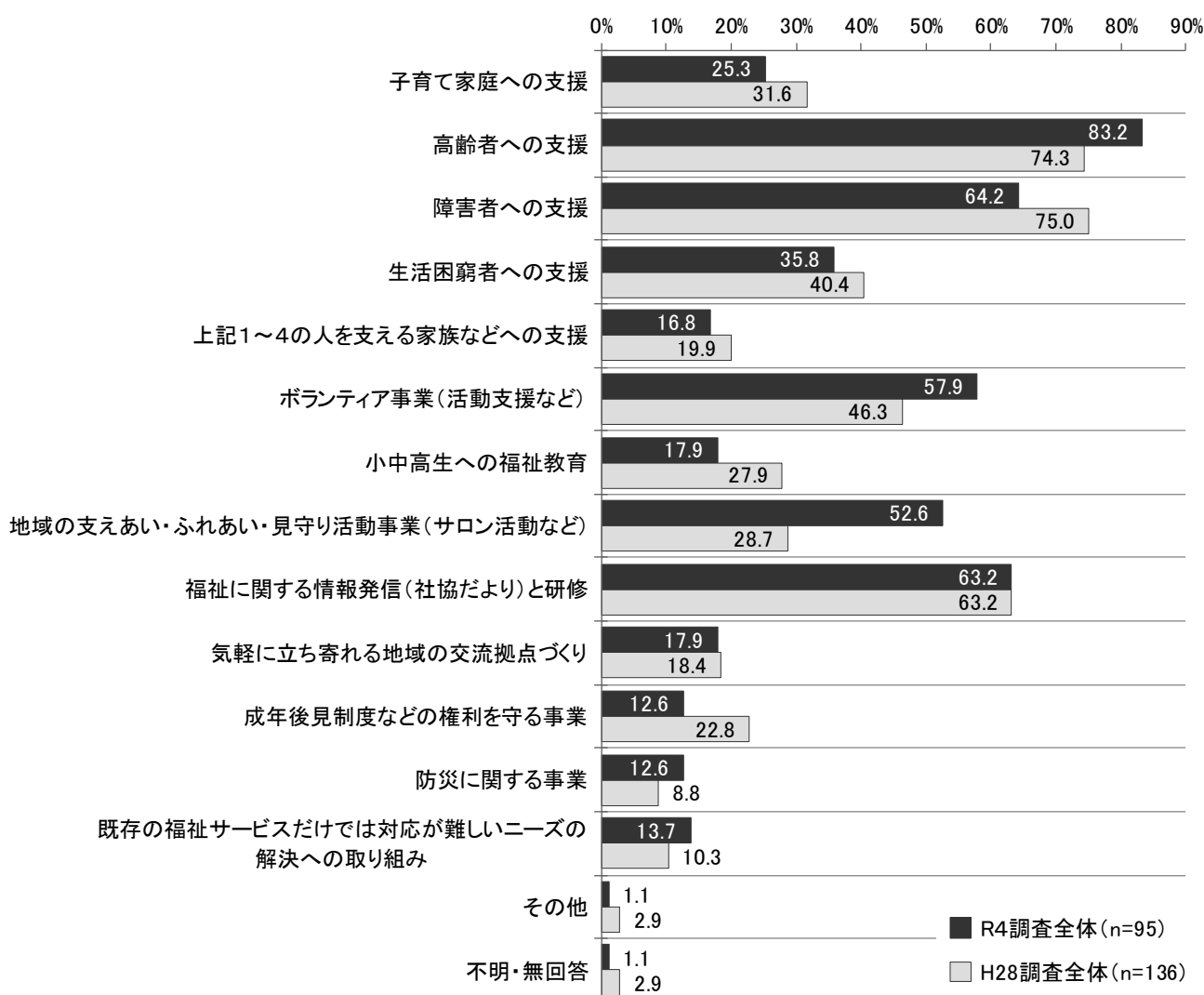
小学校区別では、「活動の内容も含めて知っている」が布袋北小学校区で1.6%と、他の小学校区と比べて低くなっています。



問 22 で「1. 活動の内容も含めて知っている」と回答した方のみ

問 22-1 あなたは、江南市社会福祉協議会の活動のうち、知っているものはありますか。(複数回答)

江南市社会福祉協議会の活動のうち知っている活動は、R4 調査全体で「高齢者への支援」が 83.2%と最も高く、次いで「障害者への支援」が 64.2%となっています。H28 調査全体と比較すると、「地域の支えあい・ふれあい・見守り活動事業（サロン活動など）」「ボランティア事業（活動支援など）」がそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。一方、「障害者への支援」「成年後見制度などの権利を守る事業」がそれぞれ 10 ポイント以上低くなっています。



年齢別では、50歳代及び60歳代で「高齢者への支援」「障害者への支援」、70歳以上では「高齢者への支援」「ボランティア事業（活動支援など）」が上位となっています。なお、50歳代で「気軽に立ち寄れる地域の交流拠点づくり」が37.5%であるものの、60歳代以上では1割前後と低くなっています。

(単位：%)	n=	子育て家庭への支援	高齢者への支援	障害者への支援	生活困窮者への支援	上記1～4の人を支える家族などへの支援	ボランティア事業（活動支援など）	小中高生への福祉教育	地域の支えあい・ふれあい・見守り活動事業（サロン活動など）	福祉に関する情報発信（社協だより）と研修	気軽に立ち寄れる地域の交流拠点づくり	成年後見制度などの権利を守る事業
30歳代	6	16.7	83.3	100.0	66.7	50.0	83.3	50.0	66.7	83.3	50.0	66.7
40歳代	8	12.5	87.5	50.0	25.0	12.5	37.5	50.0	50.0	75.0	0.0	12.5
50歳代	16	25.0	87.5	68.8	43.8	31.3	56.3	12.5	62.5	62.5	37.5	18.8
60歳代	14	35.7	100.0	71.4	35.7	0.0	42.9	14.3	50.0	57.1	7.1	0.0
70歳以上	48	25.0	77.1	60.4	31.3	12.5	66.7	12.5	50.0	64.6	12.5	8.3

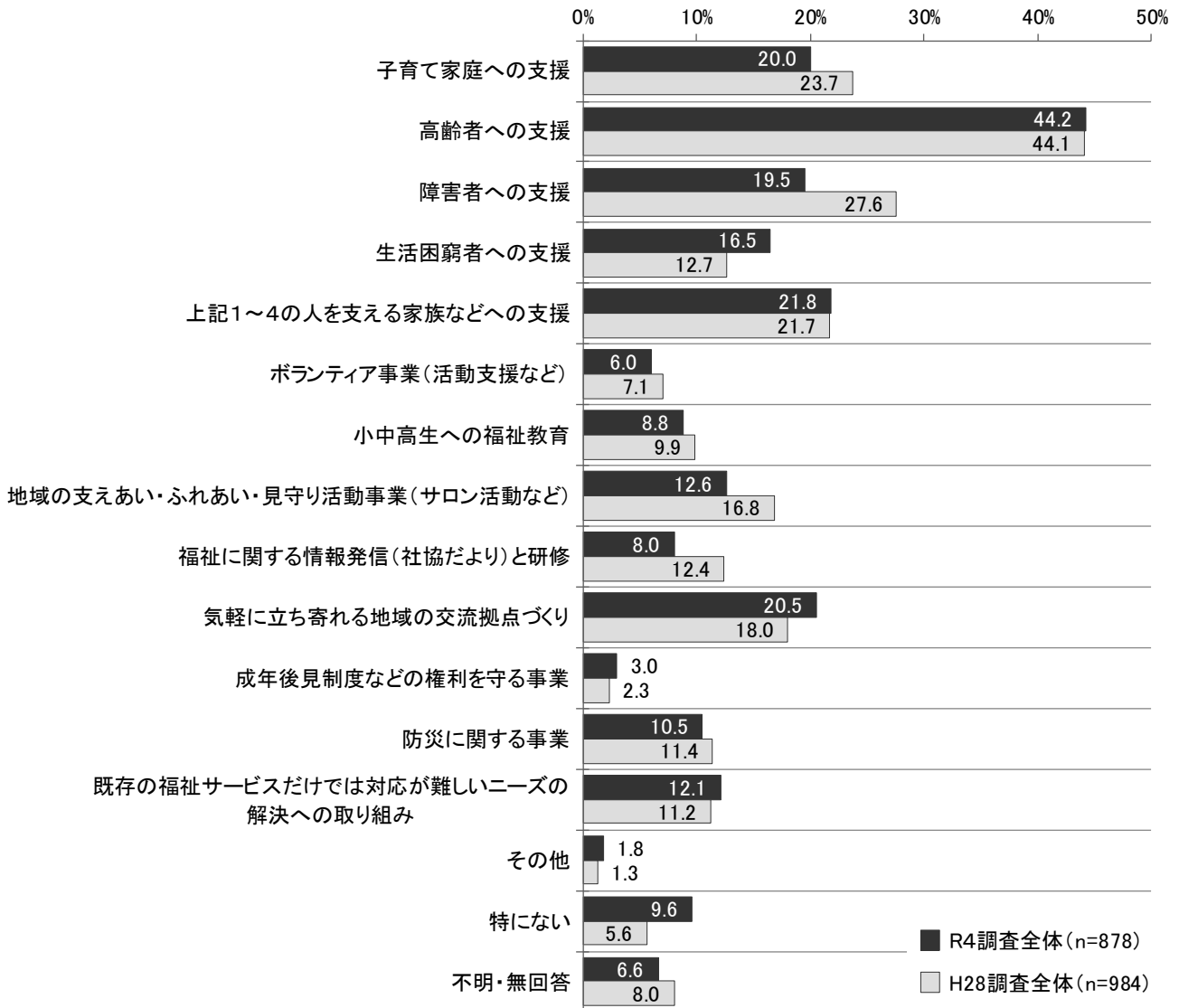
(単位：%)	n=	防災に関する事業	既存の福祉サービスだけでは対応が難しいニーズの解決への取り組み	その他	不明・無回答
30歳代	6	0.0	33.3	0.0	0.0
40歳代	8	0.0	37.5	12.5	0.0
50歳代	16	12.5	18.8	0.0	0.0
60歳代	14	7.1	0.0	0.0	0.0
70歳以上	48	14.6	10.4	0.0	2.1

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、回答者(n)が10未満の場合は、順位の表記を省略しています。

※年齢別の「20歳代以下」については回答者なしであったため、掲載を省略しています。

問 23 地域活動を行っていく中で、今後、江南市社会福祉協議会に期待することは何ですか。(複数回答)

地域活動を行っていく中で、今後、江南市社会福祉協議会に期待することは、R4 調査全体で「高齢者への支援」が 44.2%と最も高く、次いで「上記1～4の人を支える家族などへの支援」が 21.8%となっています。H28 調査全体と比較すると、「障害者への支援」が 8.1ポイント低くなっています。



年齢別では、20歳代以下で「上記1～4の人を支える家族などへの支援」が33.3%、「小中高生への福祉教育」が25.8%と、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

(単位:%)	n=	子育て家庭への支援	高齢者への支援	障害者への支援	生活困窮者への支援	上記1～4の人を支える家族などへの支援	ボランティア事業(活動支援など)	小中高生への福祉教育	地域の支えあい・ふれあい・見守り活動事業(サロン活動など)	福祉に関する情報発信(社協だより)と研修	気軽に立ち寄れる地域の交流拠点づくり	成年後見制度などの権利を守る事業
年齢別												
20歳代以下	66	57.6	18.2	13.6	16.7	33.3	3.0	25.8	4.5	0.0	12.1	4.5
30歳代	68	44.1	29.4	22.1	17.6	27.9	7.4	17.6	10.3	2.9	14.7	4.4
40歳代	115	34.8	37.4	17.4	13.0	21.7	5.2	17.4	7.8	4.3	11.3	3.5
50歳代	170	14.7	45.3	21.8	20.0	25.3	6.5	4.7	12.9	8.8	20.0	0.6
60歳代	132	13.6	52.3	22.0	22.7	21.2	5.3	4.5	14.4	10.6	25.0	2.3
70歳以上	313	7.3	50.8	18.8	13.4	16.9	7.0	4.2	15.7	10.2	24.9	3.5

(単位:%)	n=	防災に関する事業	既存の福祉サービスだけでは対応が難しいニーズの解決への取り組み	その他	特にない	不明・無回答
年齢別						
20歳代以下	66	18.2	6.1	0.0	9.1	3.0
30歳代	68	14.7	14.7	4.4	4.4	1.5
40歳代	115	13.0	8.7	2.6	14.8	5.2
50歳代	170	11.2	17.1	1.2	12.9	4.7
60歳代	132	12.9	12.9	0.8	6.8	4.5
70歳以上	313	6.1	10.9	2.2	8.0	10.5

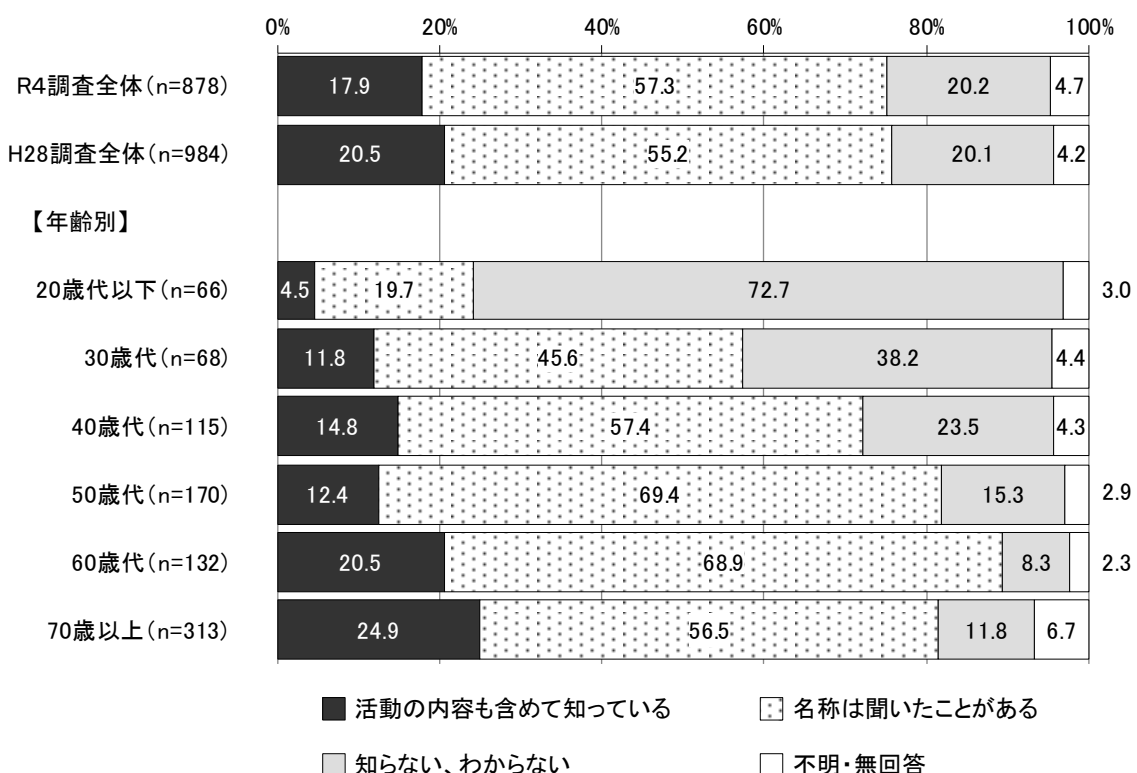
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

9 民生委員・児童委員について

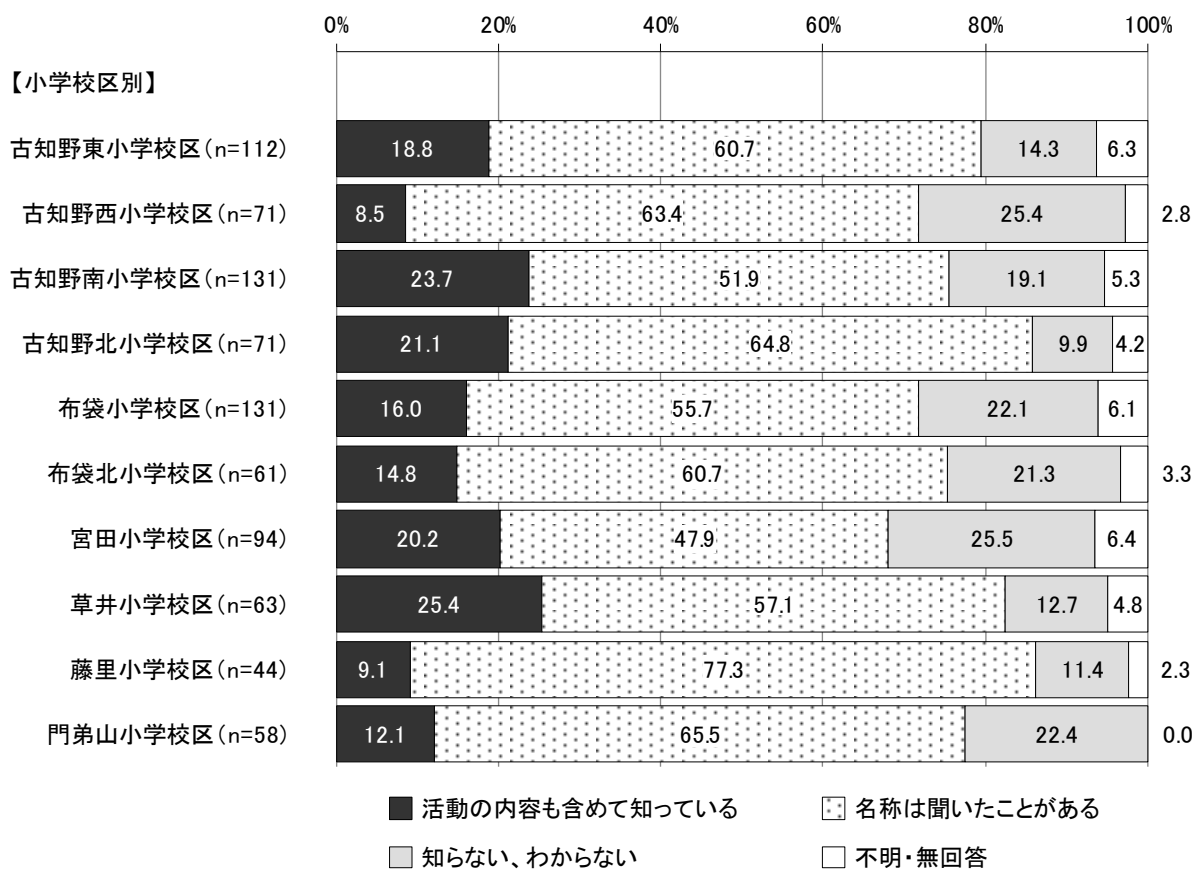
問 24 あなたは民生委員・児童委員について知っていますか。(単数回答)

民生委員・児童委員の認知度は、R4調査全体で「活動の内容も含めて知っている」が17.9%、「名称は聞いたことがある」が57.3%、「知らない、わからない」が20.2%となっています。H28調査全体と比較すると、10ポイント以上の大差はみられず、「活動の内容も含めて知っている」はそれぞれ約2割となっています。

年齢別では、概ね年代が高くなるにしたがい「活動の内容も含めて知っている」は高くなっており、70歳以上で24.9%となっています。



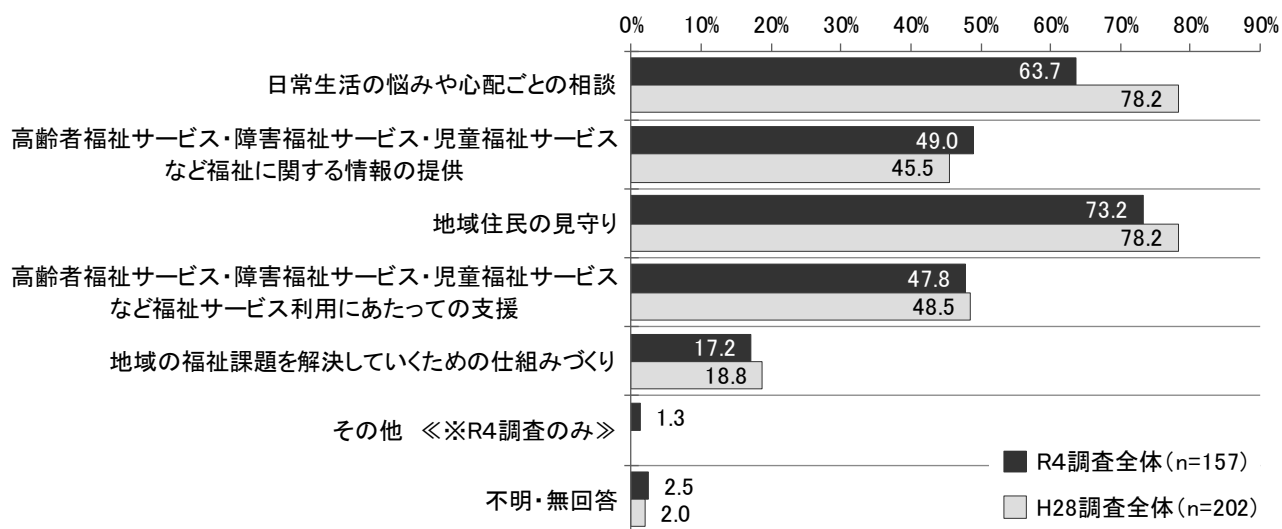
小学校区別では、「活動の内容も含めて知っている」は草井小学校区で 25.4%と、他の小学校区と比べて高いものの、古知野西及び藤里の各小学校区は、それぞれ 1 割を下回っています。



問 24 で「1. 活動の内容も含めて知っている」と回答した方のみ

問 24-1 下記の民生委員・児童委員の活動のうち、知っているものはありますか。(複数回答)

民生委員・児童委員の活動のうち、知っている活動は、R4 調査全体で「地域住民の見守り」が 73.2%と最も高く、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が 63.7%となっています。H28 調査全体と比較すると、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が 14.5 ポイント低くなっています。



※R4 調査の選択肢「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供」「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」は、H28 調査ではそれぞれ「福祉に関する情報の提供」「福祉サービス利用にあたっての支援」でした。

年齢別では、40歳代で「地域住民の見守り」が94.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

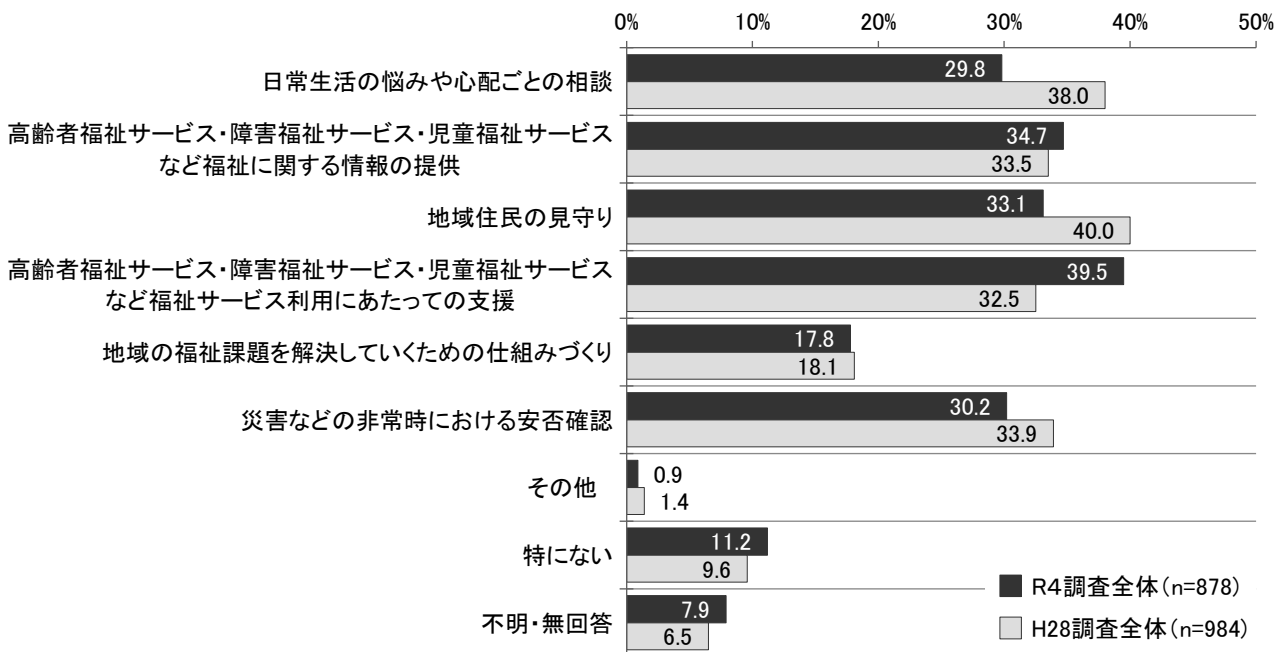
小学校区別では、いずれの小学校区でも「地域住民の見守り」「日常生活の悩みや心配ごとの相談」「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供」「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」が上位となっています。

(単位:%)	n=	日常生活の悩みや心配ごとの相談	高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供	地域住民の見守り	高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援	地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり	その他	不明・無回答
年齢別								
20歳代以下	3	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0
30歳代	8	62.5	37.5	62.5	37.5	37.5	0.0	0.0
40歳代	17	70.6	58.8	94.1	47.1	47.1	5.9	0.0
50歳代	21	47.6	42.9	76.2	42.9	28.6	0.0	0.0
60歳代	27	70.4	55.6	70.4	48.1	7.4	3.7	0.0
70歳以上	78	62.8	48.7	70.5	50.0	9.0	0.0	5.1
小学校区別								
古知野東	21	66.7	61.9	81.0	61.9	23.8	0.0	0.0
古知野西	6	50.0	50.0	66.7	0.0	33.3	0.0	16.7
古知野南	31	67.7	48.4	71.0	45.2	29.0	0.0	0.0
古知野北	15	60.0	60.0	73.3	53.3	13.3	0.0	13.3
布袋	21	66.7	52.4	81.0	66.7	23.8	0.0	0.0
布袋北	9	66.7	66.7	66.7	55.6	0.0	0.0	0.0
宮田	19	57.9	47.4	73.7	42.1	5.3	5.3	0.0
草井	16	75.0	37.5	68.8	37.5	0.0	6.3	0.0
藤里	4	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
門弟山	7	57.1	42.9	71.4	28.6	0.0	0.0	14.3

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。なお、回答者(n)が10未満の場合は、順位の表記を省略しています。

問 25 民生委員・児童委員の活動のうち、あなたはどのような活動を期待しますか。(複数回答)

民生委員・児童委員の活動のうち、期待する活動は、R4調査全体で「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」が39.5%と最も高く、次いで「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供」が34.7%となっています。H28調査全体と比較すると、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」「地域住民の見守り」がそれぞれ約7～8ポイント低くなっている一方で、「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」は7.0ポイント高くなっています。



※R4調査の選択肢「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供」「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」は、H28調査ではそれぞれ「福祉に関する情報の提供」「福祉サービス利用にあたっての支援」でした。

年齢別では、20歳代以下で「日常生活の悩みや心配ごとの相談」、30歳代で「地域住民の見守り」「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」、40歳代で「地域住民の見守り」、50歳代以上で「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」が、それぞれ最も高くなっています。

小学校区別では、古知野東、古知野西、古知野南、古知野北、布袋北、草井及び藤里の各小学校区では「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援」、布袋及び門弟山の各小学校区では「高齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供」、宮田小学校区では「地域住民の見守り」が、それぞれ最も高くなっています。

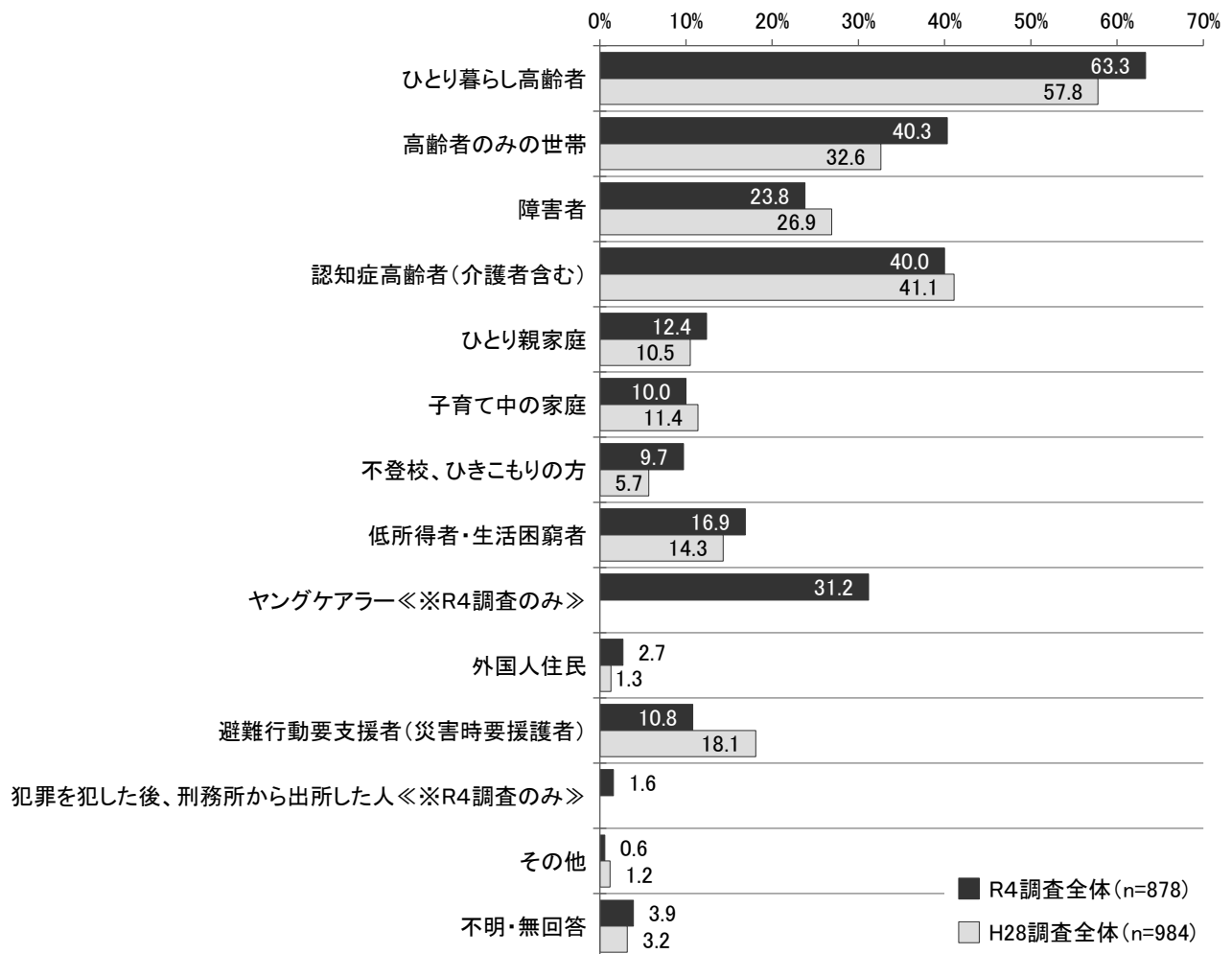
(単位: %)	n=	日常生活の悩みや心配ごとの相談	高年齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉に関する情報の提供	地域住民の見守り	高年齢者福祉サービス・障害福祉サービス・児童福祉サービスなど福祉サービス利用にあたっての支援	地域の福祉課題を解決していくための仕組みづくり	災害などの非常時における安否確認	その他	特になし	不明・無回答
年齢別										
20歳代以下	66	34.8	21.2	21.2	33.3	21.2	30.3	1.5	19.7	3.0
30歳代	68	35.3	36.8	38.2	38.2	22.1	35.3	1.5	11.8	1.5
40歳代	115	23.5	33.0	37.4	35.7	24.3	24.3	0.9	17.4	4.3
50歳代	170	27.6	42.9	33.5	48.2	15.9	24.7	0.0	11.8	5.3
60歳代	132	33.3	40.9	40.2	46.2	16.7	34.8	1.5	6.8	4.5
70歳以上	313	30.0	31.3	30.0	34.5	15.3	31.9	1.0	8.3	14.1
小学校区別										
古知野東	112	29.5	34.8	33.0	41.1	16.1	32.1	0.9	11.6	8.0
古知野西	71	25.4	33.8	23.9	43.7	23.9	21.1	1.4	12.7	7.0
古知野南	131	35.1	32.8	38.9	40.5	17.6	26.0	0.0	12.2	7.6
古知野北	71	21.1	35.2	32.4	36.6	11.3	32.4	1.4	9.9	8.5
布袋	131	33.6	39.7	32.8	38.2	20.6	38.2	0.8	9.9	9.2
布袋北	61	27.9	36.1	34.4	44.3	21.3	32.8	1.6	6.6	6.6
宮田	94	28.7	36.2	42.6	31.9	10.6	28.7	0.0	11.7	8.5
草井	63	28.6	36.5	28.6	47.6	17.5	33.3	0.0	11.1	9.5
藤里	44	38.6	20.5	27.3	40.9	15.9	27.3	4.5	9.1	6.8
門弟山	58	25.9	36.2	29.3	34.5	17.2	29.3	1.7	17.2	3.4

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

10 近年の福祉課題について

問 26 次のなかで、特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。(複数回答)

特に支援が必要だと思う対象は、R4 調査全体で「ひとり暮らし高齢者」が 63.3%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が 40.3%、「認知症高齢者（介護者含む）」が 40.0%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられません。



※H28 調査には、選択肢「高齢者や障害者を介護している人」（全体で 40.9%）がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

性別では、「ヤングケアラー」が女性で39.0%と、男性と比べて17.0ポイント高くなっています。

年齢別では、30歳代～50歳代で「ヤングケアラー」がそれぞれ4割以上と、他の年代と比べて高くなっています。また、50歳代及び60歳代で「認知症高齢者（介護者含む）」がそれぞれ約5割と高くなっています。

(単位:%)	n=	ひとり暮らし高齢者	高齢者のみの世帯	障害者	認知症高齢者(介護者含む)	ひとり親家庭	子育て中の家庭	不登校、ひきこもりの方	低所得者・生活困窮者	ヤングケアラー	外国人住民	避難行動要支援者(災害時要援護者)
性別												
男性	382	68.6	42.1	26.4	35.9	13.9	11.3	7.9	18.1	22.0	2.4	10.7
女性	479	59.1	38.8	21.7	42.8	11.1	9.0	11.1	15.4	39.0	3.1	11.1
年齢別												
20歳代以下	66	53.0	30.3	28.8	37.9	27.3	30.3	13.6	12.1	22.7	6.1	10.6
30歳代	68	50.0	38.2	25.0	36.8	14.7	32.4	14.7	20.6	44.1	0.0	10.3
40歳代	115	63.5	38.3	21.7	36.5	15.7	17.4	12.2	17.4	44.3	4.3	7.0
50歳代	170	67.1	38.8	30.0	47.6	10.0	5.9	8.2	17.6	40.0	4.1	4.7
60歳代	132	70.5	41.7	20.5	45.5	12.9	3.8	10.6	17.4	32.6	3.0	9.1
70歳以上	313	62.9	43.8	21.1	34.5	8.9	3.2	7.3	15.7	20.8	1.3	16.3

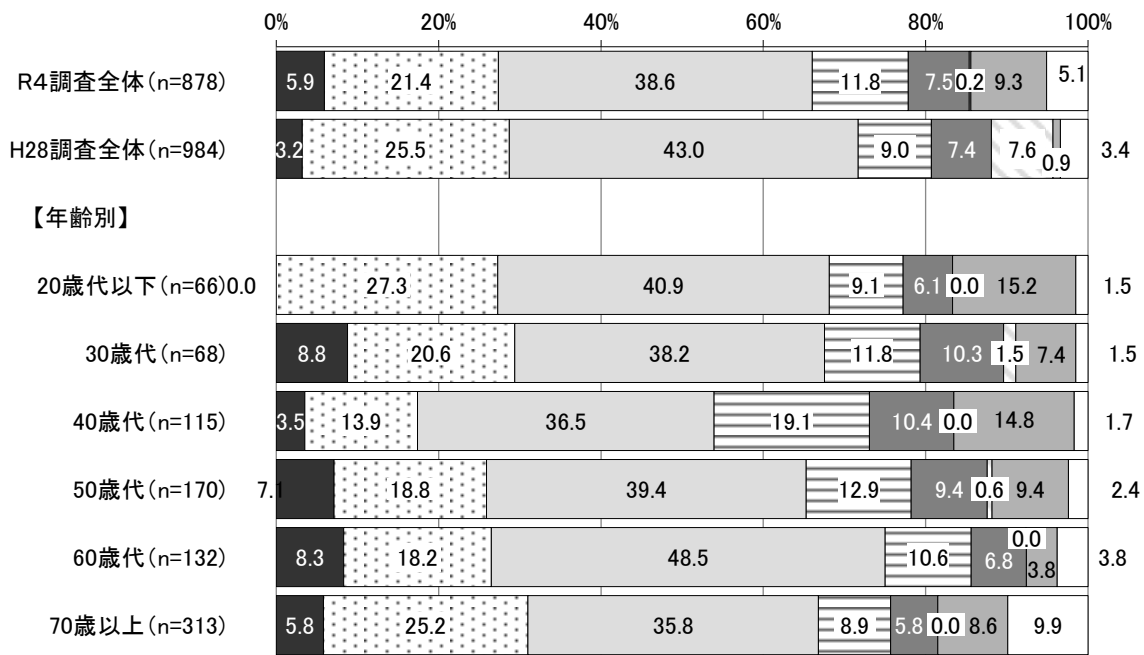
(単位:%)	n=	犯罪を犯した後、刑務所から出所した人	その他	不明・無回答
性別				
男性	382	1.0	0.5	3.1
女性	479	2.1	0.4	4.4
年齢別				
20歳代以下	66	0.0	0.0	1.5
30歳代	68	0.0	1.5	0.0
40歳代	115	1.7	0.0	2.6
50歳代	170	2.4	0.6	1.2
60歳代	132	0.8	0.8	2.3
70歳以上	313	2.2	0.3	7.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 27 問 26 で答えたような対象を支援していくにあたり、住民や行政、民間企業などの役割分担について、あなたのお考えに近いものをお選びください。(単数回答)

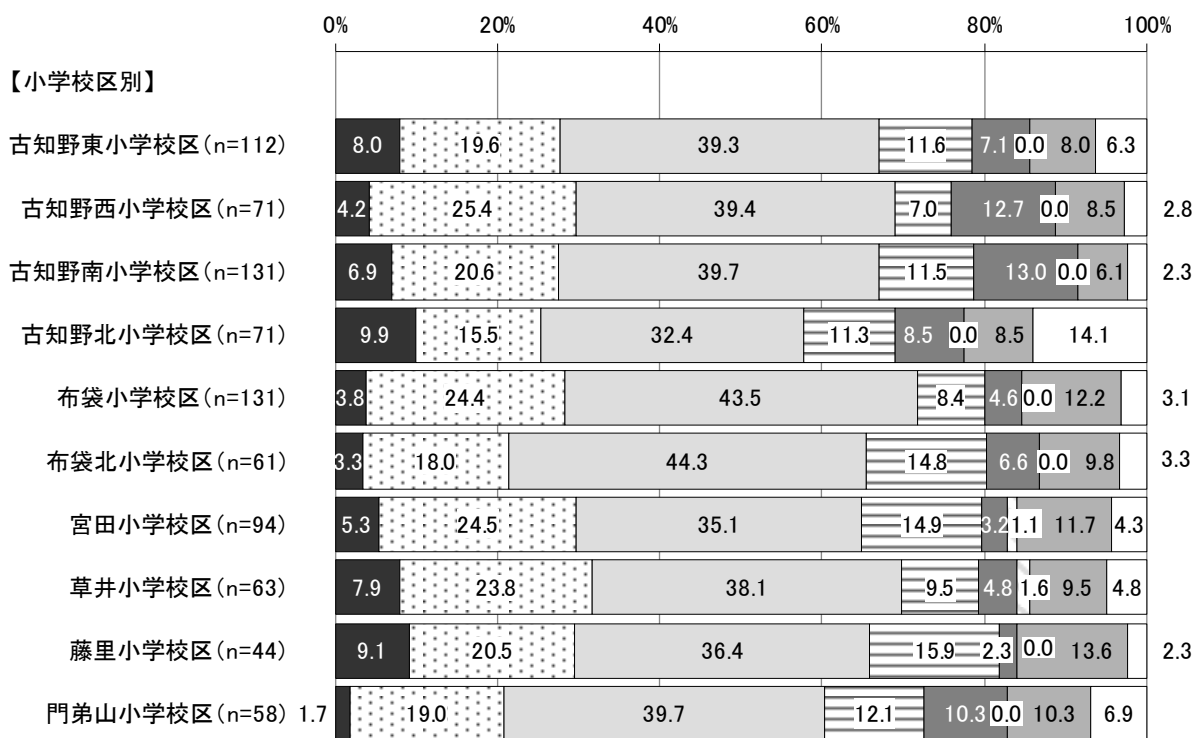
特に支援が必要だと思う対象を支援していくにあたり、住民や行政、民間企業などの役割分担についての考えは、R4 調査全体で「基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき」が 38.6%と最も高く、次いで「基本的には行政が行い、住民も積極的に関わるべき」が 21.4%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられません。

年齢別では、いずれの年代も「基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき」が最も高くなっており、60 歳代で 48.5%と、他の年代と比べて高くなっています。



- 住民が主体的に支え、行政は支え手の支援をするべき
- ▨ 基本的には行政が行い、住民も積極的に関わるべき
- ▩ 基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき
- ▧ 支援は行政がやるべきで、住民はあまり積極的に関わる必要はない
- 支援は福祉団体や民間企業が行うもので、必要な人はその支援やサービスを利用すればよい
- その他
- わからない
- 不明・無回答

小学校区別では、いずれの小学校区でも「基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき」が最も高く、古知野北小学校区を除いて、それぞれ4割前後となっています。

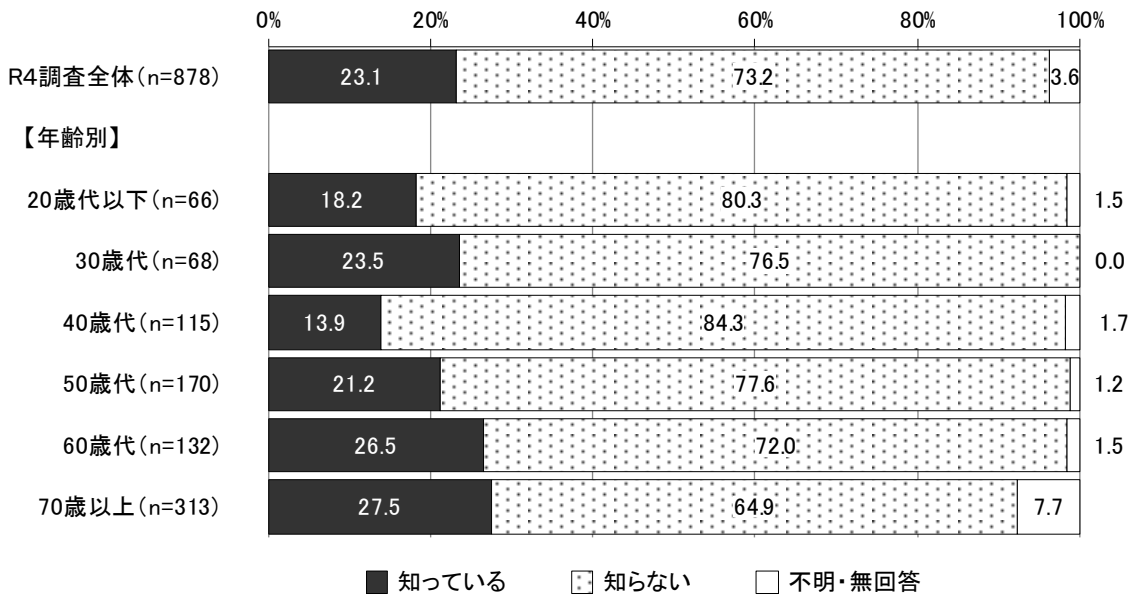


- 住民が主体的に支え、行政は支え手の支援をするべき
- ▨ 基本的には行政が行い、住民も積極的に関わるべき
- ▩ 基本的には行政が行い、住民もある程度は関わるべき
- 支援は行政がやるべきで、住民はあまり積極的に関わる必要はない
- 支援は福祉団体や民間企業が行うもので、必要な人はその支援やサービスを利用すればよい
- その他
- わからない
- 不明・無回答

問 28 あなたは、再犯防止推進法について知っていますか。(単数回答)

再犯防止推進法の認知度は、R4 調査全体で「知っている」が 23.1%、「知らない」が 73.2%となっています。

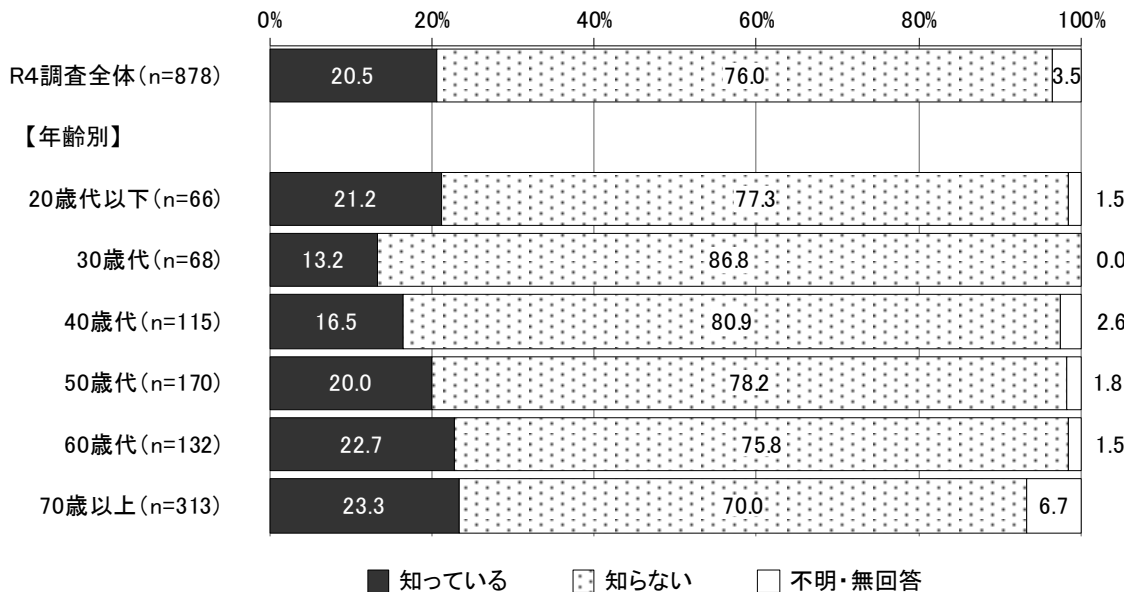
年齢別では、「知っている」が 60 歳代以上でそれぞれ約 3 割となっています。



問 29 近年、全国的に犯罪の発生件数は減少していますが、刑務所からの出所者による再犯率は約 50%と横ばいになっていることを知っていますか。(単数回答)

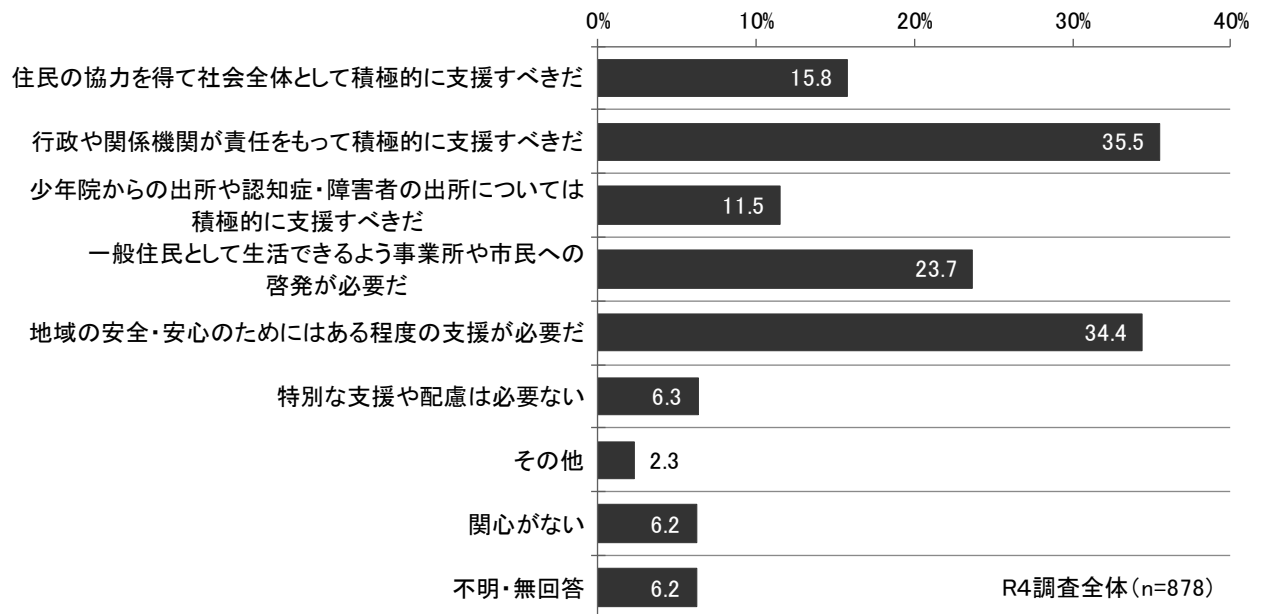
刑務所からの出所者による再犯率は約 50%と横ばいになっていることの認知度は、R4 調査全体で「知っている」が 20.5%、「知らない」が 76.0%となっています。

年齢別では、「知っている」が 30 歳代及び 40 歳代を除いた年代でそれぞれ 2 割以上となっています。



問 30 刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるように支援することについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答)

刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるように支援することについての考えは、R4調査全体で「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が35.5%と最も高く、次いで「地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ」が34.4%となっています。



性別では、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が女性で 38.8%と、男性と比べて 7.4 ポイント高くなっています。

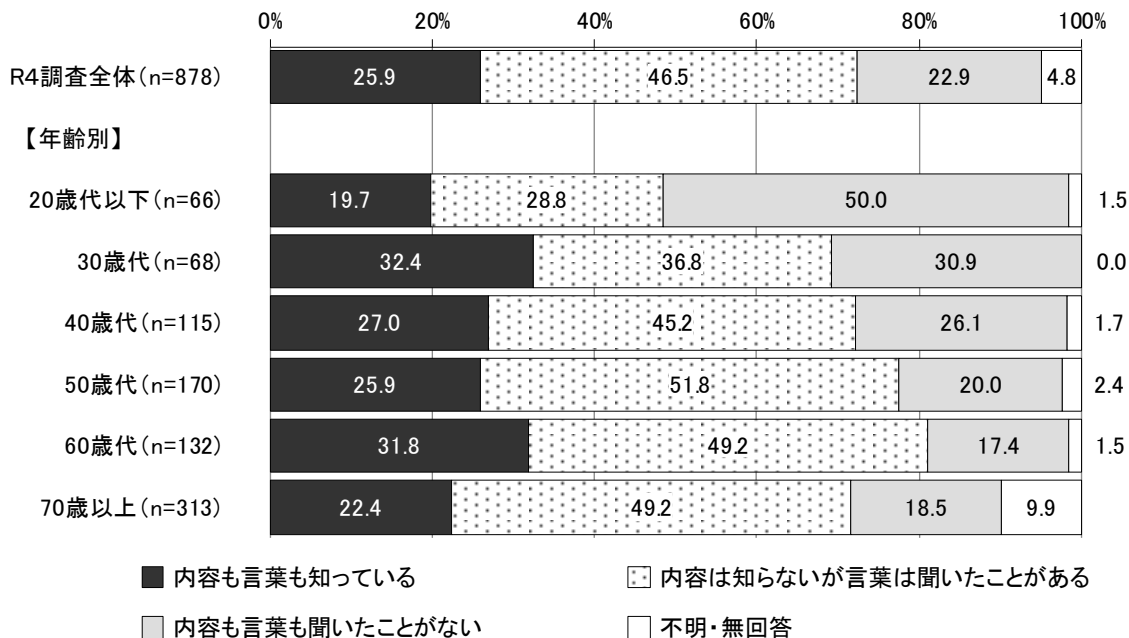
年齢別では、30 歳代及び 50 歳代で「地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ」が、その他の年代では「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位: %)	n=	住民の協力を得て社会全体として積極的に支援すべきだ	行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ	少年院からの出所や認知症・障害者の出所については積極的に支援すべきだ	一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要だ	地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ	特別な支援や配慮は必要ない	その他	関心がない	不明・無回答
性別										
男性	382	17.5	31.4	10.7	22.0	33.2	8.6	2.9	8.4	5.2
女性	479	14.4	38.8	12.1	24.6	35.1	4.2	1.7	4.6	6.7
年齢別										
20 歳代以下	66	9.1	36.4	16.7	12.1	33.3	7.6	3.0	10.6	1.5
30 歳代	68	19.1	29.4	10.3	20.6	33.8	10.3	4.4	10.3	0.0
40 歳代	115	8.7	41.7	8.7	14.8	33.9	14.8	2.6	7.0	3.5
50 歳代	170	11.2	35.9	15.3	21.8	37.6	4.1	2.4	5.3	2.9
60 歳代	132	12.9	40.2	14.4	28.0	37.1	5.3	2.3	3.8	2.3
70 歳以上	313	23.0	32.9	8.6	29.1	31.3	3.5	1.3	5.8	12.5

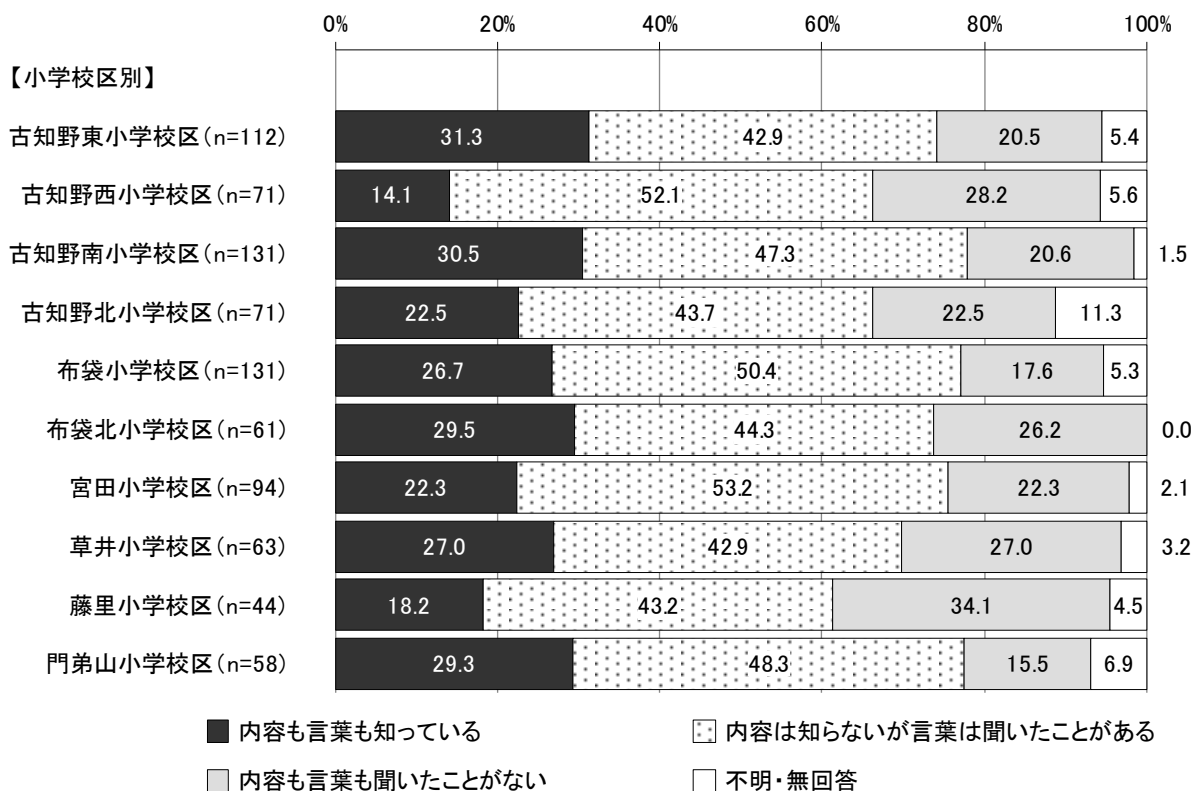
※ 「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第 1 位**と**第 2 位**に網かけをしています。

問 31 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(単数回答)

成年後見制度の認知度は、R4調査全体で「内容も言葉も知っている」が25.9%、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が46.5%、「内容も言葉も聞いたことがない」が22.9%となっています。
 年齢別では、「内容も言葉も知っている」が30歳代及び60歳代で、それぞれ3割を超えています。



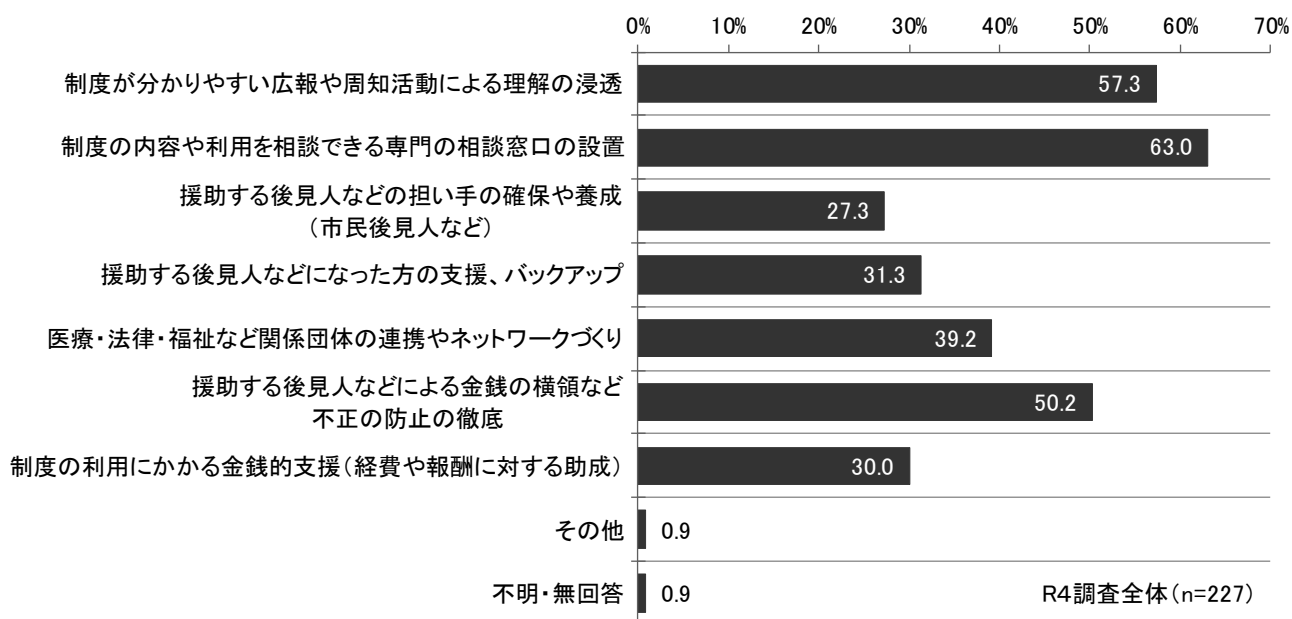
小学校区別では、「内容も言葉も知っている」が古知野東及び古知野南の各小学校区で、それぞれ3割を超えています。一方、藤里小学校区で、「内容も言葉も聞いたことがない」が34.1%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



問 31 で「1. 内容も言葉も知っている」と回答した方のみ

問 31-1 成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくために必要なことは、R4 調査全体で「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」が 63.0%と最も高く、次いで「制度が分かりやすい広報や周知活動による理解の浸透」が 57.3%となっています。



性別では、「援助する後見人などの担い手の確保や養成（市民後見人など）」が男性で34.7%と女性と比べて12.7ポイント、「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」が女性で69.9%と男性と比べて16.8ポイント、「医療・法律・福祉など関係団体の連携やネットワークづくり」が女性で44.7%と男性と比べて13.1ポイント、それぞれ高くなっています。

年齢別では、30歳代以下及び50歳代で「制度が分かりやすい広報や周知活動による理解の浸透」が、40歳代及び60歳代以上で「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」が、それぞれ最も高くなっています。

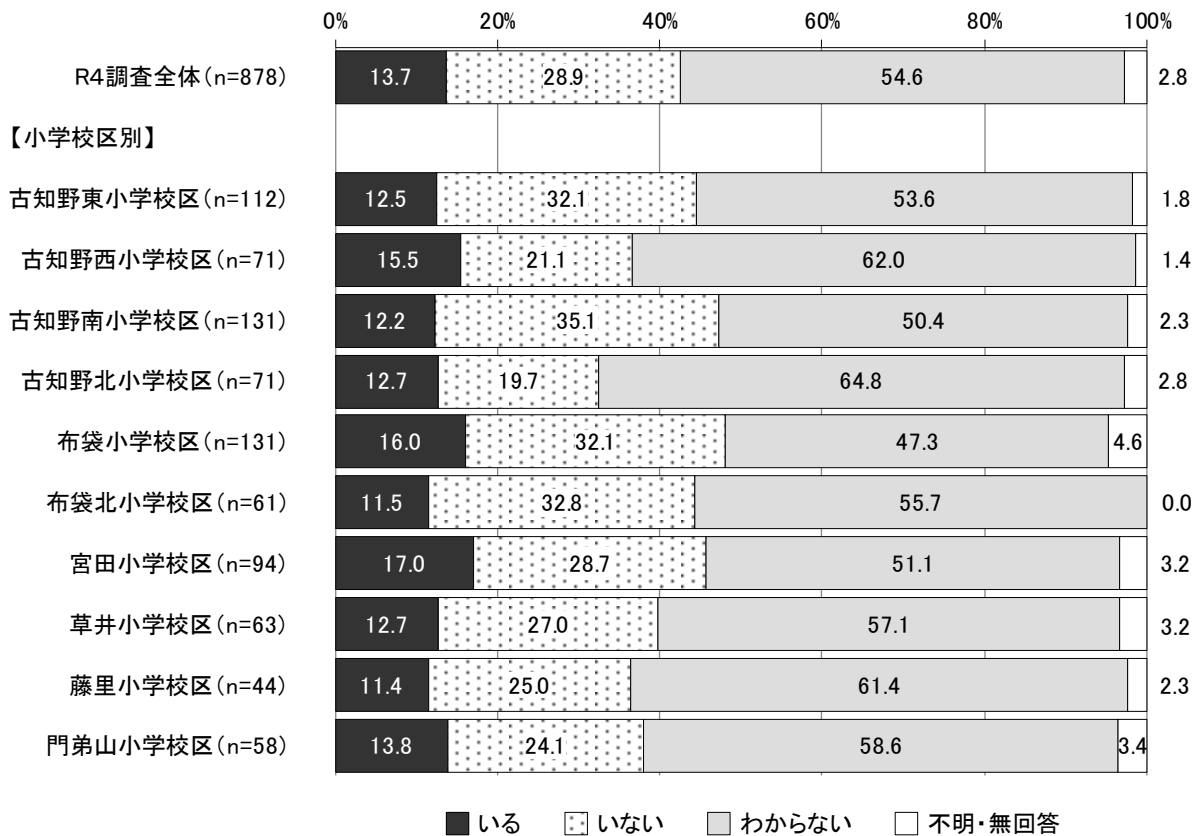
(単位：%)	n=	制度が分かりやすい広報や周知活動による理解の浸透	制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置	援助する後見人などの担い手の確保や養成（市民後見人など）	援助する後見人などになった方の支援、バックアップ	医療・法律・福祉など関係団体の連携やネットワークづくり	援助する後見人などによる金銭の横領など不正の防止の徹底	制度の利用にかかる金銭的支援（経費や報酬に対する助成）	その他	不明・無回答
		性別								
男性	98	62.2	53.1	34.7	33.7	31.6	50.0	35.7	1.0	1.0
女性	123	52.8	69.9	22.0	30.1	44.7	50.4	26.0	0.0	0.8
年齢別										
20歳代以下	13	69.2	46.2	30.8	38.5	53.8	38.5	53.8	0.0	0.0
30歳代	22	50.0	45.5	22.7	45.5	27.3	27.3	4.5	0.0	0.0
40歳代	31	45.2	64.5	22.6	29.0	29.0	58.1	38.7	0.0	0.0
50歳代	44	70.5	63.6	36.4	31.8	40.9	54.5	34.1	2.3	0.0
60歳代	42	54.8	76.2	31.0	31.0	35.7	57.1	33.3	0.0	0.0
70歳以上	70	57.1	62.9	22.9	27.1	44.3	50.0	24.3	0.0	2.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 32 あなたの地域や身近なところに、ひきこもりと思われる方はいますか。
(単数回答)

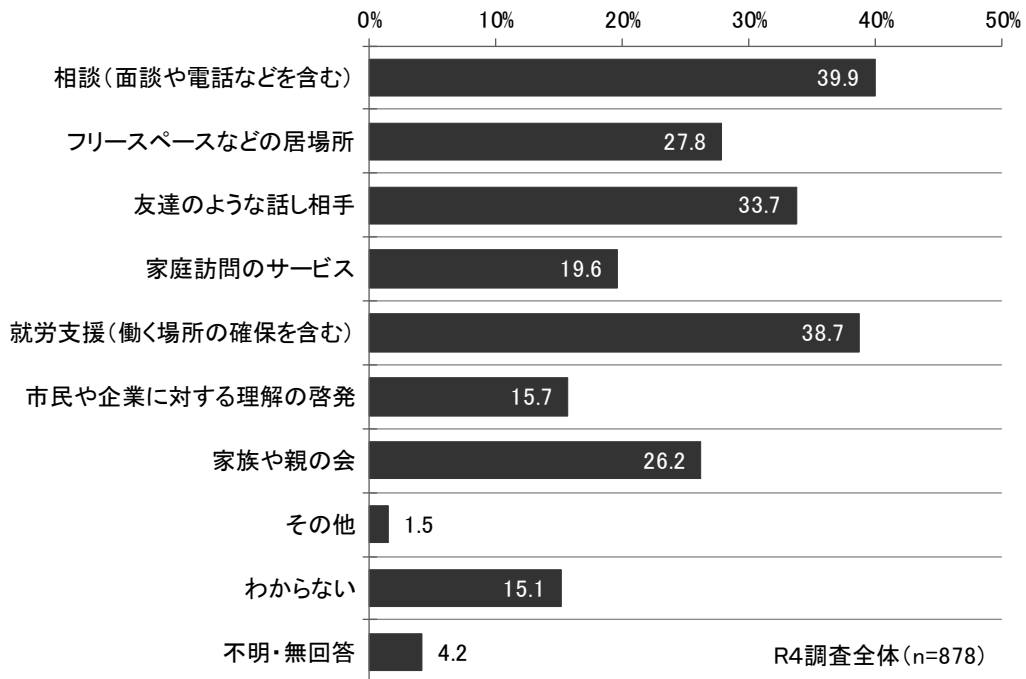
地域や身近なところに、ひきこもりと思われる方がいるかは、R4調査全体で「いる」が13.7%、「いない」が28.9%、「わからない」が54.6%となっています。

小学校区別では、いずれの小学校区でも「いる」がそれぞれ約1～2割みられます。



問 33 ひきこもりの方を支援するためどのような施策が重要だと思いますか。
(複数回答)

ひきこもりの方を支援するため重要だと思う施策は、R4調査全体で「相談（面談や電話などを含む）」が39.9%と最も高く、次いで「就労支援（働く場所の確保を含む）」が38.7%となっています。



性別では、「家族や親の会」が女性で31.1%と、男性と比べて10.2ポイント高くなっています。

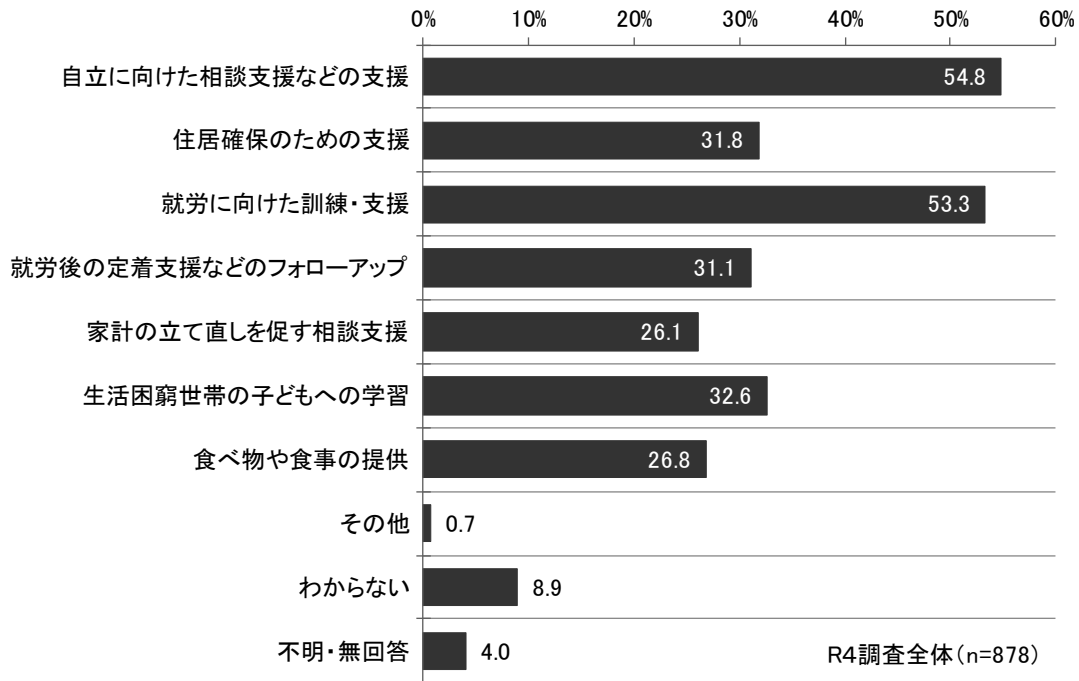
年齢別では、20歳代以下で「友達のような話し相手」、30歳代及び70歳代以上で「相談（面談や電話などを含む）」、40歳代～60歳代で「就労支援（働く場所の確保を含む）」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位: %)	n=	相談 (面談や電話などを含む)	フリースペースなどの居場所	友達のような話し相手	家庭訪問のサービス	就労支援 (働く場所の確保を含む)	市民や企業に対する理解の啓発	家族や親の会	その他	わからない	不明・無回答
性別											
男性	382	36.6	23.6	36.6	18.8	35.6	17.0	20.9	2.4	17.3	4.7
女性	479	42.4	31.7	31.9	19.8	40.9	14.6	31.1	0.6	14.0	3.3
年齢別											
20歳代以下	66	42.4	30.3	48.5	9.1	37.9	12.1	27.3	1.5	9.1	0.0
30歳代	68	48.5	33.8	36.8	17.6	44.1	25.0	25.0	1.5	10.3	2.9
40歳代	115	29.6	29.6	32.2	17.4	44.3	19.1	27.0	2.6	16.5	0.0
50歳代	170	41.2	28.8	34.7	18.2	45.3	14.1	32.4	1.8	14.1	3.5
60歳代	132	37.1	32.6	29.5	20.5	40.2	16.7	31.8	1.5	15.2	2.3
70歳以上	313	41.5	23.3	32.6	23.0	31.6	13.7	21.1	0.6	17.6	7.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 34 生活困窮者を支援するためのどのような施策が重要だと思いますか。(複数回答)

生活困窮者を支援するために重要だと思う施策は、R4 調査全体で「自立に向けた相談支援などの支援」が 54.8%と最も高く、次いで「就労に向けた訓練・支援」が 53.3%となっています。



性別では、「自立に向けた相談支援などの支援」が女性で 54.5%、男性で 55.7%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別では、30 歳代及び 40 歳代で「就労に向けた訓練・支援」が、その他の年代では「自立に向けた相談支援などの支援」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位: %)	n=	自立に向けた相談支援などの支援	住居確保のための支援	就労に向けた訓練・支援	就労後の定着支援などのフォローアップ	家計の立て直しを促す相談支援	生活困窮世帯の子どもへの学習	食べ物や食事の提供	その他	わからない	不明・無回答
性別											
男性	382	54.5	27.7	50.8	27.7	23.3	30.9	25.1	1.3	10.2	4.5
女性	479	55.7	34.9	55.3	33.8	28.4	34.2	28.8	0.2	7.7	3.1
年齢別											
20 歳代以下	66	54.5	25.8	53.0	31.8	25.8	47.0	30.3	0.0	9.1	1.5
30 歳代	68	47.1	30.9	64.7	41.2	41.2	36.8	27.9	1.5	2.9	1.5
40 歳代	115	52.2	30.4	57.4	38.3	24.3	39.1	27.0	0.9	7.8	0.0
50 歳代	170	60.0	30.0	57.6	31.2	24.7	32.4	26.5	0.0	6.5	2.9
60 歳代	132	58.3	37.9	53.0	31.8	28.8	34.1	32.6	1.5	5.3	2.3
70 歳以上	313	53.4	31.9	47.3	25.9	23.3	26.5	24.3	0.6	13.4	7.3

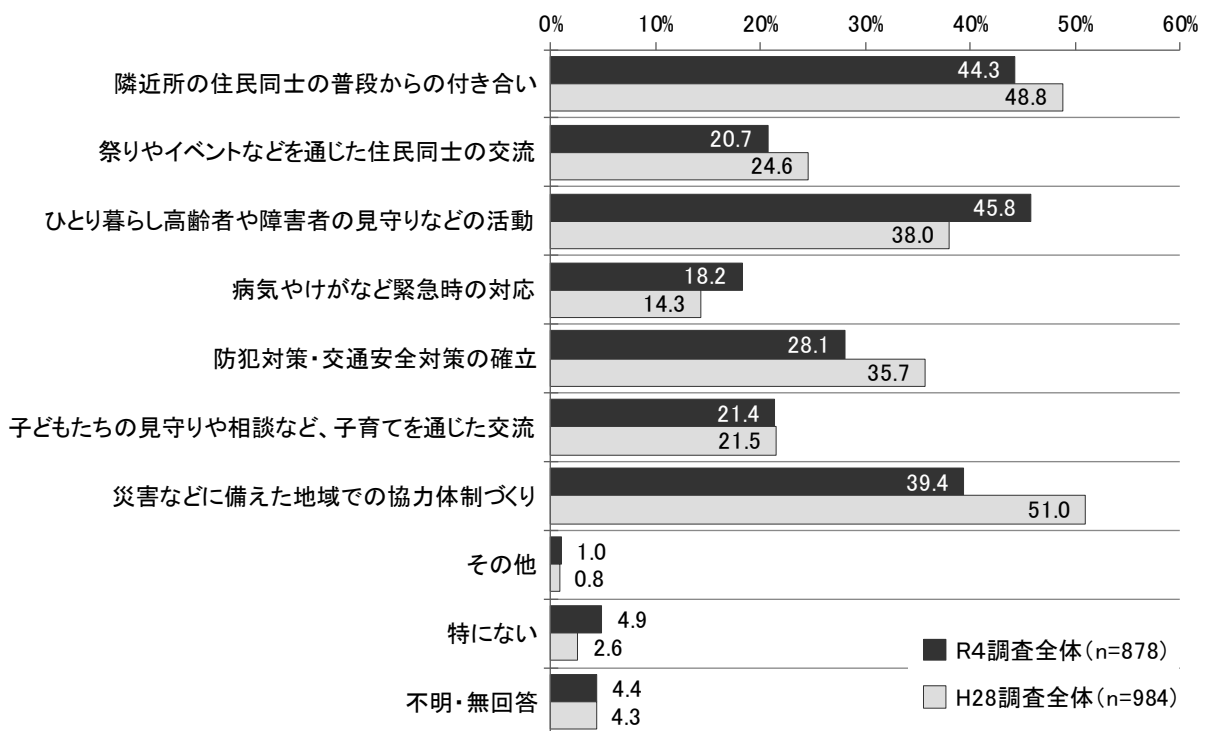
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第 1 位と第 2 位に網かけをしています。

11 地域福祉全般について

問 35 助け合い、支え合いのまちづくりのために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

問 35① 地域として（複数回答）

助け合い、支え合いのまちづくりのために、地域として今後どのようなことに力を入れていくべきだと思うかは、R4 調査全体で「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が 45.8%と最も高く、次いで「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が 44.3%となっています。H28 調査全体と比較すると、「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が 11.6 ポイント低くなっています。



※R4 調査の選択肢「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」は、H28 調査では「ひとり暮らし高齢者の見守りなどの活動」でした。

年齢別では、20歳代以下で「子どもたちの見守りや相談など、子育てを通じた交流」、30歳代及び70歳以上で「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」、40歳代で「災害などに備えた地域での協力体制づくり」、50歳代及び60歳代で「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が、それぞれ最も高くなっています。

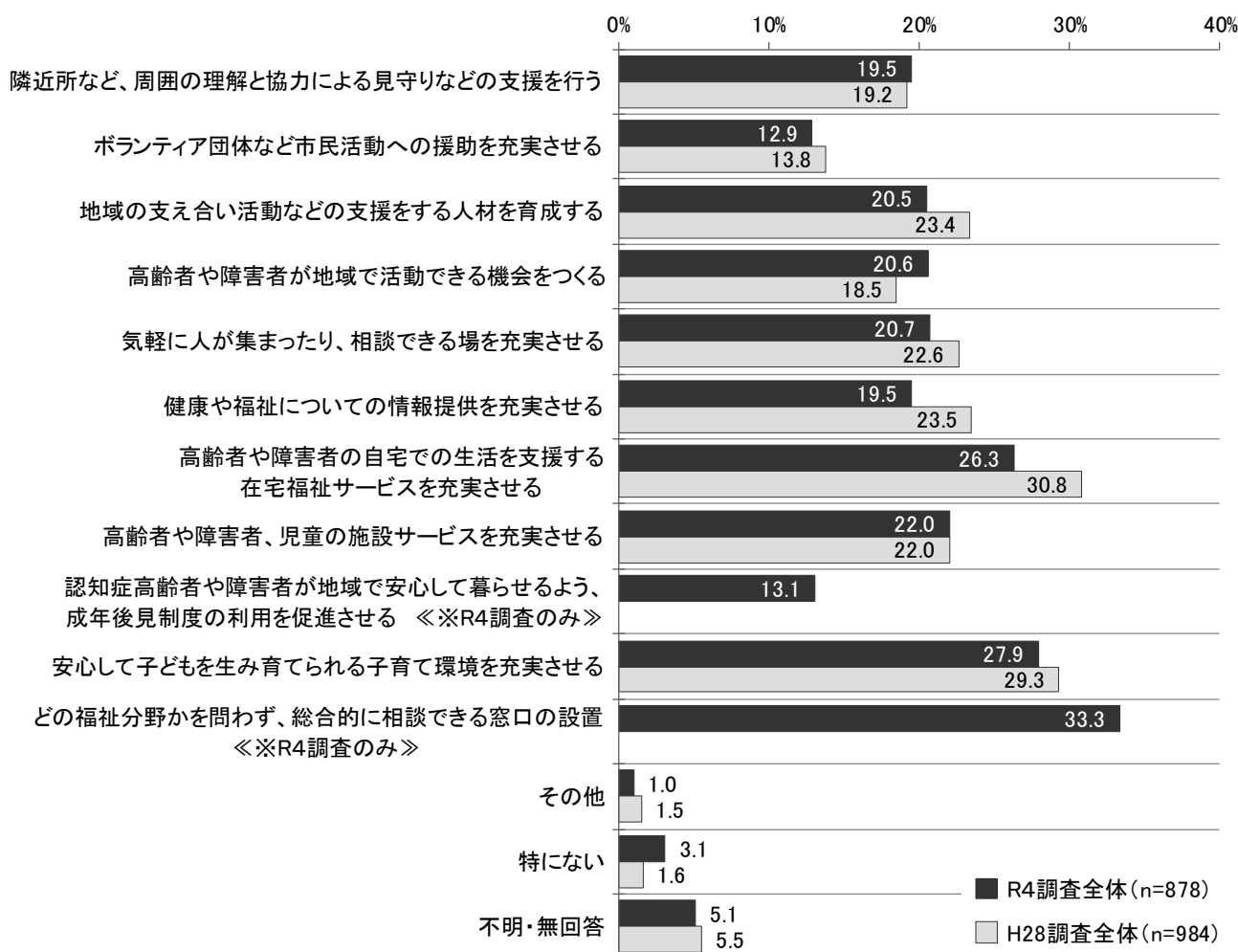
小学校区別では、古知野東、古知野北、宮田及び草井の各小学校区で「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が、古知野西及び門弟山の各小学校区で「災害などに備えた地域での協力体制づくり」、その他の小学校区で「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位: %)	n=	隣近所の住民同士の普段からの付き合い	祭りやイベントなどを通じた住民同士の交流	ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動	病気やけがなど緊急時の対応	防犯対策・交通安全対策の確立	子どもたちの見守りや相談など、子育てを通じた交流	災害などに備えた地域での協力体制づくり	その他	特になし	不明・無回答
年齢別											
20歳代以下	66	18.2	34.8	30.3	18.2	37.9	43.9	42.4	0.0	10.6	0.0
30歳代	68	47.1	26.5	36.8	22.1	32.4	39.7	33.8	1.5	1.5	1.5
40歳代	115	29.6	25.2	26.1	20.0	38.3	27.8	40.0	0.9	8.7	0.9
50歳代	170	45.3	16.5	47.1	17.6	34.1	15.9	44.1	0.6	3.5	3.5
60歳代	132	43.9	19.7	55.3	13.6	23.5	22.0	47.0	1.5	3.0	3.0
70歳以上	313	54.6	17.9	54.3	19.2	19.8	13.7	34.8	1.3	4.8	7.7
小学校区別											
古知野東	112	50.9	22.3	42.0	13.4	27.7	28.6	40.2	1.8	1.8	5.4
古知野西	71	42.3	19.7	46.5	19.7	23.9	15.5	46.5	2.8	2.8	4.2
古知野南	131	40.5	24.4	50.4	19.1	26.7	20.6	39.7	0.0	6.1	2.3
古知野北	71	45.1	21.1	43.7	23.9	35.2	16.9	26.8	1.4	8.5	5.6
布袋	131	42.7	22.9	50.4	20.6	28.2	22.9	38.2	0.0	4.6	6.9
布袋北	61	49.2	13.1	54.1	18.0	24.6	16.4	39.3	1.6	1.6	4.9
宮田	94	50.0	23.4	41.5	14.9	25.5	21.3	39.4	1.1	4.3	4.3
草井	63	50.8	20.6	44.4	12.7	31.7	27.0	39.7	0.0	3.2	4.8
藤里	44	38.6	29.5	47.7	11.4	29.5	20.5	38.6	0.0	2.3	2.3
門弟山	58	41.4	6.9	37.9	15.5	34.5	17.2	58.6	1.7	13.8	1.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

問 35② 行政として（複数回答）

助け合い、支え合いのまちづくりのために、行政として今後どのようなことに力を入れていくべきだと思うかは、R4 調査全体で「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」が 33.3%と最も高く、次いで「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」が 27.9%となっています。H28 調査全体と比較すると、10 ポイント以上の大差はみられません。



※H28 調査には、選択肢「交通の利便性の確保をすすめる」(19.6%)、「道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる」(16.4%)がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

年齢別では、30 歳代以下で「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」、40 歳代以上で「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」が、それぞれ最も高くなっています。

小学校区別では、古知野東小学校区で「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」、布袋及び草井の各小学校区で「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」、布袋北小学校区で「高齢者や障害者の自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」、その他の小学校区で「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位: %)	n=	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる	地域の支え合い活動などの支援をする人材を育成する	高齢者や障害者が地域で活動できる機会をつくる	気軽に人が集まったり、相談できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	高齢者や障害者の自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	高齢者や障害者、児童の施設サービスを充実させる	認知症高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用を促進させる	安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる	どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置
												27.3
年齢別												
20歳代以下	66	15.2	12.1	24.2	12.1	18.2	21.2	19.7	28.8	9.1	50.0	27.3
30歳代	68	23.5	8.8	20.6	29.4	20.6	20.6	16.2	26.5	11.8	48.5	27.9
40歳代	115	8.7	12.2	13.9	27.8	13.9	20.0	26.1	33.9	16.5	35.7	38.3
50歳代	170	24.1	14.1	21.8	22.4	18.2	18.8	28.2	25.3	13.5	27.6	33.5
60歳代	132	14.4	15.2	19.7	22.7	21.2	22.7	25.0	22.7	9.8	26.5	34.8
70歳以上	313	22.7	12.8	22.4	16.0	25.2	17.6	29.7	13.7	13.4	17.6	33.5
小学校区別												
古知野東	112	23.2	8.9	17.0	21.4	22.3	25.9	25.0	24.1	6.3	31.3	31.3
古知野西	71	18.3	9.9	23.9	23.9	14.1	22.5	32.4	26.8	12.7	28.2	33.8
古知野南	131	21.4	9.2	22.9	20.6	23.7	15.3	26.0	18.3	13.0	32.1	36.6
古知野北	71	14.1	16.9	19.7	21.1	21.1	19.7	16.9	32.4	14.1	18.3	38.0
布袋	131	12.2	9.2	26.0	21.4	23.7	22.9	32.1	18.3	14.5	32.8	30.5
布袋北	61	27.9	18.0	18.0	19.7	18.0	16.4	36.1	27.9	9.8	24.6	32.8
宮田	94	20.2	16.0	18.1	21.3	25.5	18.1	19.1	17.0	17.0	19.1	31.9
草井	63	23.8	22.2	19.0	15.9	19.0	23.8	30.2	22.2	15.9	33.3	23.8
藤里	44	15.9	6.8	15.9	22.7	18.2	15.9	25.0	25.0	9.1	20.5	36.4
門弟山	58	19.0	13.8	19.0	17.2	17.2	10.3	22.4	12.1	17.2	31.0	44.8

(単位: %)	n=	その他	特にない	不明・無回答
年齢別				
20歳代以下	66	1.5	7.6	0.0
30歳代	68	2.9	1.5	1.5
40歳代	115	1.7	1.7	1.7
50歳代	170	0.6	1.8	3.5
60歳代	132	2.3	3.0	3.8
70歳以上	313	0.0	3.5	8.9
小学校区別				
古知野東	112	1.8	1.8	6.3
古知野西	71	2.8	0.0	4.2
古知野南	131	0.0	2.3	3.8
古知野北	71	0.0	2.8	5.6
布袋	131	0.0	3.8	7.6
布袋北	61	0.0	3.3	0.0
宮田	94	1.1	4.3	4.3
草井	63	0.0	1.6	6.3
藤里	44	0.0	2.3	6.8
門弟山	58	1.7	6.9	1.7

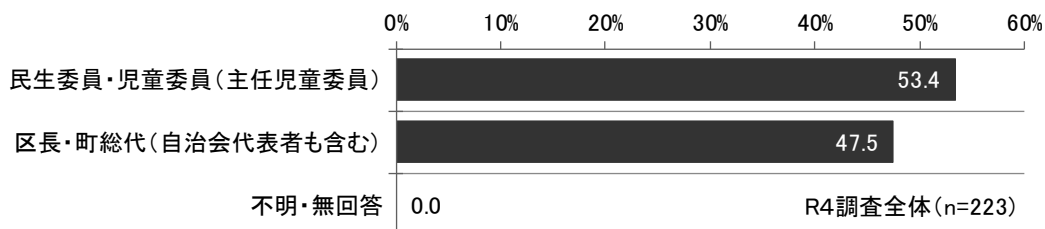
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

IV 活動主体者調査結果

1 あなたについて

問1 あなたの立場はどれにあたりますか。(複数回答)

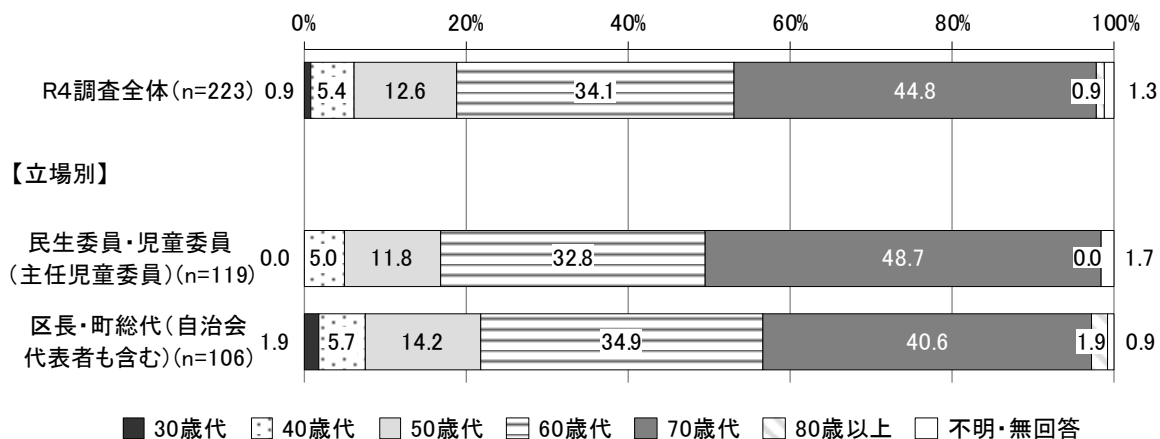
立場は、R4調査全体で「民生委員・児童委員（主任児童委員）」が53.4%、「区長・町総代（自治会代表者も含む）」が47.5%となっています。なお、「民生委員・児童委員（主任児童委員）」「区長・町総代（自治会代表者も含む）」の兼務者が2名となっており、以降の結果にも反映されています。



問2 あなたの年齢を教えてください。(令和4年10月1日現在) (数量回答)

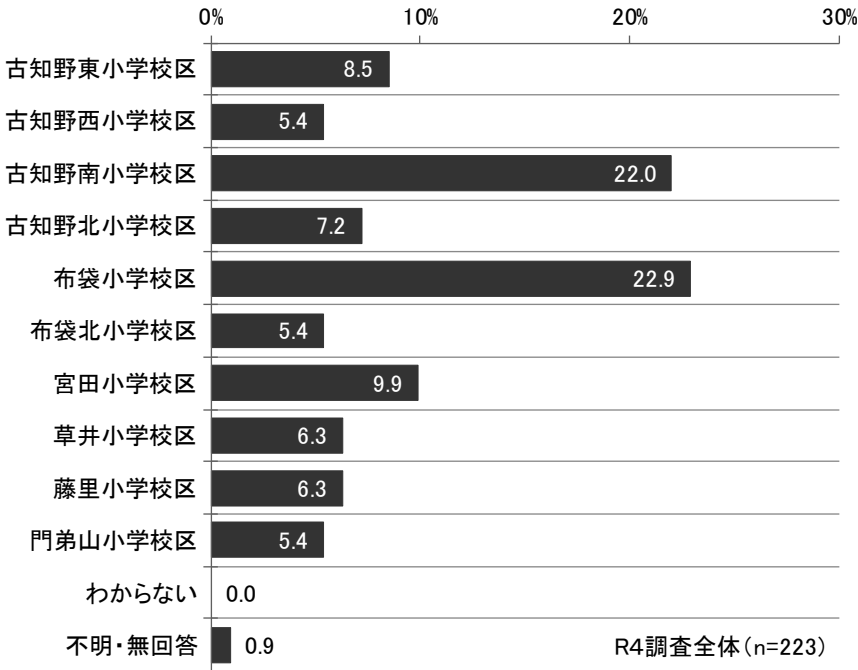
年齢は、R4調査全体で「70歳代」が44.8%と最も高く、次いで「60歳代」が34.1%となっています。

立場別では、いずれも「70歳代」が最も高く、民生委員・児童委員（主任児童委員）で48.7%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で40.6%となっています。

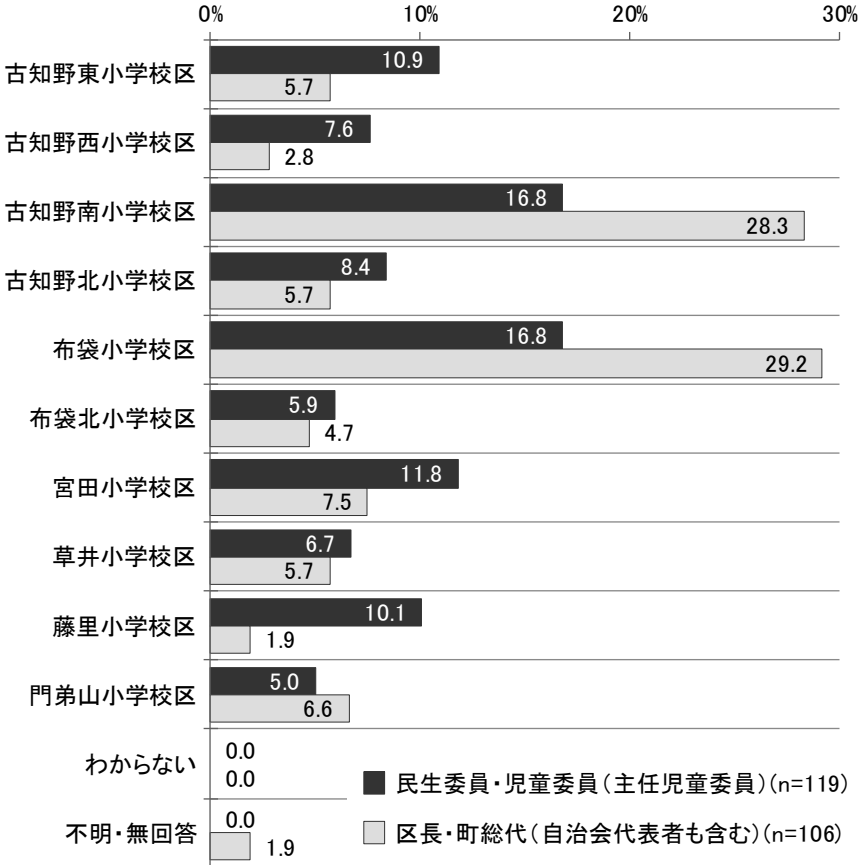


問3 現在、どこの地区にお住まいですか。(単数回答)

居住地区(小学校区)は、R4調査全体で「布袋小学校区」が22.9%と最も高く、次いで「古知野南小学校区」が22.0%となっています。

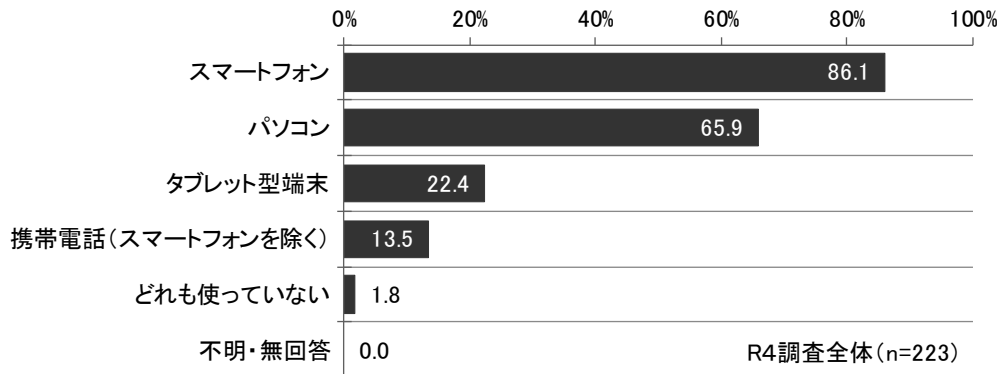


立場別では、民生委員・児童委員(主任児童委員)で「古知野南小学校区」「布袋小学校区」が、区長・町総代(自治会代表者も含む)で「布袋小学校区」が、それぞれ最も高くなっています。

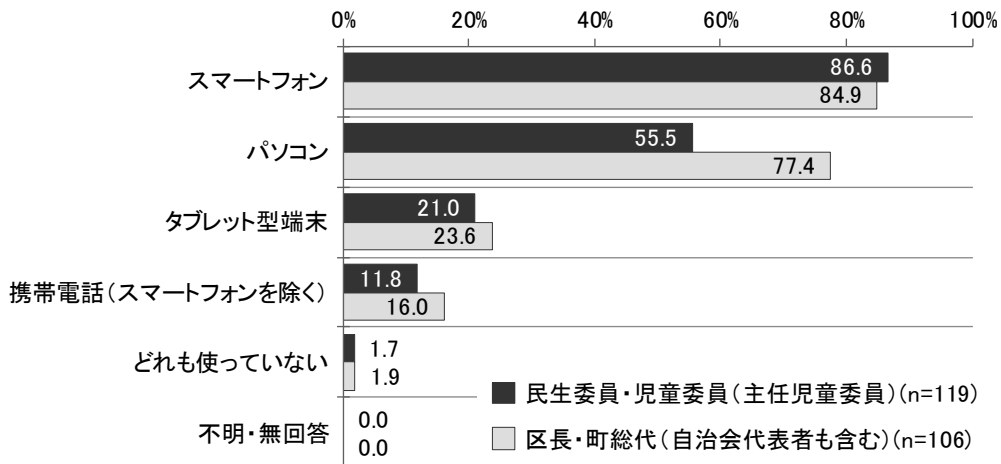


問4 あなたは、次のような機器を使っていますか。(複数回答)

使用している電子機器は、R4調査全体で「スマートフォン」が86.1%と最も高く、次いで「パソコン」が65.9%となっています。



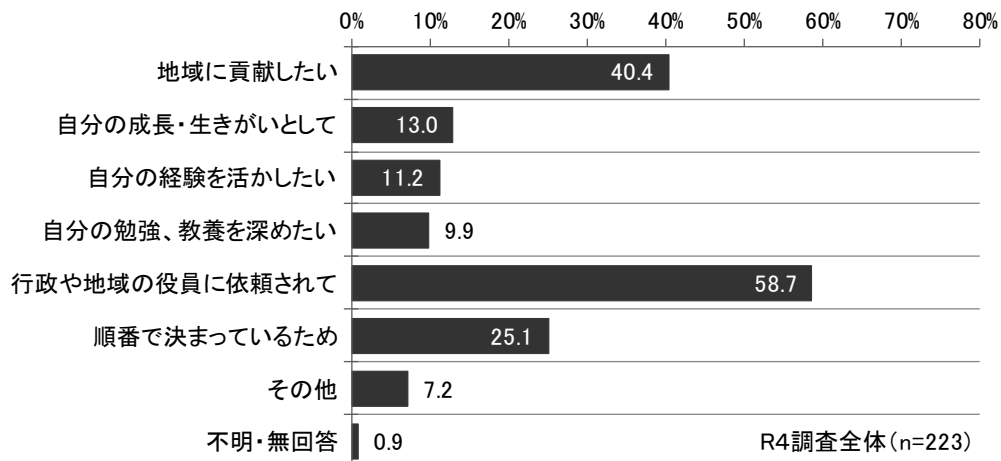
立場別では、いずれも「スマートフォン」が最も高く、民生委員・児童委員(主任児童委員)で86.6%、区長・町総代(自治会代表者も含む)で84.9%となっています。次いで、いずれも「パソコン」となっており、特に区長・町総代(自治会代表者も含む)は77.4%と高くなっています。



2 活動について

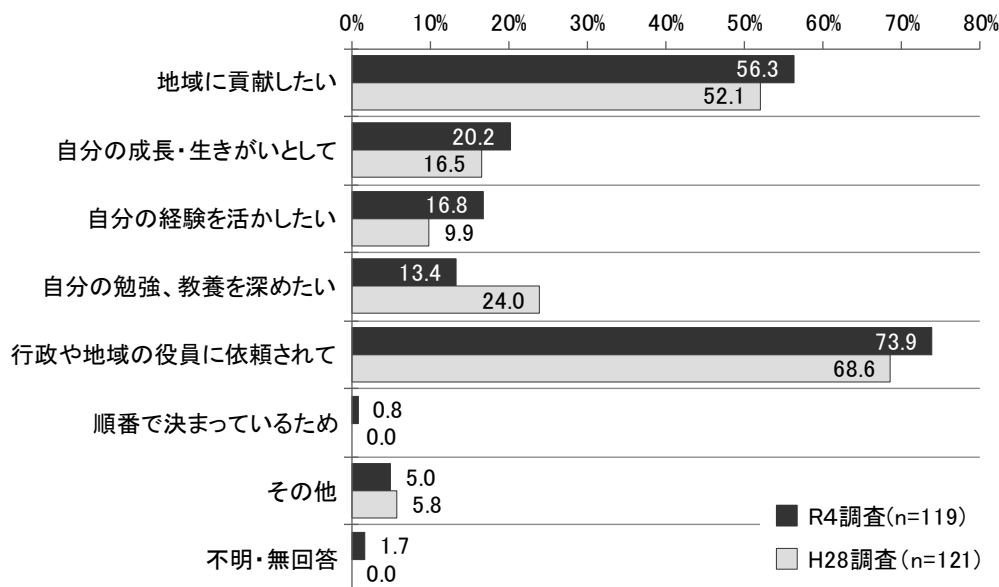
問5 あなたはどのような理由から活動に携わっていますか。(複数回答)

どのような理由から活動に携わっているかは、R4調査全体で「行政や地域の役員に依頼されて」が58.7%と最も高く、次いで「地域に貢献したい」が40.4%となっています。



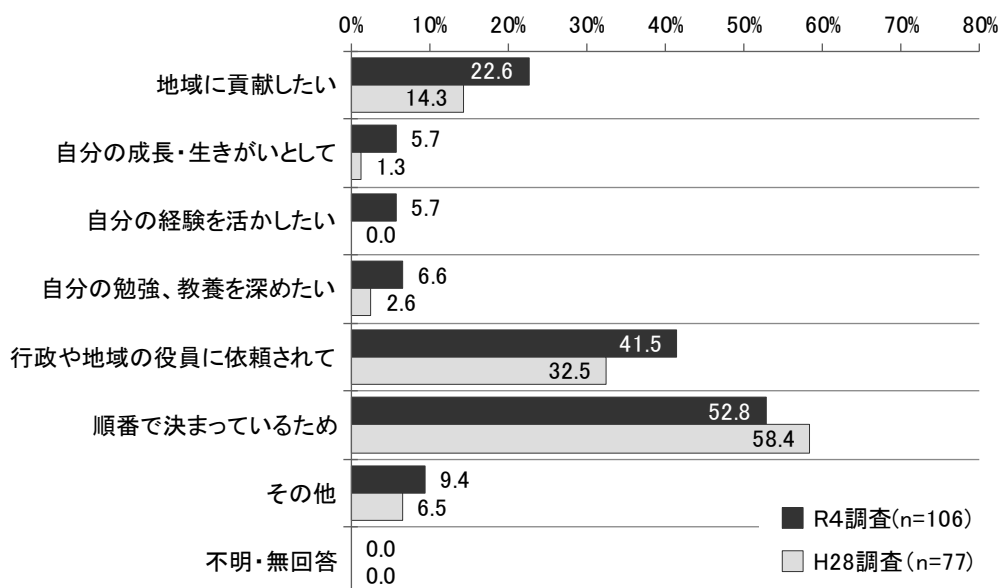
問5 ■民生委員・児童委員（主任児童委員）

立場別では、「行政や地域の役員に依頼されて」が73.9%と最も高く、次いで「地域に貢献したい」が56.3%となっています。H28調査と比較すると、「自分の勉強、教養を深めたい」が10.6ポイント低くなっています。



問5 ■区長・町総代（自治会代表者も含む）

立場別では、「順番で決まっているため」が52.8%と最も高く、次いで「行政や地域の役員に依頼されて」が41.5%となっています。H28調査と比較すると、「行政や地域の役員に依頼されて」が9.0ポイント、「地域に貢献したい」が8.3ポイント、それぞれ高くなっています。



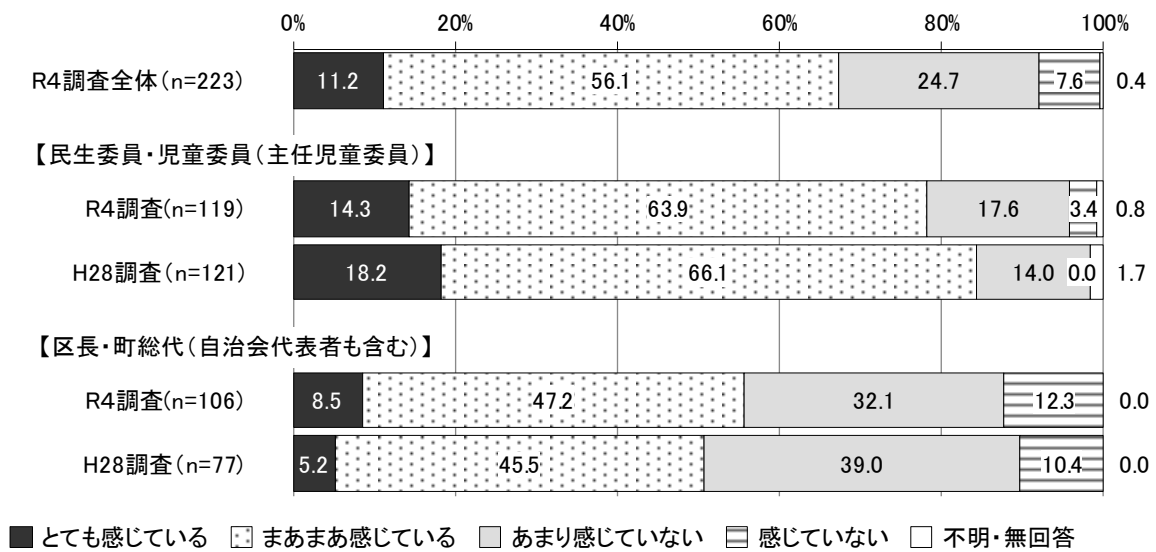
問6 あなたは活動にやりがいを感じていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『感じている』…「とても感じている」と「まあまあ感じている」を合算
- 『感じていない』…「あまり感じていない」と「感じていない」を合算

活動にやりがいを感じているかは、R4調査全体で『感じている』が67.3%、『感じていない』が32.3%となっています。

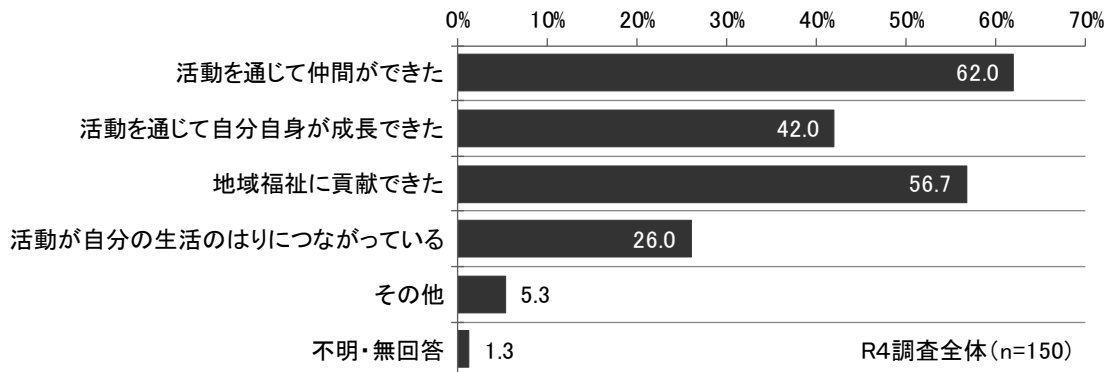
立場別では、R4調査全体で『感じている』が民生委員・児童委員（主任児童委員）で78.2%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で55.7%となっています。H28調査と比較すると、『感じている』が民生委員・児童委員（主任児童委員）で6.1ポイント低くなっており、区長・町総代（自治会代表者も含む）で5.0ポイント高くなっています。



問6で「1. とても感じている」または「2. まあまあ感じている」と回答した方のみ

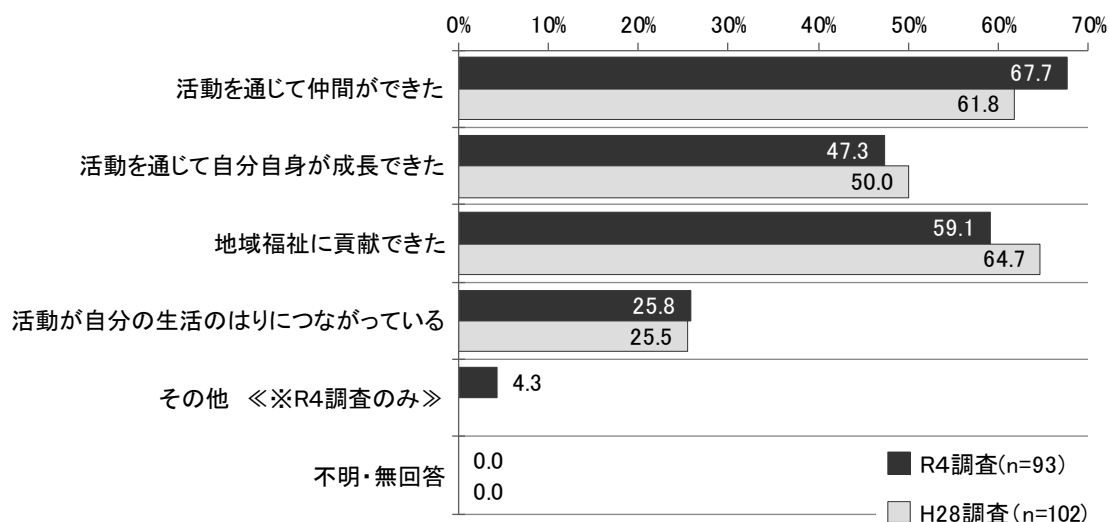
問6-1 どのようなことに活動のやりがいを感じていますか。(複数回答)

どのようなことに活動のやりがいを感じているかは、R4調査全体で「活動を通じて仲間ができた」が62.0%と最も高く、次いで「地域福祉に貢献できた」が56.7%となっています。



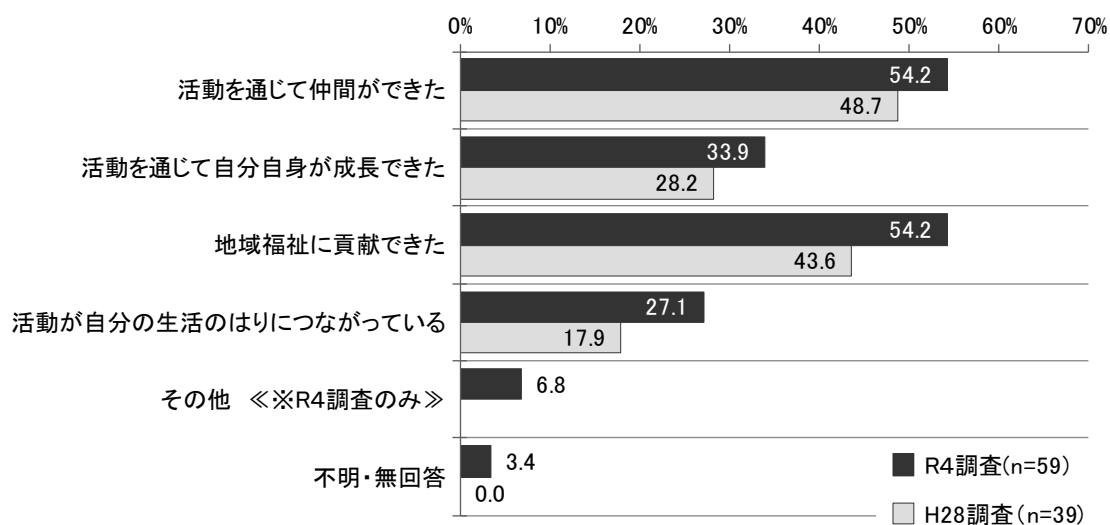
問6-1 ■民生委員・児童委員（主任児童委員）

立場別では、「活動を通じて仲間ができた」が67.7%と最も高く、次いで「地域福祉に貢献できた」が59.1%となっています。H28調査と比較すると、「活動を通じて仲間ができた」が5.9ポイント高くなっている一方で、「地域福祉に貢献できた」は5.6ポイント低くなっています。



問6-1 ■区長・町総代（自治会代表者も含む）

立場別では、「活動を通じて仲間ができた」「地域福祉に貢献できた」がそれぞれ54.2%と最も高く、次いで「活動を通じて自分自身が成長できた」が33.9%となっています。H28調査と比較すると、「その他」を除き、いずれの選択肢も割合を上回っています。特に「地域福祉に貢献できた」は10.6ポイント高くなっています。



問6で「3. あまり感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみ

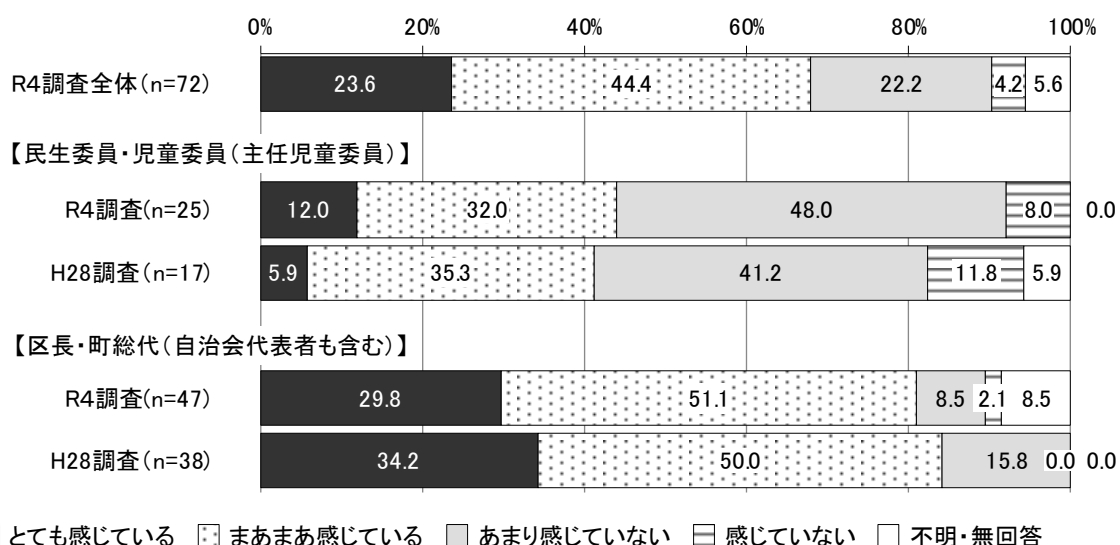
問6-2 あなたは活動に負担を感じていますか。(単数回答)

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

- 『感じている』…「とても感じている」と「まあまあ感じている」を合算
- 『感じていない』…「あまり感じていない」と「感じていない」を合算

活動に負担を感じているかは、R4調査全体で『感じている』が68.0%、『感じていない』が26.4%となっています。

立場別では、R4調査全体で『感じている』が民生委員・児童委員（主任児童委員）で44.0%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で80.9%となっています。H28調査と比較すると、『感じている』が民生委員・児童委員（主任児童委員）で2.8ポイント高く、区長・町総代（自治会代表者も含む）で3.3ポイント低くなっています。

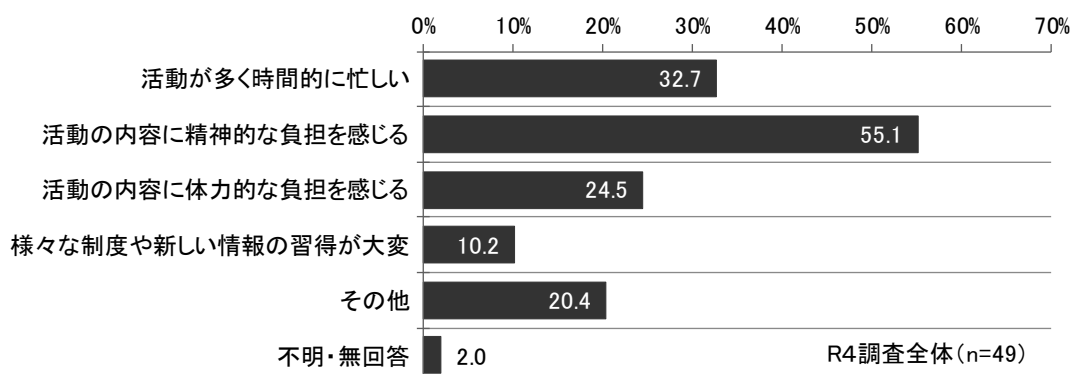


※H28調査の結果は全数による集計であったため、R4調査と同様、活動へのやりがい「あまり感じていない」「感じていない」方みの集計結果としました。

問6-2で「1. とても感じている」または「2. まあまあ感じている」と回答した方のみ

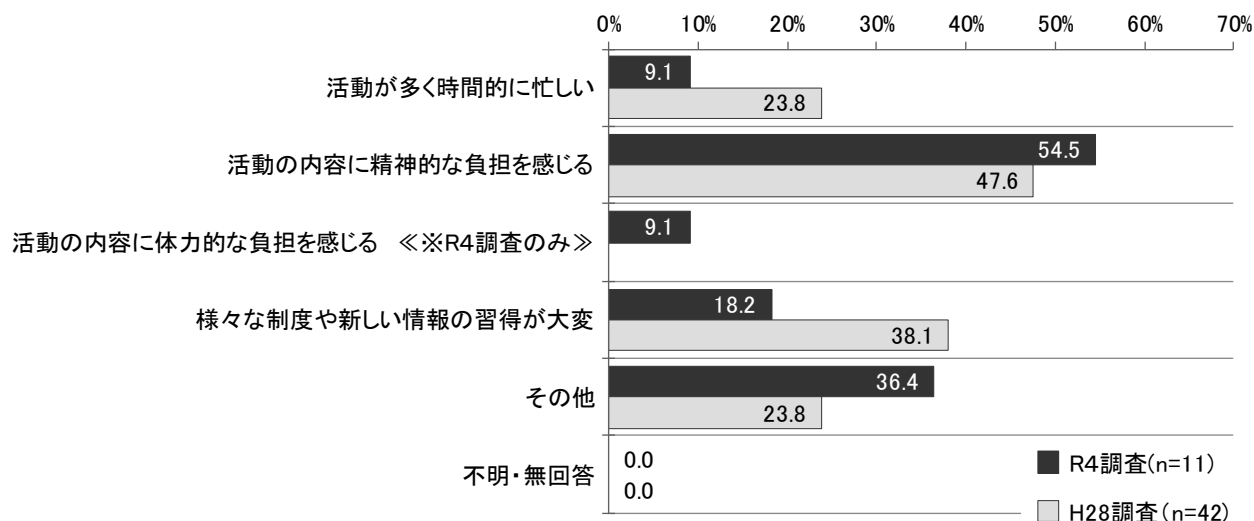
問6-3 どのようなことに活動の負担を感じていますか。(複数回答)

活動の負担を感じている内容は、R4調査全体で「活動の内容に精神的な負担を感じる」が55.1%と最も高く、次いで「活動が多く時間的に忙しい」が32.7%となっています。



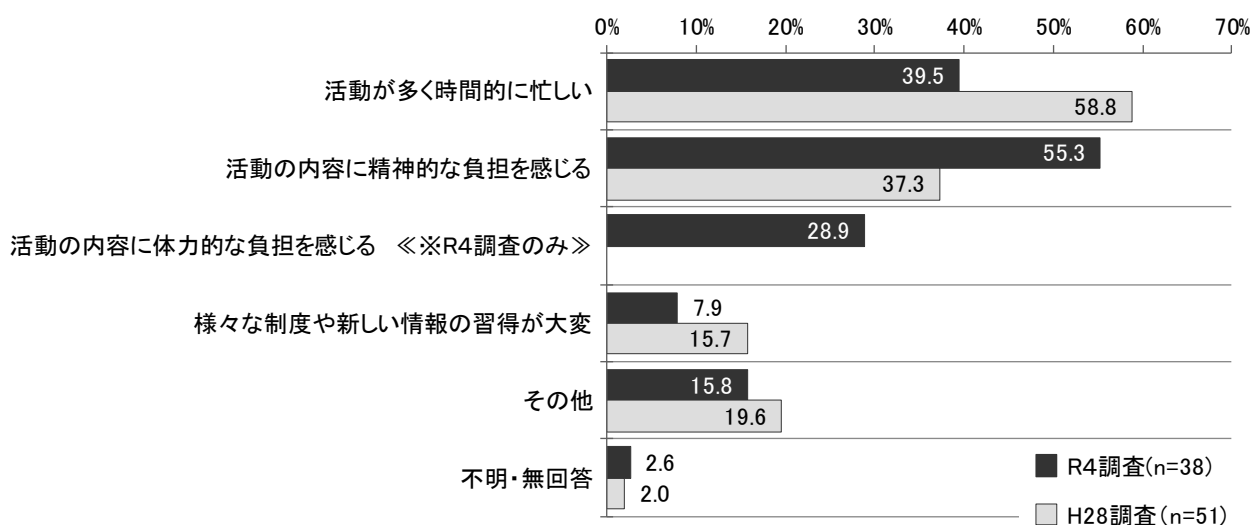
問6-3 ■民生委員・児童委員（主任児童委員）

立場別では、「活動の内容に精神的な負担を感じる」が54.5%と最も高く、次いで「その他」が36.4%となっています。H28調査と比較すると、「活動が多く時間的に忙しい」「様々な制度や新しい情報の習得が大変」はいずれも10ポイント以上低くなっています。



問6-3 ■区長・町総代（自治会代表者も含む）

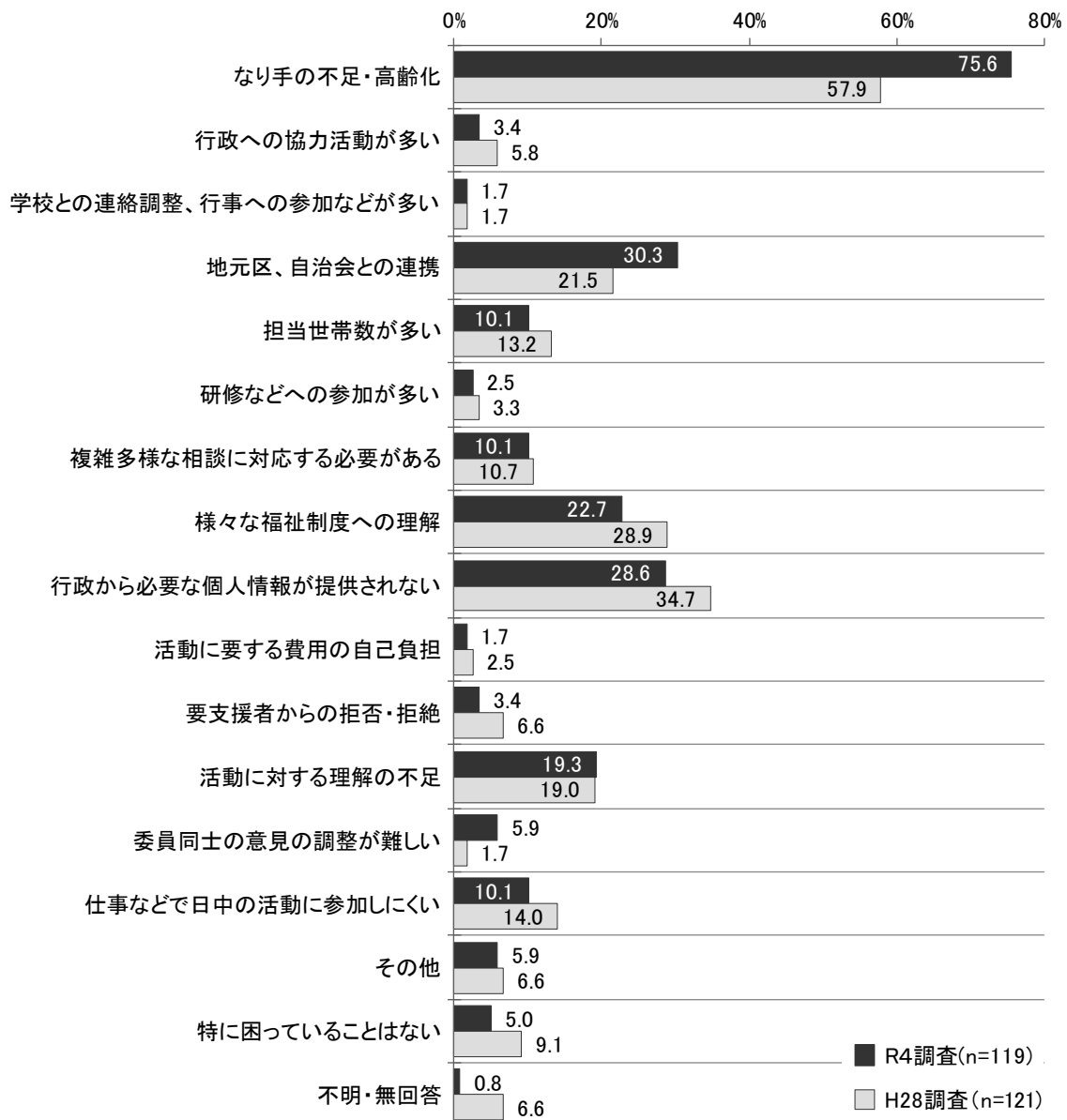
立場別では、「活動の内容に精神的な負担を感じる」が55.3%と最も高く、次いで「活動が多く時間的に忙しい」が39.5%となっています。H28調査と比較すると、「活動が多く時間的に忙しい」が19.3ポイント低くなっている一方で、「活動の内容に精神的な負担を感じる」が18.0ポイント高くなっています。



問7 現在の活動上の課題としてどのようなことがありますか。(複数回答)

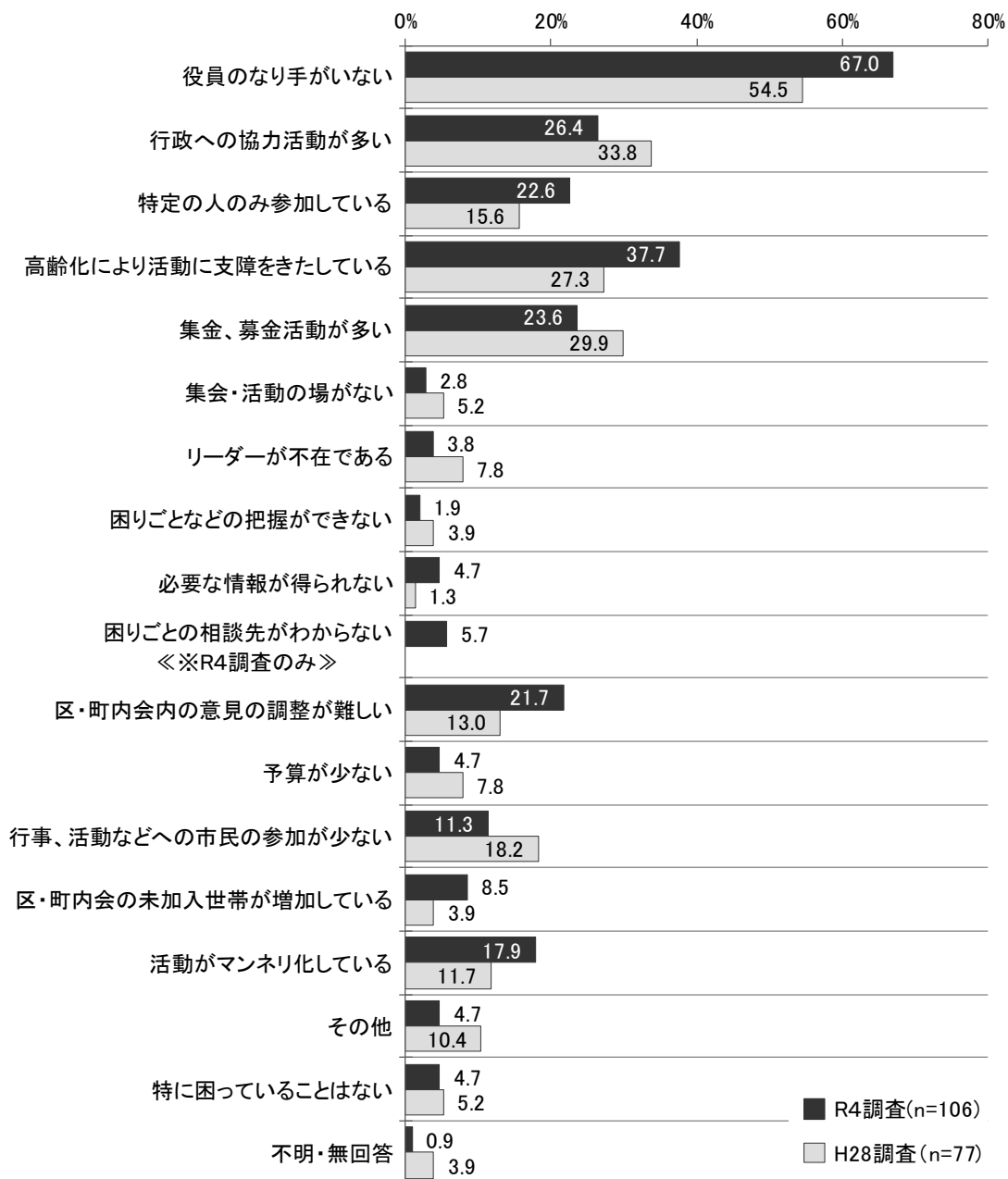
問7① 民生委員・児童委員（主任児童委員）

現在の活動上の課題は、R4調査全体で「なり手の不足・高齢化」が75.6%と最も高く、次いで「地元区、自治会との連携」が30.3%となっています。H28調査と比較すると、「なり手の不足・高齢化」が17.7ポイント、「地元区、自治会との連携」が8.8ポイント、それぞれ高くなっています。



問7② 区長・町総代（自治会代表者も含む）

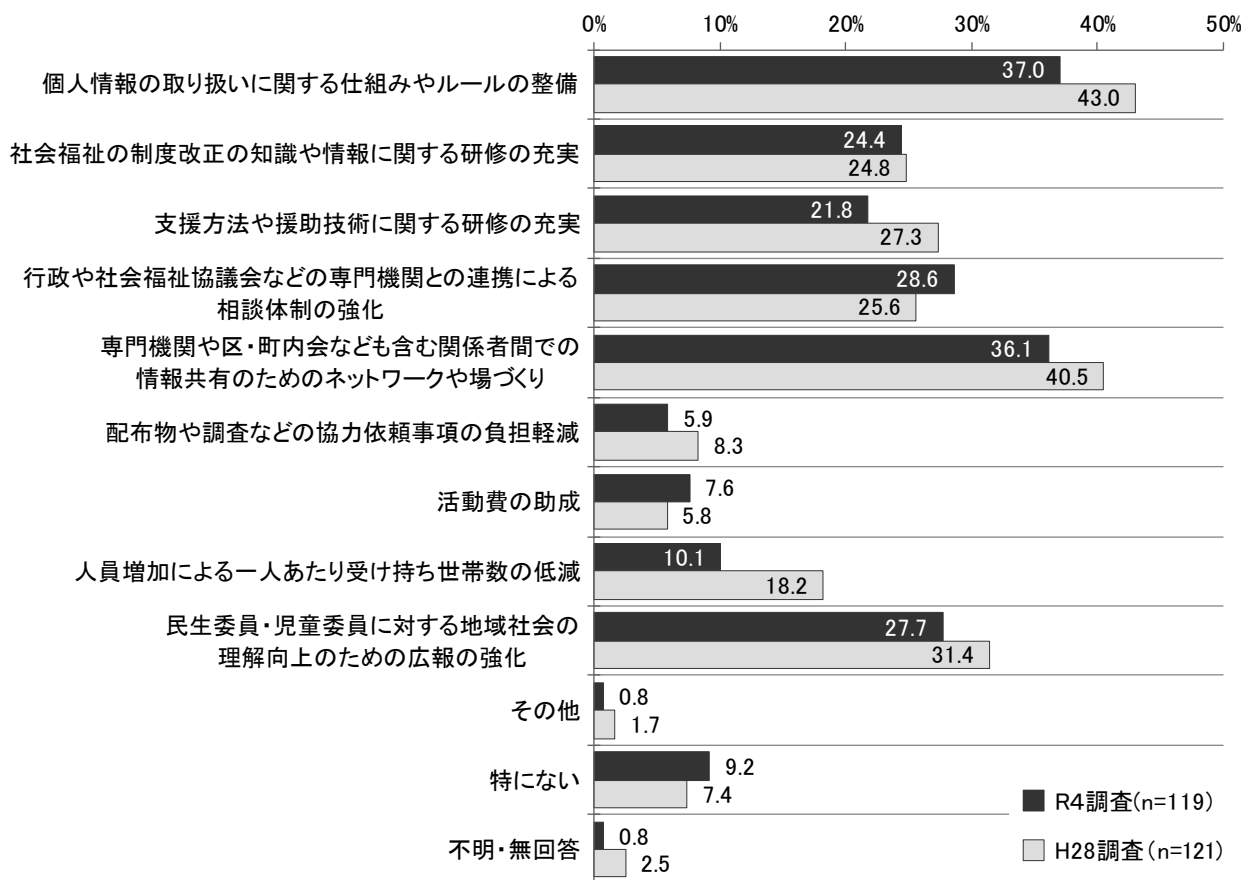
現在の活動上の課題は、R4調査全体で「役員のなり手がいない」が67.0%と最も高く、次いで「高齢化により活動に支障をきたしている」が37.7%となっています。H28調査と比較すると、役員のなり手がいない」が12.5ポイント、「高齢化により活動に支障をきたしている」が10.4ポイント、それぞれ高くなっています。



問8 今後活動を続けていくうえで行政や社会福祉協議会にお願いしたいことや取り組んでほしいことがあれば教えてください。(複数回答)

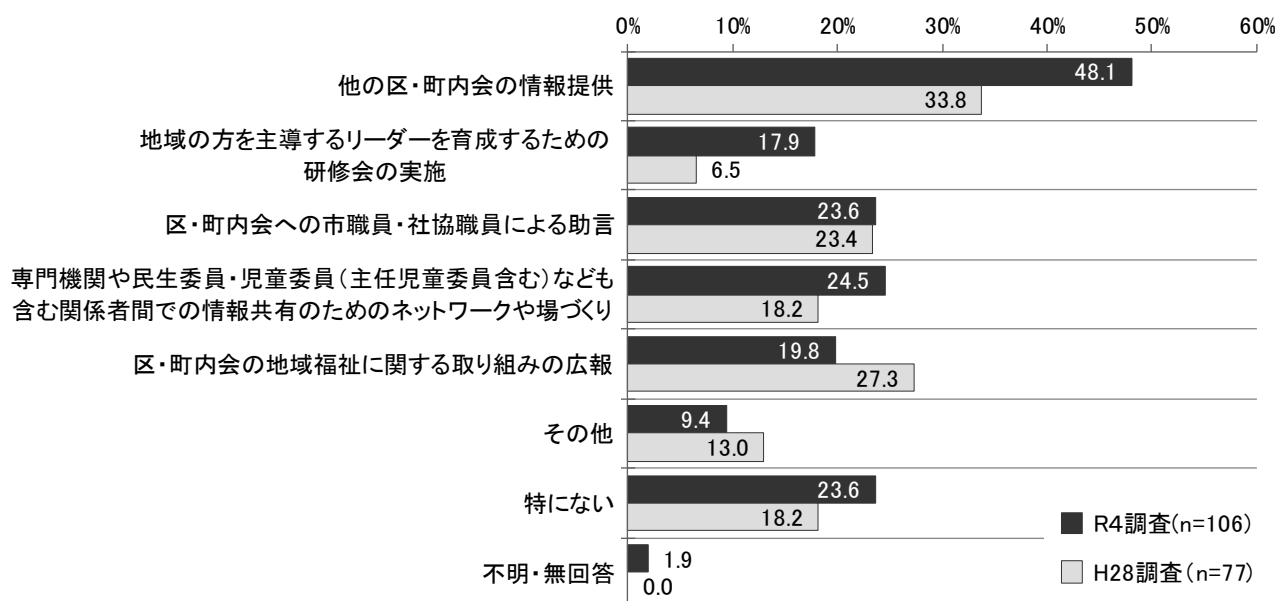
問8① 民生委員・児童委員（主任児童委員）

今後活動を続けていくうえで行政や社会福祉協議会にお願いしたいことや取り組んでほしいことは、R4調査全体で「個人情報の取り扱いに関する仕組みやルールの整備」が37.0%と最も高く、次いで「専門機関や区・町内会なども含む関係者間での情報共有のためのネットワークや場づくり」が36.1%となっています。H28調査と比較すると、「人員増加による一人あたり受け持ち世帯数の低減」が8.1ポイント低くなっています。



問8② 区長・町総代（自治会代表者も含む）

今後活動を続けていくうえで行政や社会福祉協議会にお願いしたいことや取り組んでほしいことは、R4 調査全体で「他の区・町内会の情報提供」が 48.1%と最も高く、次いで「専門機関や民生委員・児童委員（主任児童委員含む）なども含む関係者間での情報共有のためのネットワークや場づくり」が 24.5%となっています。H28 調査と比較すると、「他の区・町内会の情報提供」が 14.3 ポイント、「地域の方を主導するリーダーを育成するための研修会の実施」が 11.4 ポイント、それぞれ高くなっています。

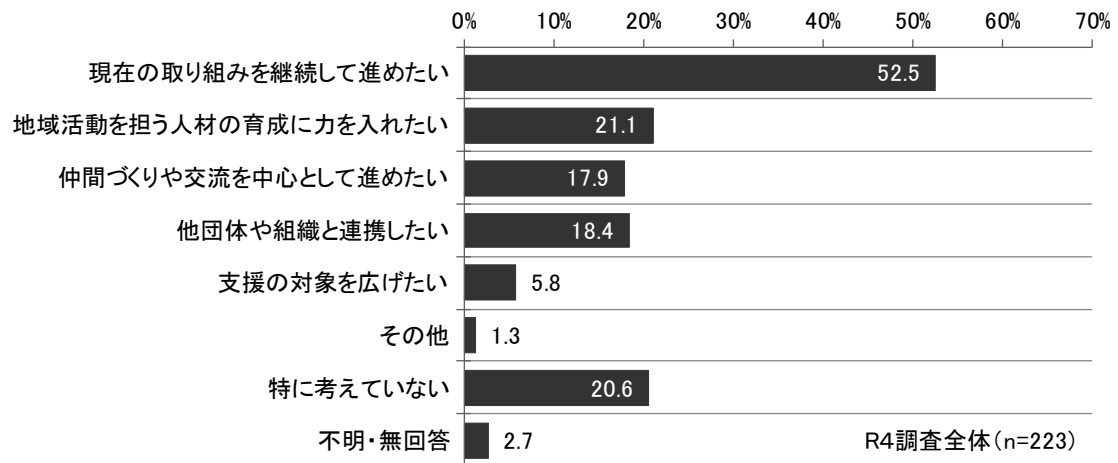


※H28 調査には、選択肢「活動費の助成」(39.0%)がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

※R4 調査の選択肢「地域の方を主導するリーダーを育成するための研修会の実施」は、H28 調査では「リーダー研修会の実施」、R4 調査の選択肢「区・町内会への市職員・社協職員による助言」は、H28 調査では「区・町内会への市職員の参加・協力」、R4 調査の選択肢「区・町内会の地域福祉に関する取り組みの広報」は、H28 調査では「区・町内会活動に対する地域社会の理解向上のための広報の強化」でした。

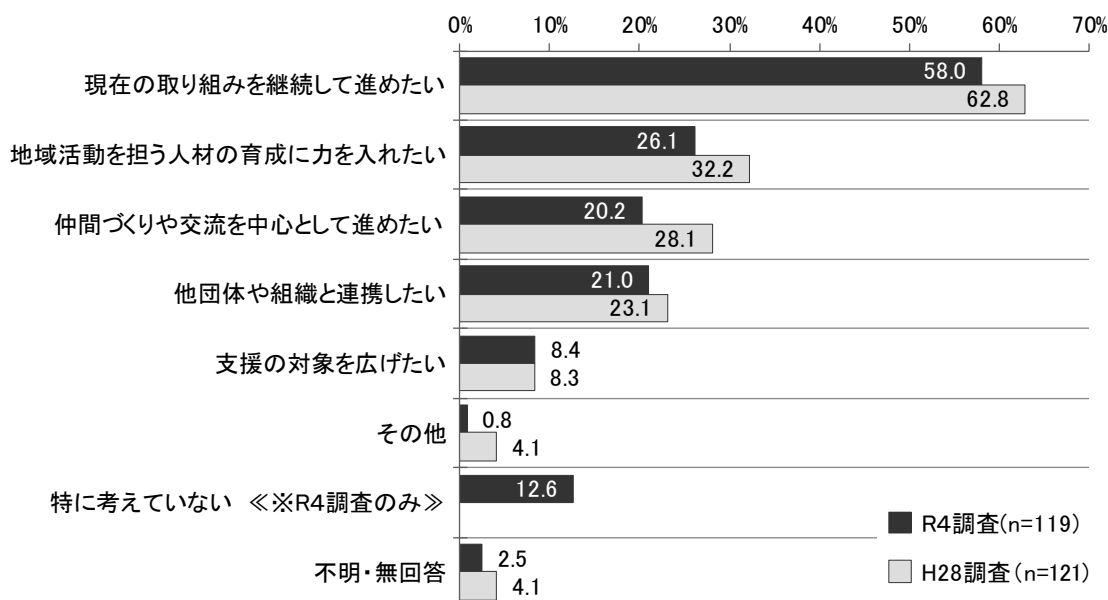
問9 今後の地域活動はどのように進めていきたいと考えていますか。(複数回答)

今後の地域活動はどのように進めていきたいと考えているかは、R4調査全体で「現在の取り組みを継続して進めたい」が52.5%と最も高く、次いで「地域活動を担う人材の育成に力を入れたい」が21.1%となっています。



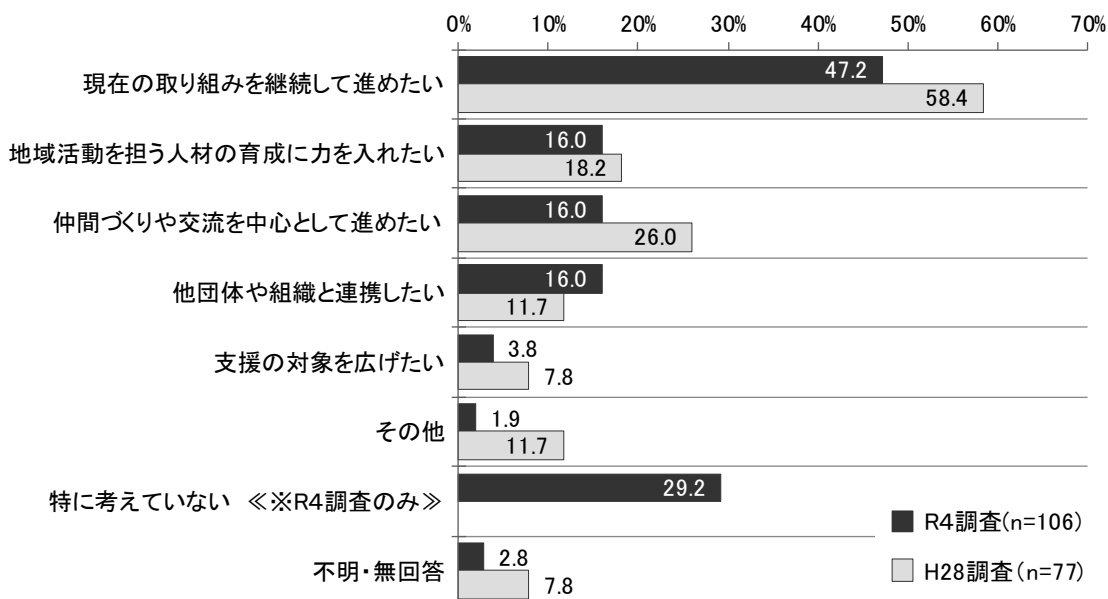
問9 ■民生委員・児童委員（主任児童委員）

立場別では、「現在の取り組みを継続して進めたい」が58.0%と最も高く、次いで「地域活動を担う人材の育成に力を入れたい」が26.1%となっています。H28調査と比較すると、「仲間づくりや交流を中心として進めたい」が7.9ポイント低くなっています。



問9 ■区長・町総代（自治会代表者も含む）

立場別では、「現在の取り組みを継続して進めたい」が47.2%と最も高く、次いで「特に考えていない」が29.2%となっています。H28調査と比較すると、「現在の取り組みを継続して進めたい」が11.2ポイント、「仲間づくりや交流を中心として進めたい」が10.0ポイント、それぞれ低くなっています。

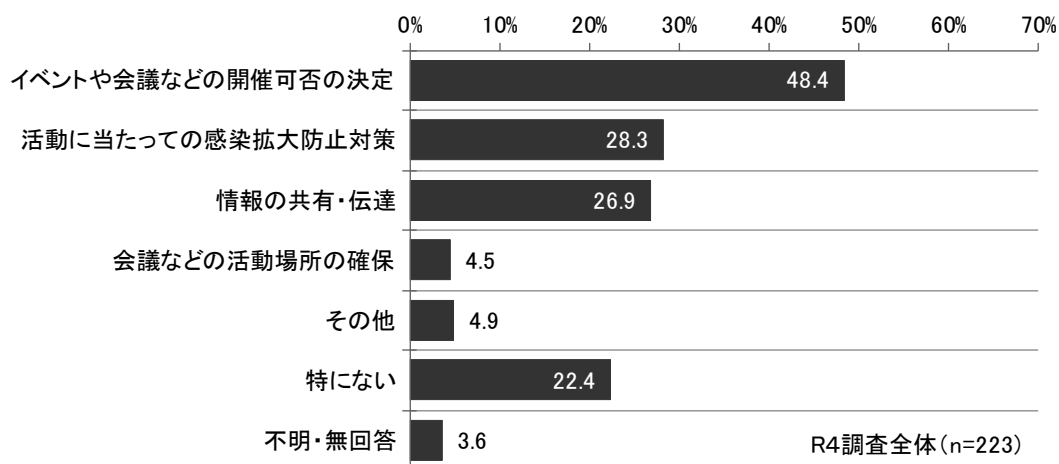


問10 その他、今後の活動について具体的なお考えがあればお聞かせください。(自由記述)

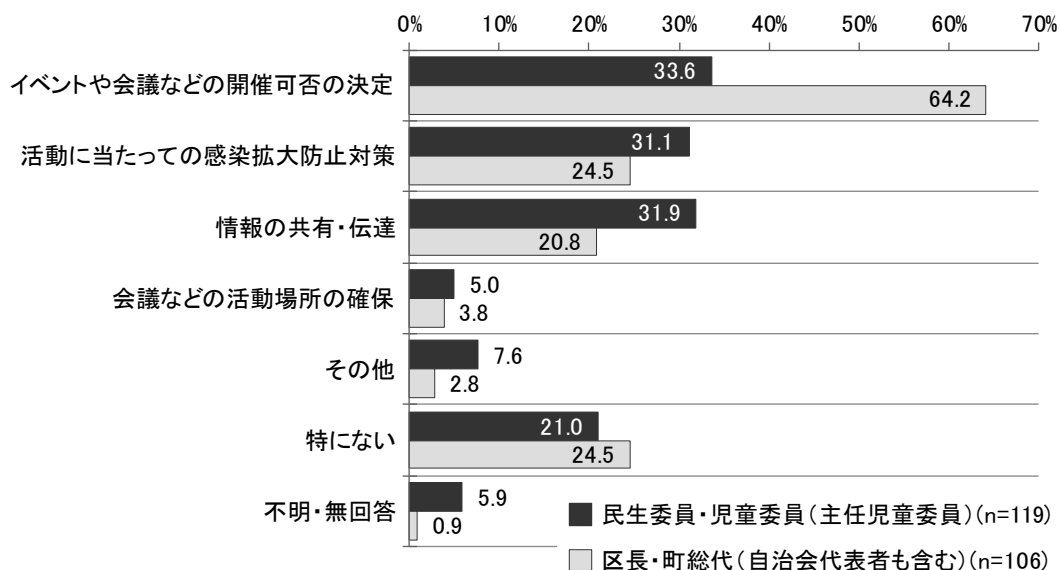
(省略)

問11 コロナ禍での活動について困りごとはありますか。(複数回答)

コロナ禍での活動についての困りごとは、R4調査全体で「イベントや会議などの開催可否の決定」が48.4%と最も高く、次いで「活動に当たっての感染拡大防止対策」が28.3%となっています。



立場別では、いずれも「イベントや会議などの開催可否の決定」が最も高く、民生委員・児童委員（主任児童委員）で33.6%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で64.2%となっています。なお、民生委員・児童委員（主任児童委員）において、「情報の共有・伝達」「活動に当たっての感染拡大防止対策」が、それぞれ3割を超えて高くなっています。



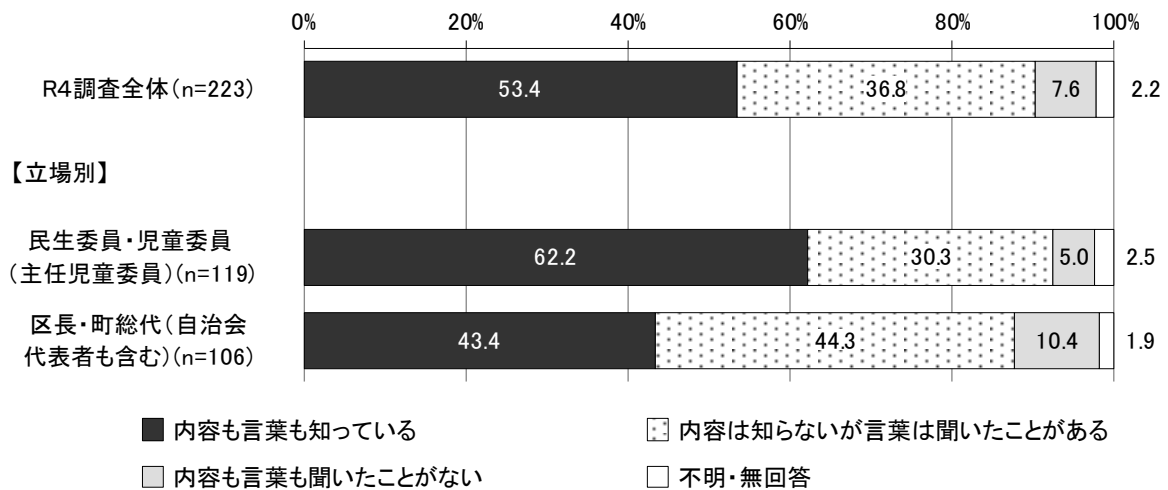
問 12 新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、新たに取り組んでいることがあれば、ご自由にお書きください。(自由記述)

(省略)

問 13 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(単数回答)

成年後見制度の認知度は、R4 調査全体で「内容も言葉も知っている」が 53.4%、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が 36.8%、「内容も言葉も聞いたことがない」が 7.6%となっています。

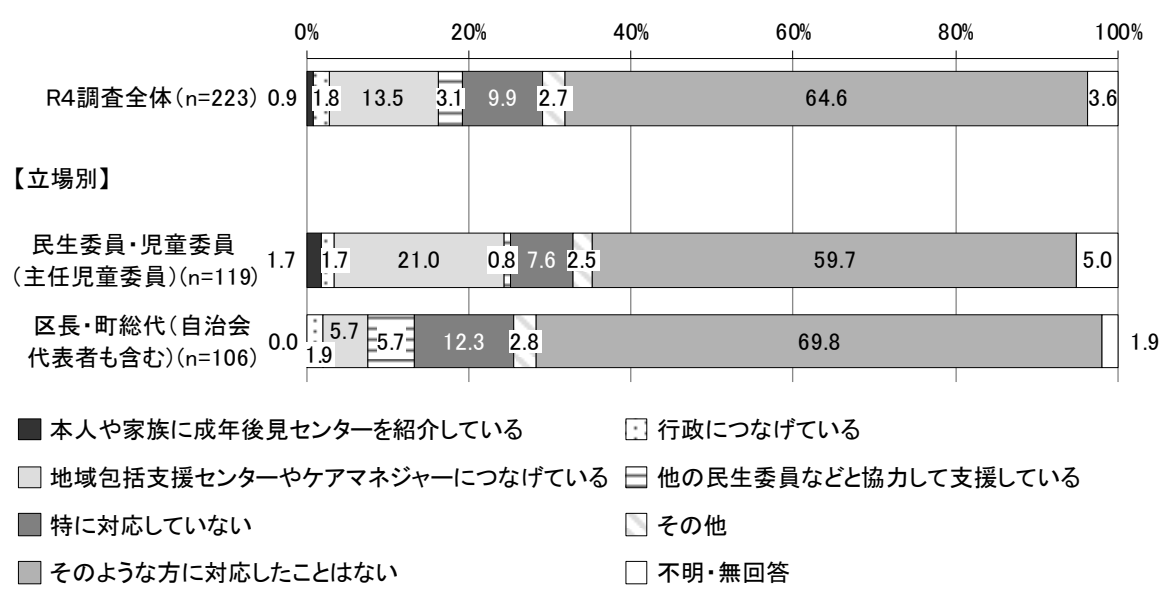
立場別では、民生委員・児童委員（主任児童委員）で「内容も言葉も知っている」が 62.2%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」が 44.3%と、それぞれ最も高くなっています。



**問 14 活動をしている中で、認知症などで成年後見制度の利用が必要な方に対して、どのような対応を取ったことがありますか。もっとも近いものをお答えください。
(単数回答)**

活動をしている中で、認知症などで成年後見制度の利用が必要な方に対して、どのような対応を取ったことがあるかは、R4調査全体で「そのような方に対応したことはない」が64.6%と最も高く、次いで「地域包括支援センターやケアマネジャーにつなげている」が13.5%となっています。

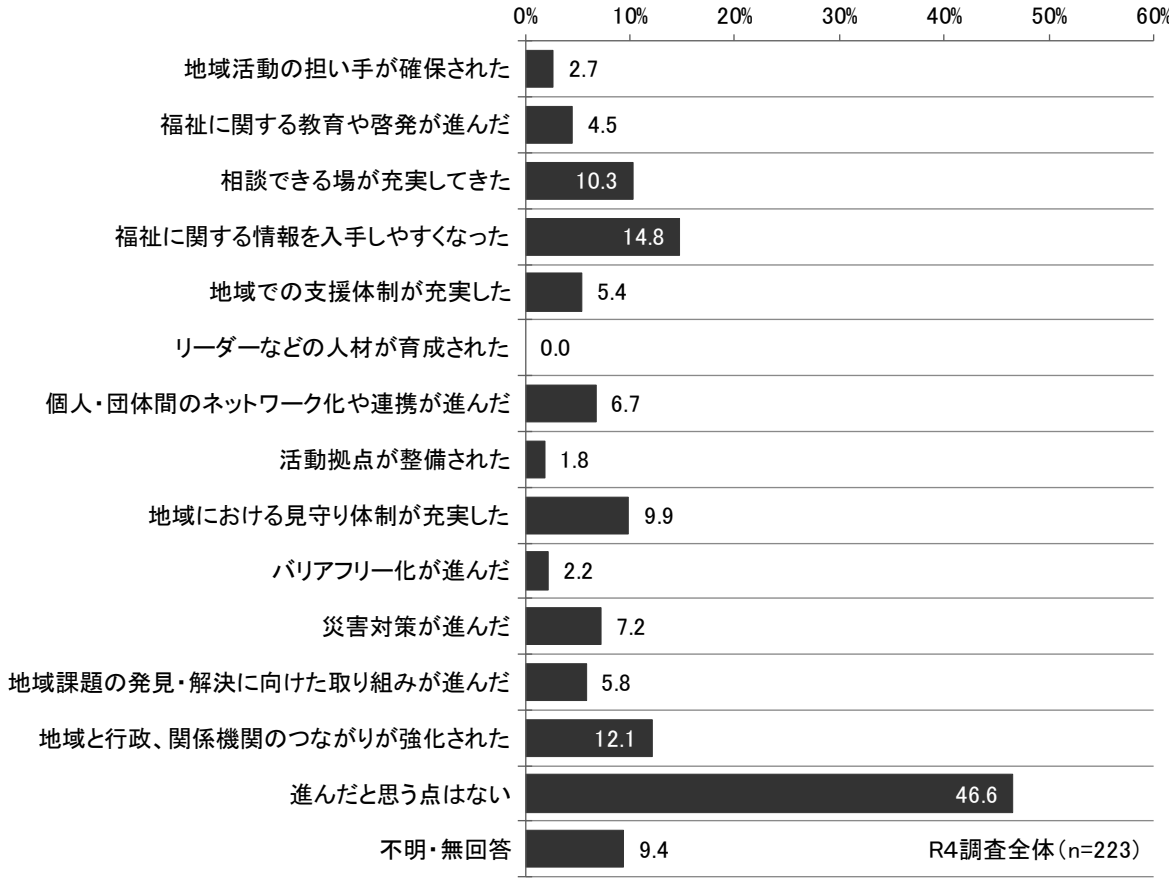
立場別では、いずれも「そのような方に対応したことはない」が約6～7割と最も高くなっています。なお、必要な方への対応としては、民生委員・児童委員（主任児童委員）で「地域包括支援センターやケアマネジャーにつなげている」が21.0%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で「特に対応していない」が12.3%となっています。



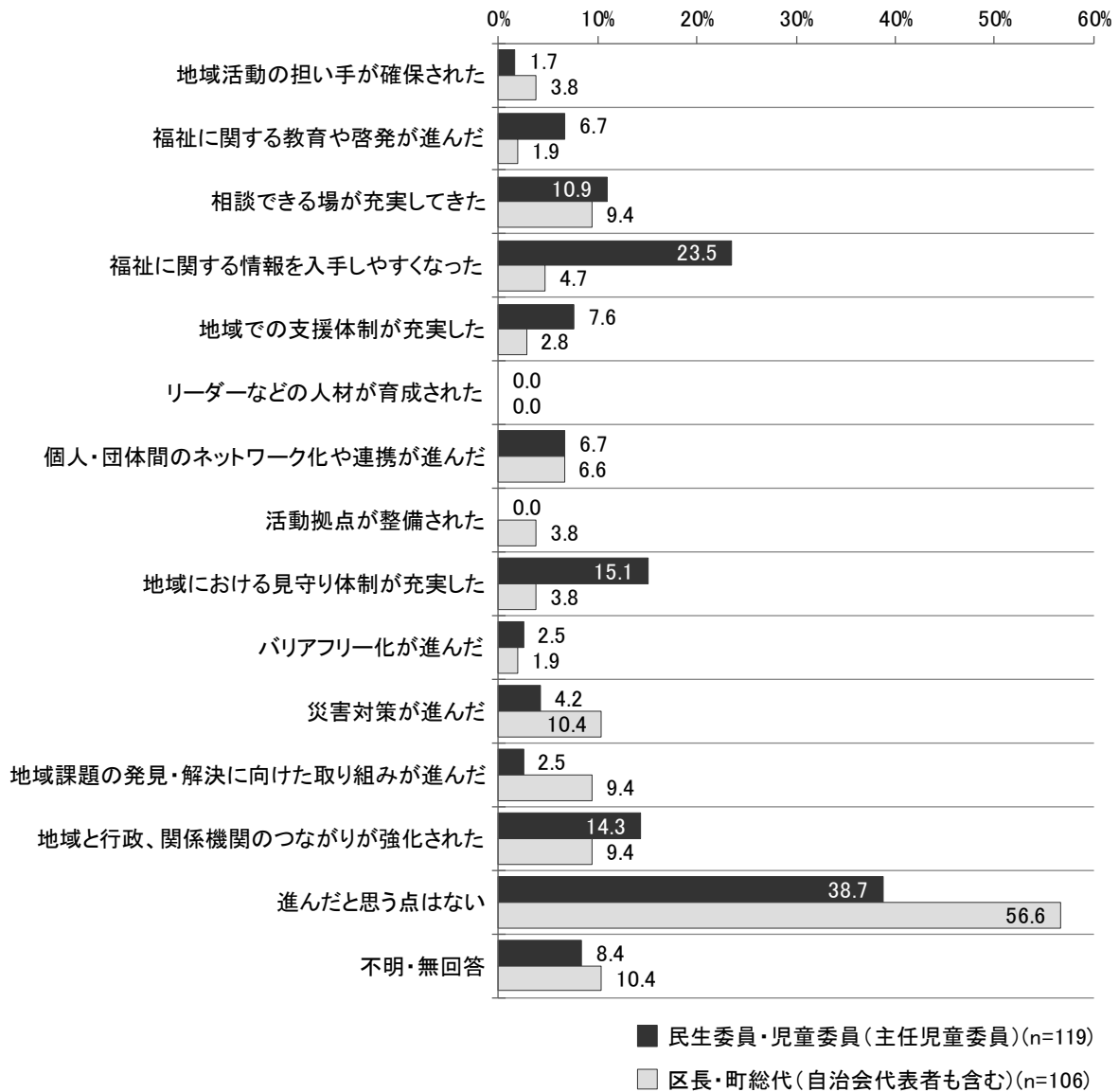
3 地域の付き合い、関わり方について

問 15 日ごろ活動されている地域において、具体的に成果をあげたと思う、市または地域の取り組みがあれば教えてください。(複数回答)

日ごろ活動している地域において、具体的に成果をあげたと思う、市または地域の取り組みは、R4調査全体で「進んだと思う点はない」が46.6%と最も高く、次いで「福祉に関する情報を入手しやすくなった」が14.8%となっています。



立場別では、いずれも「進んだと思う点はない」が最も高く、民生委員・児童委員（主任児童委員）で38.7%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で56.6%となっています。なお、具体的な成果を上げたと思う取り組みは、民生委員・児童委員（主任児童委員）で「福祉に関する情報を入手しやすくなった」が23.5%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で「災害対策が進んだ」が10.4%と、それぞれ高くなっています。

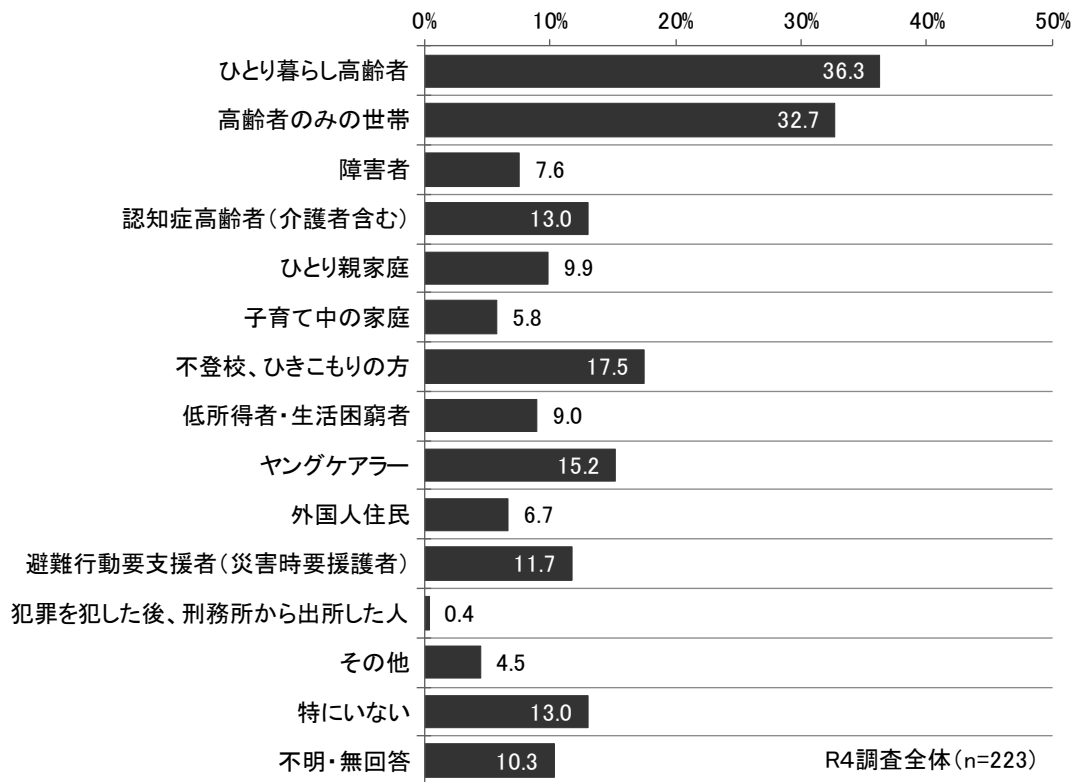


問 15-1 問 15 で回答した項目について、具体的に成果をあげたと思う、市や地域の取り組みがあれば教えてください。(自由記述)

(省略)

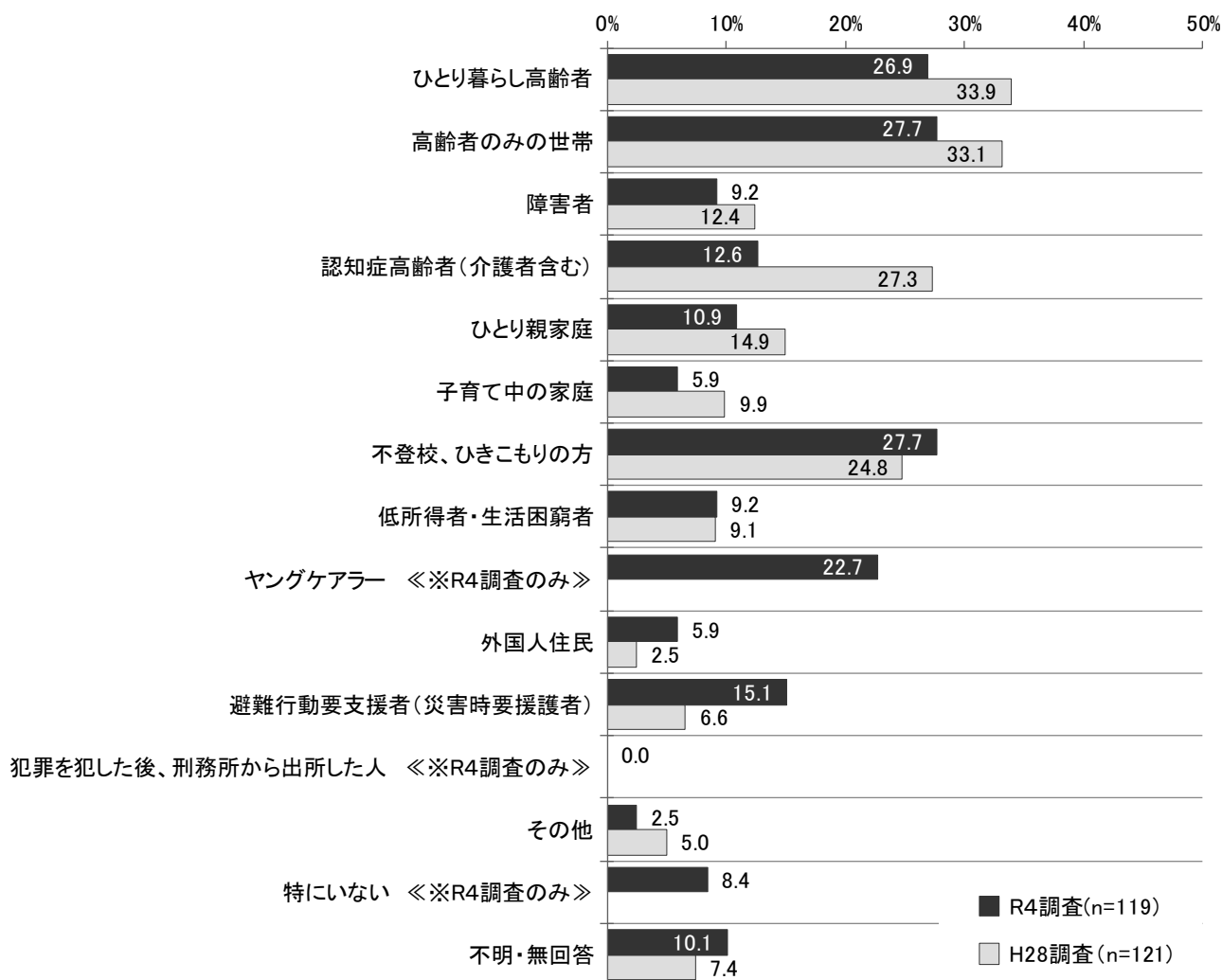
問 16 行政サービスや地域活動において支援しきれていないと思う対象は誰ですか。
(複数回答)

行政サービスや地域活動において支援しきれていないと思う対象は、R4調査全体で「ひとり暮らし高齢者」が36.3%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が32.7%となっています。



問 16 ■ 民生委員・児童委員（主任児童委員）

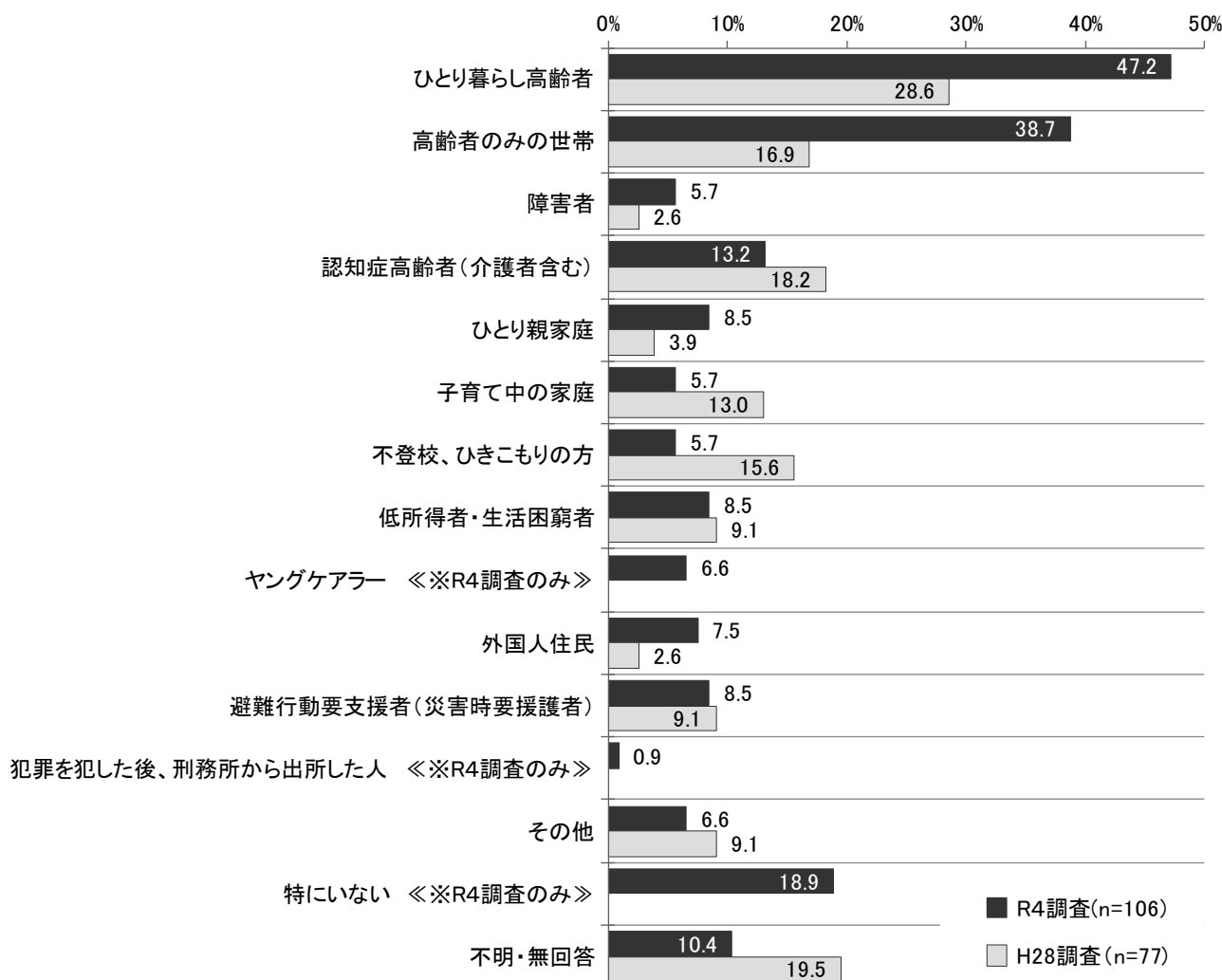
立場別では、「高齢者のみの世帯」「不登校、ひきこもりの方」が、それぞれ27.7%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者」が26.9%となっています。H28調査と比較すると、「認知症高齢者（介護者含む）」が14.7ポイント低くなっています。



※H28調査には、選択肢「高齢者や障害者を介護している人」（全体で34.3%、民生委員・児童委員（主任児童委員）で34.7%）がありましたが、R4調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

問 16 ■ 区長・町総代（自治会代表者も含む）

立場別では、「ひとり暮らし高齢者」が 47.2% と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が 38.7% となっています。H28 調査と比較すると、「高齢者のみの世帯」が 21.8 ポイント、「ひとり暮らし高齢者」が 18.6 ポイント、それぞれ高くなっています。



※H28 調査には、選択肢「高齢者や障害者を介護している人」（全体で 34.3%、区長・町総代（自治会代表者も含む）で 35.1%）がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

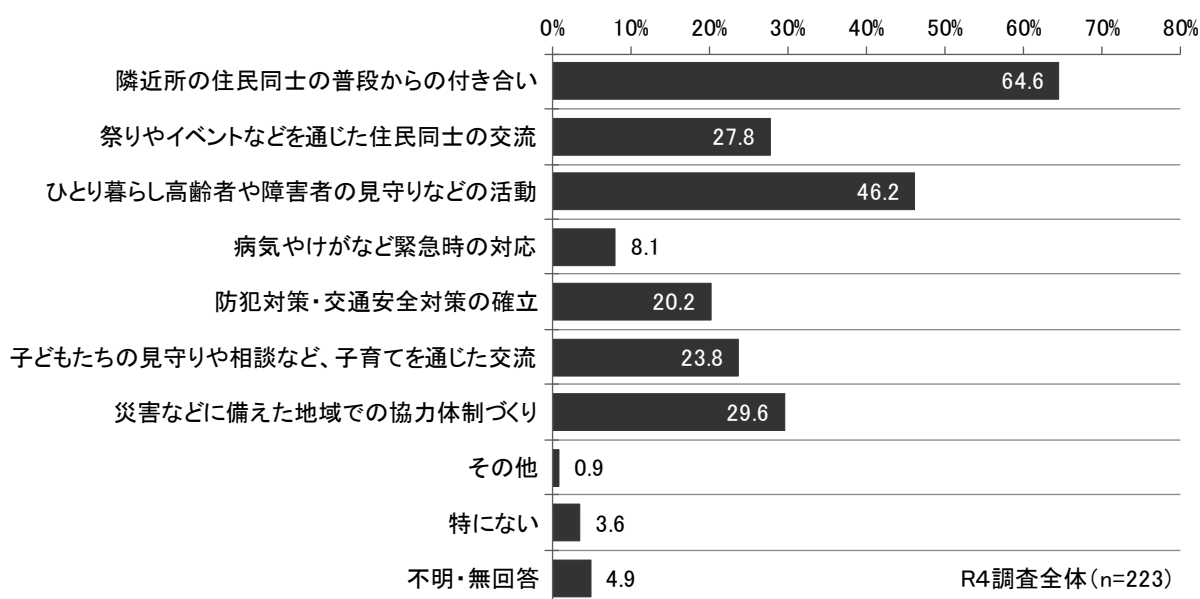
問 16-1 問 16 で回答した対象に、地域活動でできることやそのために必要な支援・協力についてアイデアがあればご記入ください。（自由記述）

（省略）

問 17 助け合い、支え合いのまちづくりのために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

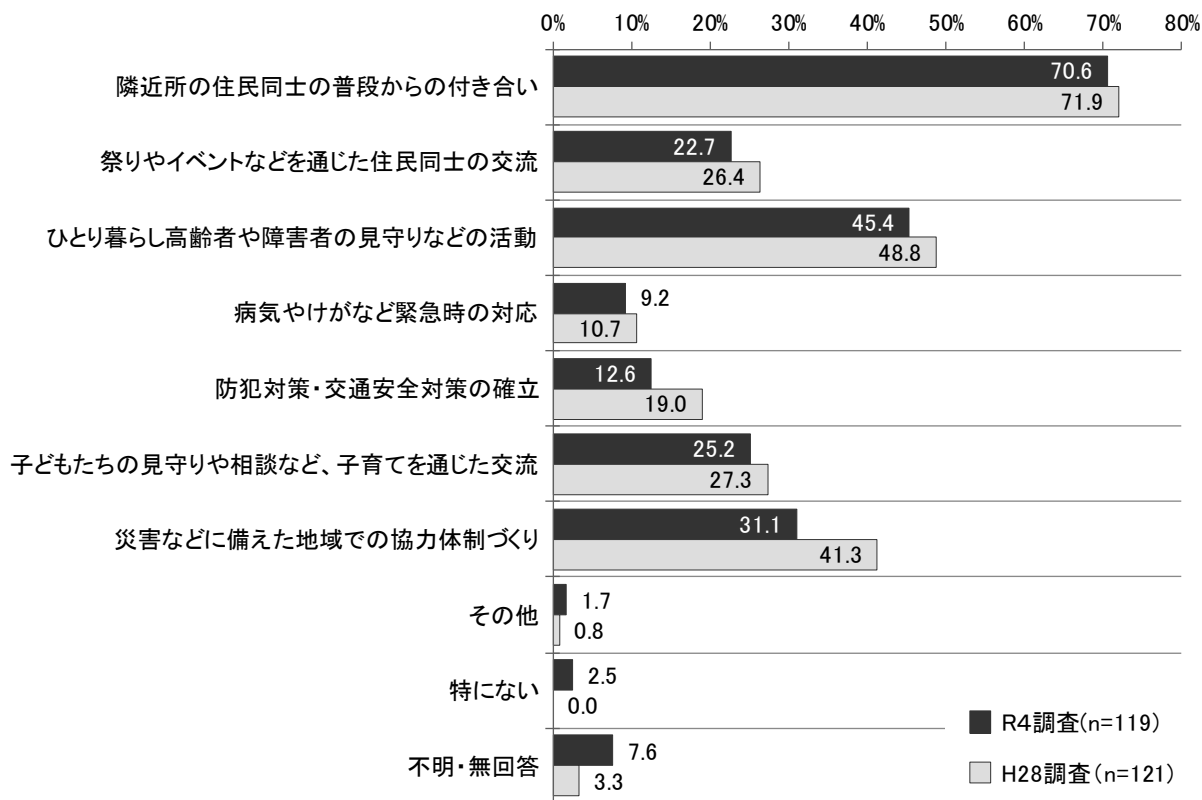
問 17① 地域として（複数回答）

助け合い、支え合いのまちづくりのために、地域として今後どのようなことに力を入れていくべきだと思うかは、R4 調査全体で「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が 64.6%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が 46.2%となっています。



問 17① ■ 民生委員・児童委員（主任児童委員）

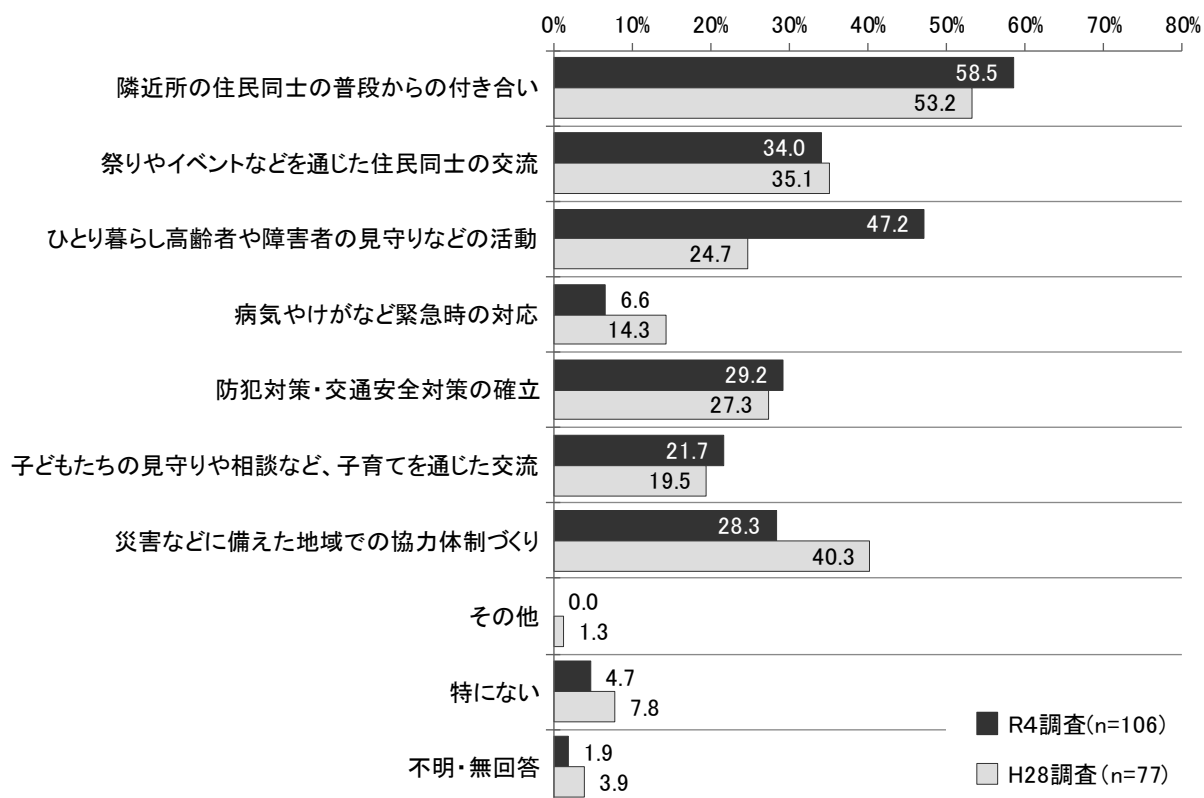
立場別では、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が 70.6%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が 45.4%となっています。H28 調査と比較すると、「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が 10.2 ポイント低くなっています。



※R4 調査の選択肢「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」は、H28 調査では「ひとり暮らし高齢者の見守りなどの活動」でした。

問 17① ■ 区長・町総代（自治会代表者も含む）

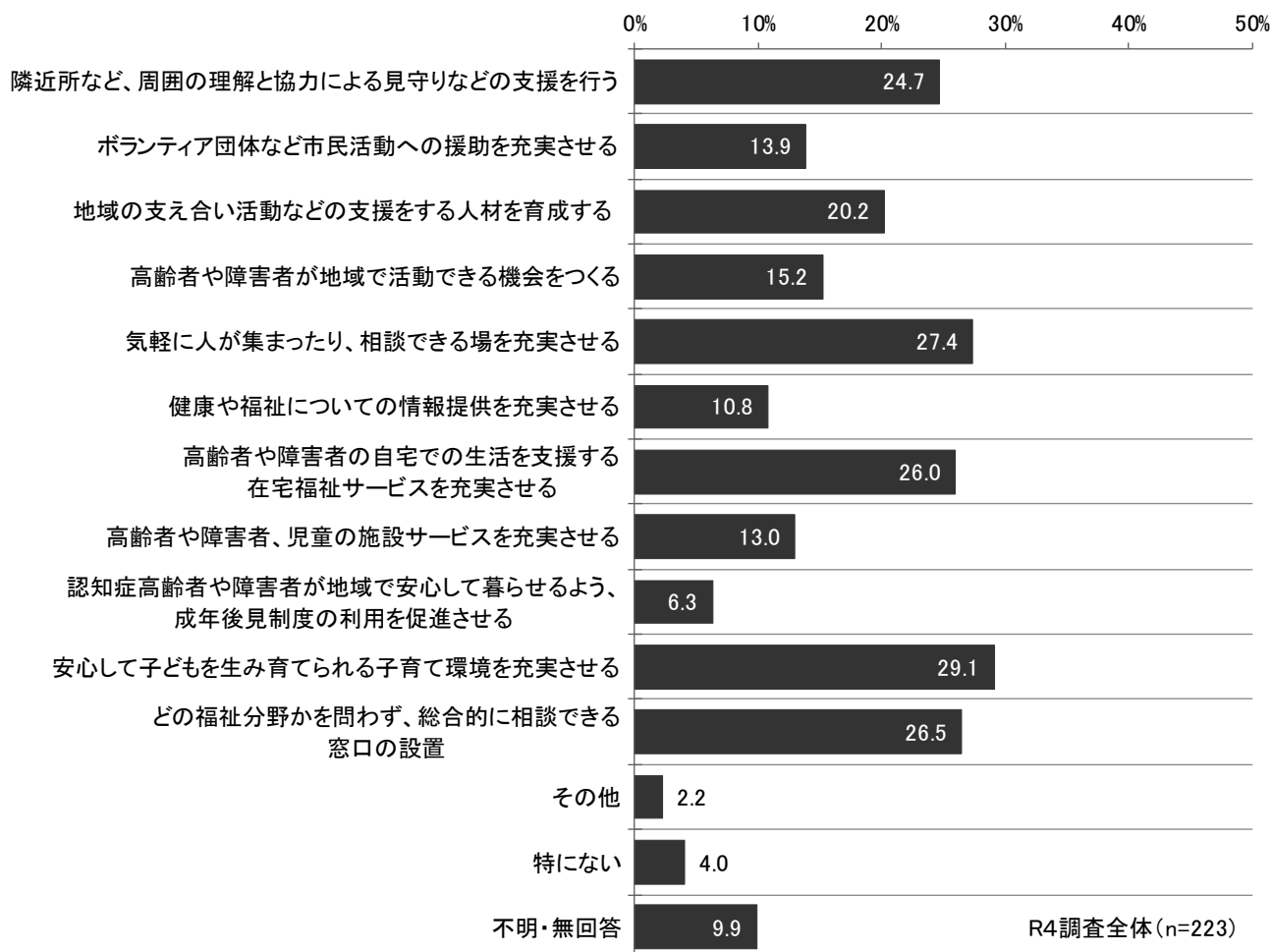
立場別では、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が 58.5%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が 47.2%となっています。H28 調査と比較すると、「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」が 22.5 ポイント高くなっています。一方、「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が 12.0 ポイント低くなっています。



※R4 調査の選択肢「ひとり暮らし高齢者や障害者の見守りなどの活動」は、H28 調査では「ひとり暮らし高齢者の見守りなどの活動」でした。

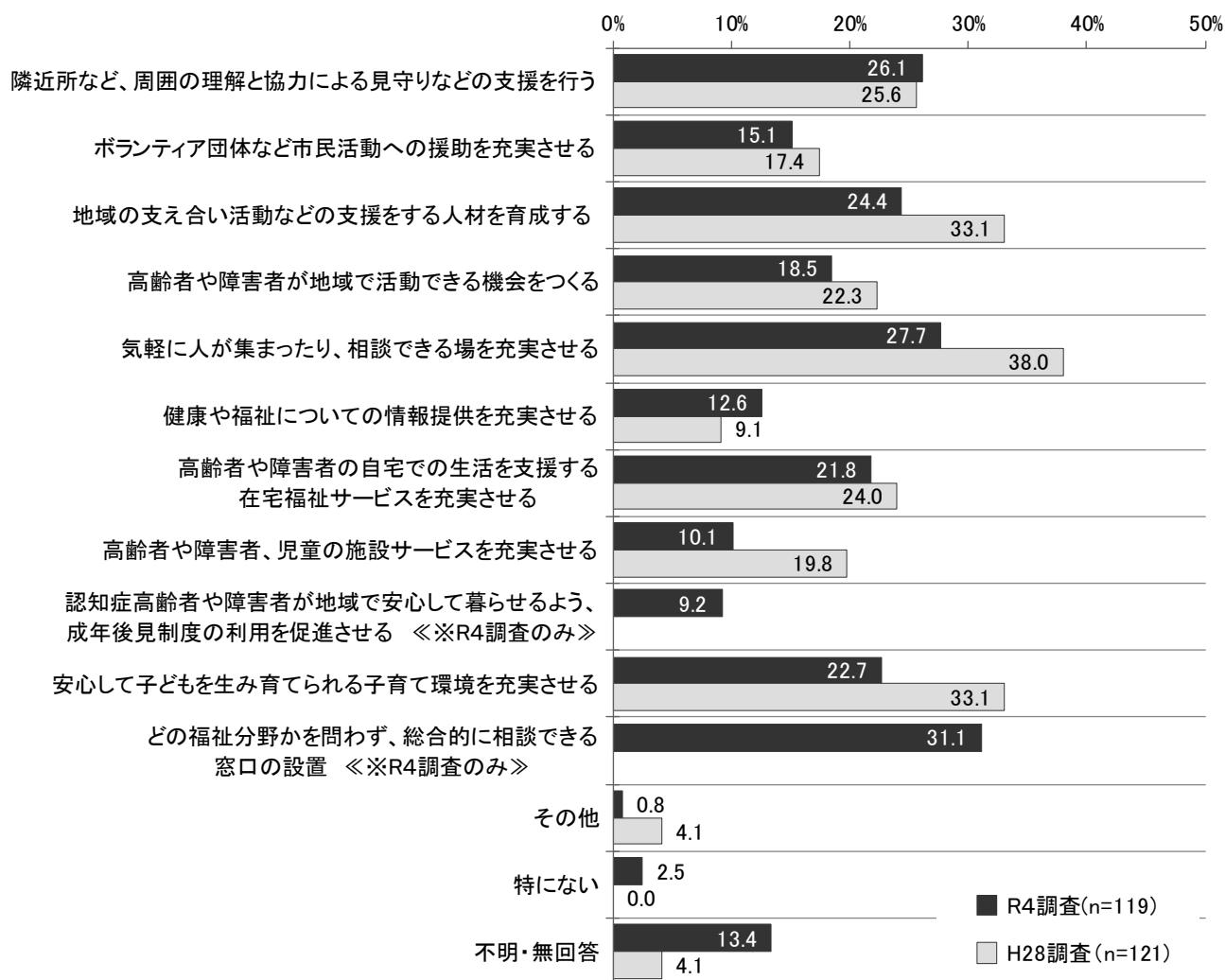
問 17② 行政として（複数回答）

助け合い、支え合いのまちづくりのために、行政として今後どのようなことに力を入れていくべきだと思うかは、R4 調査全体で「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」が 29.1%と最も高く、次いで「気軽に人が集まったり、相談できる場を充実させる」が 27.4%となっています。



問 17② ■ 民生委員・児童委員（主任児童委員）

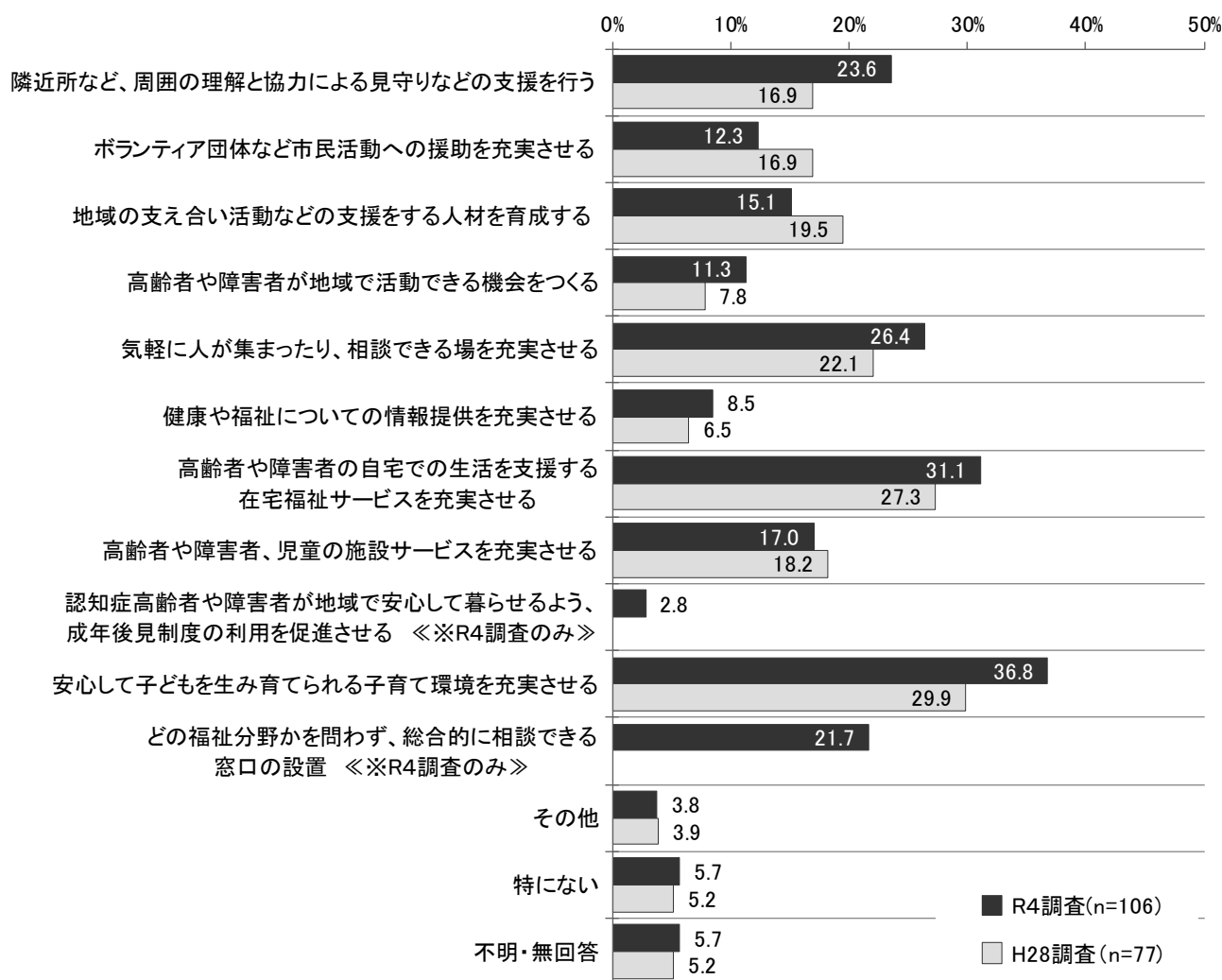
立場別では、「どの福祉分野かを問わず、総合的に相談できる窓口の設置」が 31.1%と最も高く、次いで「気軽に人が集まったり、相談できる場を充実させる」が 27.7%となっています。H28 調査と比較すると、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 10.4 ポイント、「気軽に人が集まったり、相談できる場を充実させる」が 10.3 ポイント、それぞれ低くなっています。



※H28 調査には、選択肢「交通の利便性の確保をすすめる」（全体で 27.4%）、「道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる」（全体で 11.9%）がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

問 17② ■ 区長・町総代（自治会代表者も含む）

立場別では、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 36.8%と最も高く、次いで「高齢者や障害者の自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」が 31.1%となっています。H28 調査と比較すると、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 6.9 ポイント、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が 6.7 ポイント、それぞれ高くなっています。



※H28 調査には、選択肢「交通の利便性の確保をすすめる」（全体で 27.4%）、「道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる」（全体で 11.9%）がありましたが、R4 調査ではより現状に合った選択肢に変更したため、経年比較からは除外しました。

令和4年度
江南市地域福祉に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

令和5年3月発行

発行 江南市 健康福祉部 福祉課 地域福祉推進グループ

〒483-8701
愛知県江南市赤童子町大堀 90
TEL : 0587-54-1111 (内線 248)
FAX : 0587-56-5515